TIME BOOT

RSC-MT8FS (FW:4.20A·4.30A用)

詳細版

■ 取扱説明書 ■

明京電機株式会社

ご購入ありがとうございます

弊社リブーターTIME BOOT RSC-MT8FSをご購入いただき誠にありがとうございます。

TIME BOOT RSC-MT8FS(以下,本装置と省略)はネットワーク経由でシステム機器の制御/管理 をする自動電源制御装置です。8個の100VAC電源を個別に遠隔制御/管理できます。

Pingによる死活監視に加えて、年間スケジュール機能をご利用になれます。

本装置が皆様の所有されるネットワークシステムにおいて,有効かつ有用なツールとして機能することを 願っております。

この取扱説明書を必ずお読みください

本書はセットアップ手順と,操作,設置,安全の確保などのための手順が記載されています。 ご使用の前に必ず本書をお読みください。

付属品一覧

本装置には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

- 1.セットアップガイド 兼 保証書
- 2. ラック取り付け金具及び取り付けネジ
- 3.2P/3P 変換プラグ 1個

注意 出荷時,メインスイッチはOFFになっています。ご使用の際には,まずメイン スイッチをONにしてください。

●本製品で利用しているソフトウェアライセンスについて●

本製品では以下のオープンソースソフトウェアを利用しています。これらのオープンソースソフトウェアについては、リンク先のライセンス条件に示されたライセンス条件と免責規定が適用されます。

- <u>OpenSSH(5.1p1)のライセンス条件へのリンク</u>
- <u>OpenSSL(0.9.8i)のライセンス条件へのリンク</u>

利用上のご注意

●遠隔制御機能について本製品はルーターやハブなどネットワークシステム機器が接続されることを想定して リスクアセスメントを実施しています。他の機器を接続してご利用になる場合、リスクアセスメントを行ってく ださるようお願いいたします。

●各種監視機能を使用する際,監視結果動作対象の負荷機器のコンセントは,設定したアウトレットに必ず接続してご利用ください。

安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、 正しくご使用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると,人が死亡または重傷を負う可能性 が想定される内容を示しています。
<u> </u> 注意	誤った取り扱いをすると,人が傷害を負う可能性が想定され る内容,及び物的損害*の発生が想定される内容を示してい ます。

※物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

分解·改造禁止	○は,禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は ○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。
電源プラグを抜く	●は,強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は,●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示 します。



●万一異常が発生したら,メインスイッチを切り,電源プラグをすぐに抜く! 煙,変な音,においがするなど,異常状態のまま使用しないでください。火災や感 電の原因となります。このようなときは,すぐにメインスイッチを切り,電源プラグを 抜いてお買い上げの販売店や弊社にお問い合わせください。

メインスイッチ切る



●ぬれた手で本装置や電源プラグにさわらない ぬれた手で本装置の操作を行なわないでください。ぬれた手で電源プラグを抜いた り、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります。

●本装置の上や近くに水などの液体を置かない 本装置に水などの液体が入った場合,火災,感電,故障などの原因になります。

●異物を入れない 製品に、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。 万一異物が入った場合はすぐに電源を切り,電源プラグをコンセントから抜いて, お買い上げの販売店,または弊社までご相談ください。

●ヘアースプレーなどの可燃物を本装置の上や近くに置いたり,使用したりしない スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。

●雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない 感電の原因となります。本装置には、落雷用保護回路がありますが、FG端子を接地 して,アースされた状態でないと十分な効果を発揮しませんのでご注意ください。

●分解したり改造したりしない 内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触った り,製品を改造したりしないでください。火災や感電,故障の原因となります。

製品を落したりして破損した場合は そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。メインスイッチを切り、電 源プラグをコンセントから抜き.前面のコネクタをすべて抜いて.お買い上げの販 売店,または弊社までお問い合わせください。

●専用の温度センサーを必ず使用してください。 TEMPには、弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。











メインスイッチ切る

専用温度センサ・

雷のときは,触れない

可燃物禁止

内部に異物を入れない

●火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は、遠隔制御機能を利用しない 遠隔制御機能を利用する場合は、遠隔操作により火災・感電・事故・傷害の発生する危険が ある機器は接続しないでください。特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火 災の原因となりますので絶対に接続しないでください。接続機器が突然動作した時に接続さ れた機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しないでください。また、通信回線 の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるように、連続 運転可能な機器のみ接続してください。接続される機器の安全性に関しては、接続される機 器のUSB、PoE給電ポート、接点出力等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がないこと を確認して下さい。本機に接続される機器は、必ず、本機の近傍にあり、本機の近傍にいる人 が危険を感じた場合、本装置メインスイッチを切り、機器の電源プラグを外してください。。

遠隔制御禁止



本装置の本体が汚れた場合は,柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ,よく絞っ てから軽く拭いてください(絶対に,電源プラグやコネクタなどの接続部をこの方法 で拭かないでください)。薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変 質・変色する場合があります。本体に接続されている電源プラグやコネクタなどの接 続部のお手入れは,電源プラグやコネクタを抜いて,機器を傷つけないよう軽く乾拭 きしてください。いずれの場合も,必ず本装置のメインスイッチを切り,電源プラグを コンセントから抜き,本装置に接続されている電源プラグやコネクタ類も全て抜いて から行なってください。感電や故障の原因となることがあります。

メインスイッチ切る



●DIPスイッチの操作に金属製のもの,鋭利なものを使用しない DIPスイッチのレバーを操作する時には、先端が丸みのある柔らかい木製のもの

を使用してください。硬い金属製のもの、鋭利なものを使用すると、レバーを破損 してしまったり,接点部の接触に支障をきたしてしまったりする恐れがあります。

●本装置は日本国内のみで使用 国外での使用は、電源電圧などの問題により、本装置が故障することがあります。

●電源プラグとコンセントの定期点検を 電源プラグとコンセントは長時間つないだままでいると,ほこりやちりがたまり,そ のままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることがあります。定期

的な清掃をし、接触不良などを点検してください。

す。

●逆さまに設置しない 本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でくるんだ状態での使用もお やめください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめく ださい。火災や故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多いところに置かない 湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような 場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

湿気・ほこり禁止



定期点検



不安定な場所禁止

ラジオ.テレビの近く禁止



●花びんやコップ,植木鉢,小さな金属物などを本装置の上に置かない 内部に水や異物が入ると,火災や感電の原因となります。万一,水などが内部に入ったときは,すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



●踏み台にしない 本装置の上に乗らないでください。 倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。



●ツイストロック式アウトレットについて コンセントを差す際,必ずツイストロックをかけた状態でご使用ください。差して回 さずに使用すると接触不良となる可能性があり、そこから火災などのリスクが生じ る危険があります。

必ずツイスト

注記 シリアルNo.3U-0393以降の本製品は,内部でSG(信号グランド)とFG (フレームグランド)が接続されています。

利用_	Lのご注意	2
安全	Lのご注意	3
目次	۲	9
第1章	はじめに	12
1.	機能概要	13
2.	各部の名称と機能	15
3.	DIPスイッチの設定	16
4.	LED表示について	17
第2章	設置·取付	18
1.	設置·取付	19
2.	ラックへの取付	19
第3章	初期設定	. 20
1.	初期設定	21
[1]	使用条件の確認と同意	21
2.	初期化の方法	. 24
第4章	WEBブラウザーでの設定, 制御	. 25
1.	ログイン	. 26
[1]	IPアドレスを固定にして利用する場合	. 26
[2]] RPCサーチソフトを利用する場合	. 28
2.	設定項目	. 29
[1]	入力可能な半角文字について	. 29
[2]] システム設定	. 30
[3]	ネットワーク設定	. 58
[4]		.76
[5]	- ニーーー スケジュール設定	. 89
[6]	- システム情報	. 96
[7]		. 97
3.状		. 98
[1]		. 98
[2]	〕 詳細状態表示	. 99
[3]		102
4.電		103
[1]	電源制御	103
5. CI	PUリセット	109
第5章	その他の設定	110
1.	Telnetによる設定	.111
[1]	Telnetでの接続方法	. 111
[2]	Telnetコマンドによる設定	111
2.	ターミナルソフトによる設定	113
 第6章	その他の制御	114
1	Telnet接続による制御	115
 [1]	Telnet接続による制御	115
2.	シリアルからの制御	116
<u> </u>		

3.	モデムからの制御	. 117
4.	メールからの制御	. 118
5.	WEBコマンドからの制御	. 119
6.	MPMPでの制御	.120
[1]) リブーター側の設定	.120
[2]] MPMPパケット送信	. 121
第7章		.122
1.	一 一 子 雷源制御とは 	.123
[1]	概要	.123
2	割機として使用する場合	124
 [1]		.124
[2]	WEBでの制御	124
[3]	」 Telnetでの制御	126
3	子機として使用する場合	127
٥ . [1]		127
[2]		130
〔 <u>〕</u> 第8音	ロギング機能	131
1	ロギング機能の設定・表示	132
۲ ۰	- レグ制御変数のビット構成	132
[2]	ー ログ表示コマンド	133
[3]] ログの表示形式	133
[4]	」	135
第9章	シャットダウンスクリプト	136
1. Z	クリプト什様について	.137
[1]	スクリプトの基本動作	.137
[2]		.138
[3]	」 ログ	.138
[4]	」 エラーコード	138
[5]	」 テキスト什様	138
[6]] Ping確認について	141
第10章	毎停雷雷源装置(IPS)との連携	143
1	大口 Hange (Croper) とうこうとう	144
 [1		144
[2]	 UPS連動の基本動作フロー 	.144
2	本機と無停雷雷源装置(UPS)の接続	145
 3	機器設定	145
第11章	SNMPCOUT	147
1. SN	JMPについて	.148
2 楼	果設定	148
3 M	IBについて	150
第12章		. 151
1.	機器設定	.152
2.	RPC EYE V4の利用	.153
 第13章	ディジーチェーン機能	.154
1.	接続方法	.155
۔ [1		.155

[2]	解除方法	
2.機能.		
[1]	WEB画面表示	
[2]	コマンド制御	
第14章	仕様一覧	
■ 変数一	覧表	
■ ログー	覧表	172
■ 制御コ	マンドー覧表	
■ 仕様一	覽表	

第1章 はじめに

1. 機能概要

本装置には以下の機能があります。

1)8個の100VAC電源を個別に制御/管理

2) 通信による電源制御

・WEBからの電源制御と設定

・SSH/Telnetからの電源制御と設定

3)シリアルからの電源制御と設定

- 4)スケジュールによる制御 ・年間スケジュールによる電源制御
- 5)監視機能
 - ・電源状態の監視
 ・ICMPによる死活監視(Ping監視)
 ・ハートビートによる監視
 ・温度状態の監視(要オプション:RP-TS004)
- 6)無停電電源装置(UPS)との連携によるシャットダウン処理
- 7)各デバイスへの遅延電源投入 ・本体電源投入時に,指定した順番,タイミングによる各デバイスの起動
- 8)メールによる制御や通知
- 9)センター通知機能
 ・電源状態と死活監視状態をセンターへ通知
 ・RPC EYE V4への通知(別売ソフト)
- 10)SNMPエージェント機能
- 11)通信による遠隔バージョンアップ
- 12)通信中継機能(Telnet通信) Telnetクライアント、シリアルコンソールとして通信
- 13)マジックパケットによる起動
- 14)スクリプト通信によるOSのシャットダウン
- 15)シリアルデイジーチェーン機能
- 16)ガードタイム設定時,多重ログイン,各種制御許可

17)弊社サービス「電源管理クラウド365」との連携による電源状態/監視状態管理, 電源制御



1) LAN	LANケーブル(8ピンRJ45)を接続します。
② 10/100M LED	LANの通信速度を表示します。
③ LINK/ACT LED	通信状態を表示します。
④ COM.1	初期設定用及びUPS及びモデム・シリアル接続用通信ポート として使用します。
5 COM.2	デイジーチェーン接続時に使用します。
6 TEMP	温度センサーを接続します。
⑦ DIPスイッチ	初期設定,本体設定に使用します。
⑧ RESETスイッチ	出力電源に影響を与えずにCPUを初期化します。
9 PILOT LED	監視状態が正常の場合に点灯します。
1 OUTLET LED	ACアウトレットの電源出力状態を表示します。
IN OUT	無電圧入出力信号を接続します。
(1) メインスイッチ	本装置の電源をON/OFFします。
	接続されたデバイスが異常時にOFFにします。
13 FUSE	ガラス管ヒューズ15Aを使用します。
⑭ 電源コード	商用電源,UPS(正弦波出力タイプ)などに接続します。
(5) ACアウトレット	デバイスの電源コードを接続します。

注意 出荷時,本装置のメインスイッチ(⑫)はOFFの状態になっています。 ONにしてからご使用ください。

> TEMPには弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。 また,温度センサーを差し込んでいない時は「温度センサー」を「無効」にして おいてください。

3.DIPスイッチの設定

DIPスイッチの機能(OFFは「上」, ONは「下」を意味します。)

NO.	状態	モード
1	OFF	運転モード
1	ON	UPS(接点信号式)連携運転モード,中継機能専用モード,初期化
9	OFF	運転モード
4	ON	中継機能専用モード
Ŋ	OFF	運転モード
5	ON	メンテナンスモード,初期化
1	OFF	OFFに固定
4	ON	未使用

DIPスイッチの設定

DIPスイッチNo.		1	2	3	4
通告告书	OFF				
旭市) 理和时	ON				
ITDC油堆油品品	OFF				
OF DETRIEFLIN	ON				
如期空中	OFF				
1/JH/JDDX/EHT	ON				
対明作品	OFF				
	ON				
山継線能甫田エード	OFF				
〒小空 双目と寺/川~し~ ト	ON				

※ 中継機能専用モードでは、シリアルからのコマンドを受け付けなくなります。

注意 DIPスイッチのレバーを操作する時には、金属製のものや鋭利なものを使用 せず、先端が丸みを帯びている木製のものを使用してください。

> DIPスイッチを操作するときは、本体のACアウトレットから全デバイスを取り 外してください。

> DIPスイッチ操作また設定終了後は、必ず、本体前面のRESETスイッチを押してください。誤動作する恐れがあります。

初期設定は,第3章「初期設定」,「初期化の方法」を参照にして設定してください。

4.LED表示について

本体には4種類のLEDが装備されています。

1) [LINK/ACT] [10/100M]LED

通信状態を表示します。

LED	LED点灯状態	状 態
	点灯	リンク時
	消灯	データ受信時(連続データでは点滅)
	点灯	100BASE-TXでリンク時
10/1001v1JLLD	消灯	10BASE-Tでリンク時

2) PILOT LED

Cold Start時(本体に電源が投入された時)橙→緑→消灯→橙→緑の順で点灯します。 本体に電源投入されている場合,緑が点灯します。

Warm Start時(CPUリセットを行った時やRESETボタンを押した時)橙→緑の順で点灯します。 全アウトレットの死活監視リブート回数の合計が設定値を越えたら緑が点滅します。(初期値は12回) メールサーバーへのアクセスエラー時は,緑が点滅します。

3)OUTLET LED

① ACアウトレットの電源出力状態を表示します。

 ONの場合
 : 点灯

 OFFの場合
 : 消灯

- ② OFF遅延中,1秒点滅
- ③ Ping監視
 - Ping監視の動作が「リブート」または「ログのみ」の場合

 (ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯
 (イ)監視スタート後、全てのPing監視対象から応答を確認するまでの間、1秒点灯→0.25 秒消灯を繰り返し、その後点灯します。(出力はON)
 - 2. Ping監視の動作が「ON」の場合
 - (ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯
 - (イ)監視スタート後,全てのPing監視対象から応答を確認するまでの間,1秒消灯→0.25 秒点灯を繰り返し,その後消灯します。(出力はOFF)
 - 3. Ping監視の動作が「OFF」の場合
 - (ア)監視スタート後,全てのPing監視対象から応答を確認するまでの間,1秒点灯→0.25 秒消灯を繰り返し,その後点灯します。(出力はON)

Ping監視での動作「ON」「OFF」の設定はブラウザーからは行えません。 変数[debOlWdogAction]を直接変更する必要があります。



1. 設置·取付

以下の手順で設置します。

1)本体を設置場所に置きます。設置場所は、単相100VAC/15A以上のコンセントに直接差し込める場所で、本体背面に電源プラグが差し込める位置であることを確認します。

2)本体前面のLAN用コネクタにLANケーブルを接続します。

3)本体の電源コードをコンセントに接続します。

注意 本装置を逆さまに設置しないでください。火災や故障の原因となることがあ ります。

> 出荷時,メインスイッチはOFFになっています。ご使用の際には,まずメイン スイッチをONにしてください。

2. ラックへの取付

以下の手順でラックに取り付けます。

1)本体に同梱のネジ8本でラック・マウント用金具を取り付けます。

2) ラック・キャビネットに本装置を取り付けます。

3)本体前面LAN用コネクタにLANケーブルを接続します。

4)電源コードをコンセントに接続します。



1. 初期設定

注意 出荷時,本装置のメインスイッチ(p.15 ⑫)はOFFの状態になっています。 ONにしてからご使用ください。

[1] 使用条件の確認と同意

本装置の使用にあたっては,初めに使用条件に同意していただくことが必要です。

外部のネットワークから接続するために固定のIPアドレスを設定します。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。 PCがオートMDI/MDI-X非対応の場合は、クロスのLANケーブルを使用してください。

1)LANやVPN上に192.168.10.1および192.168.10.2のIPアドレスを持つホストがないこ とを確認します。

2)設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。

IPアドレス	:	192.168.10.2
サブネットマスク	:	255.255.255.0

- 3)本体前面のDIPスイッチ3をONにします。 (メンテナンスモードになり, IPアドレスが192.168.10.1となります。)
 - 注意 メンテナンスモードの場合,LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設定 になっている必要があります。

4)本体前面のRESETスイッチを押します。

5)設定用PCのWebブラウザーを起動します。 http://192.168.10.1を指定し、本装置にアクセスします。

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。 推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザーにはどれを使用すれば いいですか?」をご覧ください。 <u>https://www.meikyo.co.jp/faq/</u>

6)ブラウザー依存のポップアップ画面が表示さます。ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワ ード(デフォルト:magic)を入力します。 注意 ブラウザーによっては、ポップアップ画面がアドレス入力画面の裏に隠れている 場合があります。

7)【ご確認のお願い】画面が表示されます。内容を確認の上, [上記の内容に同意します。]をチェックし[次へ]をクリックします。

ご確認のお願い
以下の文面をお読みになり、同意される場合のみ
遠帰利仰機能を有効化できよ9。 RSC-MT8FS
電気用品安全法により, 遠隔操作に伴い感電・事故・傷害の発生する危険がある機器の遠隔操作は 禁じられています。
したがって、電気用品の中には、遠隔制御により感電、火災及び綿害の生じる可能性があるものが ありますので、そのような機器を、本装置のアウトレットに接続してはなりません。
特に,電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは,火災の原因となりますので絶対に接続しな いでください。
接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しない でください。
また、通信回路の故障などにより透標制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持するよう。> に、諸術語時可能な装置のみを接続してください、接続される機器の安全性に関しては、接続され る機器のUSB、Pote記電ボート、捜点出力等のアウトレッドにも遠隔操作によって危険がないことを
□ 上記の内容に同意します。
<u>次</u> へ

8)【メンテナンスモード 機器設定】画面が表示されます。

	RSC-MT8FS
	RSC-MT8FS
	RSC-MT8FS
モデル名	
バージョン	4.00A.230306
MAC アドレス	00:09:EE:00:14:1E
IP アドレス	192.168.10.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
DNS サーバーアドレス	
DHCP 機能	○有効 ● 無効
HTTP 機能	●有効 ○無効
HTTP ポート	80
Telnet 機能	○有効 ◉無効
Telnet ポート	23
通信速度	自動接続
IP フィルター	○有効 ◉無効
デイジーチェーン機能	○有効 ⑧無効
子機グループ	Disabled 🗸
親機MACアドレス	00:00:00:00:00
	適用

9)[IPアドレス]欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。

・運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、[DHCP機能]を無効にチェックしたま まで、IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。 ・DHCPを利用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を有効にチェッ クして[適用]をクリックします。

- 10)その他「Telnet機能」など必要に応じて設定を行います。設定が終了しましたら[適用]をク リックします。
- 11)本体前面のDIPスイッチ3をOFFにします。(運用モードにします。)
- 12)本体前面のRESETスイッチを押します。
- 13)Webブラウザーを閉じます。
- 14)設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

注意 設定後は,必ず[適用]をクリックし,「RESETスイッチ」を押してください。 「RESETスイッチ」を押さないと設定が反映されません。

本装置は時計を内蔵していますが、開梱時には時刻ずれが生じていることが予想されます。第4章2.[2](4)(3)NTP設定を行ってからご使用ください。

2. 初期化の方法

本装置を初期化して出荷状態に戻します。

(電源コードをコンセントに接続し、メインスイッチをOFFにしてください。)

1)本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。

2)メインスイッチをONにして、電源を供給します。

- 3)本体前面のLINK/ACT LEDが5秒間点灯します。点灯中に本体前面のRESETスイッチを1 秒程度,押します。
- 4) 初期化が成功するとLINK/ACT LEDとPILOT LEDが点灯します。
- 5)RESETスイッチを押す前にLINK/ACT LEDが消灯してしまった場合は一旦メインスイッチを OFFにし,電源を供給からやり直してください。
- 6)初期化後は、DIPスイッチを全てOFF(上)にし、再度メインスイッチをOFF/ONし電源を供給 してからご使用ください。
- 7)以上で初期化が終わりましたので,前項目の「初期設定」から実行してください。

注意 初期化中には本体の電源を切らないで下さい。

第4章 WEBブラウザー での設定,制御

l. ログイン

[1] IPアドレスを固定にして利用する場合

インターネットでアクセスする場合は、通信機器の設定が必要です。通信機器の設定などは通信機器のマニュアルに従ってください。(PROXY経由ではご利用になれません)

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。 推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」をご覧ください。 <u>https://www.meikyo.co.jp/faq/</u>

1)Webブラウザーを起動し、本装置に設定されたIPアドレスを指定してアクセスします。 (例 IPアドレス : 192.168.10.1)

HTTPポート番号「80」デフォルトの場合 http://192.168.10.1

HTTPポート番号「500」に設定した場合 http://192.168.10.1:500

2) ブラウザー依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。

注意 ブラウザーによっては、ポップアップ画面がアドレス入力画面の裏に隠れてい る場合があります。

3)ユーザーIDとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザーID : admin (デフォルト) パスワード : magic (デフォルト)

4) 簡易情報表示画面が表示されます。

TIMEBOOT	÷	-	簡易状態表示						
大態表示				機器	青報				
簡易状態表示			機器名称	Noname					
詳細状態表示									
イベントログ	1	アウトレット状態							
制御		No.	名利	迩	設定	状態	電源		
電源制御		1	Outlet1				OFF		
		2	Outlet2				OFF		
機器設定		3	Outlet3				OFF		
システム設定		5	Outlet4 Outlet5				OFF		
ネットワーク設定		6	Outlet6				OFF		
監視設定		7	Outlet7				OFF		
スケジュール		8	Outlet8				OFF		
システム情報				接点性	青報				
簡易説明			接点出力連重	动設定	連	画無し			
CPULLetawa		No.	接点出	力名称	連動	ŧ	妾点		
P		1	NV Output1			(DFF		
admin		No.		接点入力名称	7	ŧ	妾点		
192.168.1.235 admin		1	NV Input1			(DFF		
ログアウト									
明京電機株式会社									

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御すること は出来ません。 電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合,当該方法にて新たにロ グインすることはできません。ただし, Ident, Supervisor権限ではログイン

> することが可能です。 ☆ユーザーアカウントの設定については,第4章2.[2](7)セキュリティを参照ください。

> ●「ガードタイム方式」選択時,多重ログインが可能です。(ただし,同時接続可能数は本装置の仕様で,HTTP通信では4端末,Telnet通信では2端末までとなります。)

スマートフォンでご使用の場合,「横向き」が標準仕様となります。(「縦向き」 でご使用になると,横スクロールの必要が生じます。)

リブーターの画面をWEBブラウザーで開いている際,セキュリティの観点から 別タブにて別ページを閲覧しないようにしてください。

[2] RPCサーチソフトを利用する場合

弊社ホームページ<u>https://www.meikyo.co.jp/archive/#rpcsearch</u> よりRPCサーチソフト をダウンロードし,ご利用いただければDHCP機能を利用した本装置を検索し接続することができま す。

設定用PCと本装置とは、DHCPサーバーの存在するLANに接続します。

1)RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリックします。

RPC	search Ver 3.	01				×
)	>>		機制	器一覧		設定
No.	型番	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	稼働時間	機器名称
	-					
	-					
	-					
_	-					
	-					
	-					
	1					
<						2
	委 WEB接		TELNET接続	₽ アドレス	-	● 検索

- 2)機器一覧にある本装置を選択し、[WEB接続]ボタンをクリック、またはWEBブラウザーを起動 し、本装置に設定されたIPアドレスを指定してアクセスします。
- 3) ブラウザー依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。 ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。
 - 注意:[WEB接続]の場合はブラウザー依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面 が表示されます。

4) 簡易情報表示画面が表示されます。

注意 「LINK/ACT」「10/100M」LEDがいつまでも、交互に点滅している時は、 DHCPによるアドレス取得ができない状態です。DHCPサーバーを確認す るか、IPアドレスを固定にしてご利用ください。

本装置は時計を内蔵していますが,開梱時には時刻ずれが生じていることが予想されます。第4章2.[2](4)(3) NTP設定 を行ってからご使用ください。

2. 設定項目

[1] 入力可能な半角文字について

WEB画面の各種設定項目にて「半角英数記号__字以内」となっている項目については 下記の図のとおりとなります。

		下1桁															
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	А	В	С	D	Е	F
	20	space	!	п	#	\$	%	&	1	()	*	+	,	-		1
	30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	I	٨	?
上	40	@	Α	В	С	D	E	F	G	H	I	J	к	L	М	N	0
析	50	Р	Q	R	S	Т	U	V	w	Х	Y	Z	[¥]	<	-
	60	•	а	b	C	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	0
	70	р	q	r	s	t	u	v	w	x	у	z	{		}	2	
			TEL	JXT		- ALL	よい文子			一口里	TEPECUY	1/10,	NAJ-	LICIAL	HT P		

そして「半角__字以内」となっている項目は、上記の表の文字に加えて、半角カナも使用可能です。

ただし,

・[ネットワーク設定]-[メール設定]-「メールサーバー設定」の「パスワード」

・[システム設定]-[詳細設定]-[シャットダウン設定]-「スクリプト設定(アウトレットx)」の「パス ワード」

に関しては,

			下1桁														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	А	В	С	D	E	F
	20	space	!	"	#	\$	%	&	•	()	*	+	,	-		1
	30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	Ι	۷	?
上	40	@	Α	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	к	L	м	N	0
工桁	50	Р	Q	R	S	Т	U	V	w	х	Υ	Z	[¥]	>	1
	60	``	а	b	С	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	0
	70	р	q	r	S	t	u	v	w	x	у	z	{	I	}	2	

→使える文字 →使えない文字

となります。

[2] システム設定

(1) 基本設定

本装置の基本的な設定をします。

メインメニューの[システム設定]をクリックします。

	基本設定	1	詳細設定		セキュリ	リティ
	接点入力設定					
	接点出力設定					
	時刻設定					
				※特列	朱記号は	利用不可
_		1	機器情報			
	機器名称	Nona	me			
	設置場所	Nowh	nere			
		アウ	トレット設	定		
No.	アウトレット名	称	OFF	REBOOT	ON	START
1	Outlet1		0	10	1	1
2	Outlet2		0	10	2	2
3	Outlet3		0	10	3	3
4	Outlet4		0	10	4	4
5	Outlet5		0	10	5	5
6	Outlet6		0	10	6	6
7	Outlet7		0	10	7	7
8	Outlet8		0	10	8	8
OFF ON? STA	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 、RTを「-1」にする。	EBOO PFF操作 アウトレ と自動で	T時間(Fを使用 シットONE で電源出	少) 不可にします 時、電源出力 力を開始し	10 す。 りしませ, ません。	ω.
OFF ON3 STA	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 にRTを「-1」にする。	EBOO PFF操作 アウトレ と自動で アウト	T時間 Fを使用 マットONE で電源出 レット連動	 沙) 不可にしまず 時、電源出ガカを開始し 設定 注動 	10 す。 りしません。	huo a
OFF ON STA No.	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 にすると全 RTを「-1」にする。	EBOO PFF操作 アウトレ と自動 アウト	T時間(Fを使用 ² かットONE で電源出 レット連動 Pウトレット	少) 不可にします 時、電源出力 力を開始し 設定 、連動	10 す。 りしませ, ません。	<i>ω</i>
OFF ON STA No. 1 2	全アウトレットR を「-1」にするとの を「-1」にすると全 RTを「-1」にする。 	EBOO FF操作 アウトレ と自動 アウト	T時間(和 Fを使用 ア や ットONE で 電源出 レ ット連動 ア ウトレット 連動	小 小 下可にしまで 市 、 電源出 力 を開始し 設定 、 連動 、 連動	10 す。 りしません。	<i>ω</i>
OFF ON STA No. 1 2 3	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 にすると全 にすると全 にすると全 にすると全 にすると にすると にすると にすると にすると にすると にするとの	EBOO FF操 アウトレ と自動 アウト	T時間 (非 を使用 でで電源出 レット連動 Pウトレット	 	10 す。 りしません。	
OFF ON4 STA No. 1 2 3 4	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 にすると全 にすると全 にすると全 にすると を ・ ・ ・ ・ ・	EBOO PFF操作 アウトレ と自動つ アウト	T時間 (非 を 使 用 ア ッ ト ONE で 電 源 出 レ ット の ト マ い ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト ー か ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト 連 動 コ の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ト の ろ の の ト の ト の ト の ろ の の の の の ト の ろ の の ろ の し の ト の ろ の ろ の し の ト の の の し の ト の ろ の の し の ト の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の の の ろ の の の ろ の の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の の ろ の の ろ の の の の ろ の の の の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ ろ ろ ろ ろ ろ の ろ ろ ろ の う の ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	か) 不可にします。 「でででです。 「でででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「でです。 「ででです。」 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「でででです。 「でででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「ででででです。 「でででです。 「でででです。 「でででです。 「でででです。 「でででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「でです。 「でです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 「ででです。 」」	10 す。 りしません。	<i>h</i> ν ₀
OFF ON STA No. 1 2 3 4 5 6	全アウトレットR を「-1」にするとの を「-1」にすると会 にすると会 にすると会 にする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	EBOO PFF操作 アウトレと自動 アウト	T時間 (Fを使用) Fを使用の F でで電源出 レット連動 Pウトレット	か) 不可にしまで 電源出ナ 力を開始し 設定 、連動	10 す。 りしませ。 ません。	
DFF DN STA No. 1 2 3 4 5 6 7	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 RTを「-1」にする。 RTを「-1」にする。	EBOO IFF操作 アウトレ と自動 アウト	T時間 (7 FEを使用 マットONE で電源出 レット連動 Pウトレット	小 か) 下可にします。 市、電源出力 力を開始し № 注 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10 す。 りしませ, ません。	
DFF DN7 STA No. 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 にすると全 にすると全 にすると全 にすると にする。 にする。 にする。 にする。 にする。 にする。 にする。 にする。	EBOO IFF操作 アウトレ と自動で アウト	T時間 (¹ Fを使用) Fを使用NF ででで電源出 レット連載 Pウトレット	小 小 小 小 下 可 に しま っ で 開 始 し し ま 、 定 開 始 し 、 で 開 始 し 、 で 開 始 し 、 で 、 で 、 で 、 の に 、 ま 、 、 で 、 の に 、 ま 、 、 で 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	10 す。 つしません。	6
OFF ON STA No. 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 にすると全 にすると全 にする。 に て 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	EBOOP IFFF操 アウトレ アウト フ	T時間 (7 Fを使用) でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	少) 不可にします。 でででです。 ででででです。 小学 でででで、 小学 ででで、 ででで、 ででで、 でで、 でで、 でで、 でで、	10 す。 うしません。	
OFF ON4 STA 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にすると全 に「-1」にすると全 に「-1」にする。 に 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 に すると の に すると の に すると の に する に つ い に すると の た 「 -1」にすると の た の こ 「 -1」にすると の た の こ の こ の に っ い に すると の た の こ の こ の に っ い に する と の た の こ の こ の い こ する こ の の こ の い ー つ い に する こ の の い の い ー つ い に する こ の の い ー の い に する こ の の い の い ー い し に する の の の い の い の い の い し い し 、 、 の し い し 、 、 の し い し に する の の し に する の の し い の い の し に する の の の し い し 、 ろ の し の し の し い ち の ろ の ろ の の し い し こ ろ の し し こ ろ の し い し る の し い し 、 、 、 、 、 、 し し し つ し こ つ ろ こ の し し し こ ろ の こ の し こ ろ つ こ ろ つ こ つ い し つ い し つ こ つ ろ こ し し し し こ ろ つ こ つ こ つ こ つ し こ つ し し い し こ つ こ つ こ し つ し し つ こ つ し し つ し し し し	EBOO PFF操 アウトレ と自動 アウト フロン	T時間 (存 を 使 の い し い ト ル い い し い ト レ ッ ト し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い い し い し い し い し い い し い い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し し い し し い し し い し し い し し い し し い し し い し し し し し し し し し し し し し	少) 不可にします。 市、電源出力 力を開始し 設定 、連動 設定 設定 ○ 無効	10 す。 うしませ。 ません。	
OFF ON STA No. 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとA にすると全ご RTを「-1」にする。 - ~ ~ - ~ ~	EBOO FFF操作 アウトレ と自動で フロン	T時間 (7 Fを使用) Fを使用 F マ マ で 電 源 出 レット連動 ア ウトレット ・ マ マ で 電 源 出 レット の い の い の い の い の い の い の い の い い い い い い い い い い い い い	少) 不可にしまで 電源出力 力を開始し 設定 、連動	10 す。 うしませ。 ません。	
OFF ON4 STA No. 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとA にすると全ご RTを「-1」にする。 - ~ ~ - ~ ~	EEBOO FFF操 アウト フロン 温度	T時間 (7 F F F F F F F F F F F F F	少) 不可にしまで 電源出力 力を開始し 設定 、 連動 設定 、 連動	10 す。 うしませ, ません。	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
OFF ON 7 STA No. 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとA に「-1」にするとA に「-1」にする。 「	EBOO FFF操 アウト と自動 フロン 温度	「時間 (ネ 「時でしていた」」」」」 「「「「「」」」」」 「「「」」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」」	少) 下可にしまで 市でにしまで 市でにしまで 市でにしまで 市でにの出す 力を開始し 設定 ・ 連動 ・ 連動 ・ 連動 ・ 単 、 の 、 二 、 の 、 に い 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の の の の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の	10 す。 りしませ。 ません。	
OFF ON 3 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとO に「-1」にするとA に「-1」にする。 に「-」、「 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	EEBOO FFF操 アウト と自動 7 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	T時間(1) T時間(2) FF FF アウトレット アウトレット ● イイ ● イ ● イ ● イ ● イ </td <td></td> <td>10 す。 うしません。</td> <td></td>		10 す。 うしません。	
OFF ON3 STA 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとA にすると全ご 、RTを「-1」にする。 - ~ ~ - ~ ~ ~ ~	EEBOO FFF操 アウトレ と自動 7 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	T時間 (7 Fを使用) Fを使用 でで レット連載 アウトレット ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	少) 不可にします。 電源出力 力を開始し 設定 小連動 して、 連動 して、 で、 電源出力 の 、 連動 の 、 連動 の の 無効 か の の 無効 か の の 無効 の の の の の の の の の の の の の	10 す。 うしません。	
OFF ON3 STA No. 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとO を「-1」にするとA にするとの についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 についた。 にのた。 についた。 にのた。 にのた。 にのた。 にのた。 にのた。 にのた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 についた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 にのたた。 についた。 についた。 についた。 についたついでついた。 についたついたついたついたついた。 についたついたついた。 についたついたついたついでついたついたついたついたついたつ	EBOO FFF操し アウト フロン 温度	T時間() 「時間() 「時でしていいでででででででででででででででででででででででででででででででででで	少) 下可にしまで 市でにしまで 市でにしまで 市でにしまで 市でにしまで 市でにの出す 力を開始し 設定 ・ 連動 ・ 連動 ・ 連動 ・ で の 、 、 で の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	10 す。 りしませ、 ません。	
OFF ON STA 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとO に「-1」にするとO に「-1」にするとO に「-」、「 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	EEBOO FFF操し アウト フロン 温度	「時間 (祥 「時間 (祥 「時を使用) 「マットのNE 「マット」 マット	wy) Form (こしまで) Form (こしまで)	10 す。 うしません。	
OFF ON4 STA 1 2 3 4 5 6 7 8	全アウトレットR を「-1」にするとO を「-1」にするとA にすると全ご RTを「-1」にする。 - ~ ~ - ~ ~ ~ ~	EEBOO FFF操し アウト フロン 温度 ・ ケジュー ・ 10	T時間 (7 Fを使用) でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	少) 下可にしまで 市でに源出 力を開始し 設定 シ連動 しまで 一部の 設定 の 一部の の 一部の の の 一部の の の の の の の の の の の の の の	10 す。 うしません。	

〈1〉 機器情報

機器名称	:	機器名称を設定します。((全角10文字,	半角英数字20文字以内)
設置場所	:	設置場所を設定します。(全角31文字,	半角英数字63文字以内)

〈2〉 アウトレット設定

No. : アウトレット番号1~8 背面のアウトレットの番号を示し,電源コードに近い側より順番に1,2,3,4,5, 6,7,8となります。 アウトレット名称: 個別アウトレットの名称を設定します。 (全角10文字,半角英数字20文字以内)

OFF : 個別アウトレットの電源出力を停止する際のOFF遅延時間(秒)を設定します。
 シャットダウンスクリプトを利用する場合は、スクリプトが動作してシャットダウンが
 終了するまでに必要とされる十分な時間を設定してください。
 デフォルト 0(秒) 設定可能値 -1~3600(秒)

- この遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。
 - ・個別アウトレット制御のOFF操作
 - ・全アウトレット制御のOFF操作
- 設定値による動作の違い
 - -1 : リブート操作のみ有効
 - 即座に電源出力を停止
 - 1~3600: 指定した時間遅延させた後,電源出力を停止

「-1」は誤操作による電源OFF操作を避けたい,ルーターやハブなどの制御に便利です。 (電源切断により,ネットワークへアクセスできなくなるケースを回避します。)

- REBOOT : 個別アウトレットの電源出力を停止後,開始するまでの時間(秒)を設定します。 この設定により,接続された任意のデバイスに最適なリブート時間を確保できます。 デフォルト 10(秒) 設定可能値 8~3600(秒) 個別アウトレット制御のリブート操作」を行う際に適用されます。
- ON

: 全アウトレット制御でONする際に個別アウトレットの電源出力を開始するまでの時間(秒)を設定します。 この設定により,指定した順番に,指定したタイミングで個別アウトレットの電源出力を開始させることができます。

デフォルト	No.1	1(秒)	No.2	2(秒)
	No.3	3(秒)	No.4	4(秒)
	No.5	5(秒)	No.6	6(秒)
	No.7	7(秒)	No.8	8(秒)

設定可能值 -1~3600(秒)

この時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・全アウトレット制御のON操作
- ・全アウトレット制御のリブート操作
- 設定値による動作の違い
 - -1 : 全アウトレット制御でONしても電源出力しません
 - 0 : 即座に電源出力を開始します
 - 1~3600: 指定した時間遅延させた後、電源出力を開始します

☆次ページの「全アウトレットREBOOT時間」に関連情報があります。

START : Cold Start時(本体電源投入時)個別アウトレットの電源ON遅延時間(秒)を 設定します。 この設定により,指定した順番に,指定したタイミングで個別アウトレットの電源 出力を開始させることができます。

※Cold Start後は自動CPUリセットが行われるため、設定値によっては設定 した秒数よりも遅延時間が長くなる場合があります。

この時間は以下の操作を行う際に適用されます。

No.1	1(秒)	No.2	2(秒)
No.3	3(秒)	No.4	4(秒)
No.5	5(秒)	No.6	6(秒)
No.7	7(秒)	No.8	8(秒)

設定可能值 -1~3600(秒)

設定値による動作の違い

デフォルト

-1 : 本体起動時に電源出力しません

0 : 即座に電源出力を開始します

1~3600: 指定した時間遅延させた後、電源出力を開始します

全アウトレットREBOOT時間(秒) :全アウトレットの電源出力を停止してから電源出力を開始 するまでの時間を設定します。

デフォルト 10(秒) 設定可能値 8~3600(秒)

この時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・全アウトレット制御のリブート操作

※個別アウトレットのREBOOT時間は反映されません。



電源制御時の動作確認 :あり なし (デフォルト あり)

「電源制御」項目下の「電源制御」「仮想制御」において,各アウトレット,仮想アウトレット に制御コマンドボタンをクリックした際,デフォルトでは下図のような確認のポップアッ プが表示され,[OK]をクリック後,制御コマンドが実行されます。

192.168.	の内容
Outlet16 Powe	r ONを行いますか?
o de la caracterio i la	101121101807131

この項目を[なし]に設定すると,各アウトレット,仮想アウトレットに制御コマンドボタンをクリック後,(許可を求めるポップアップが表示されることなく)すぐに制御コマンドが実行されます。

〈3〉 アウトレット連動設定

選択したアウトレットの動作(ON, OFF, REBOOT)に連動します。

〈4〉 フロントパネル設定

OUTLET LED点滅	:	有効		無効 (デフォルト 有効)
		有効	:	OFF遅延やPing監視に関連して各LEDが点滅します。
		無効	:	OUTLET LEDの点滅動作はなくなり,点灯または消灯となります。
ブザー音	:	有効		無効 (デフォルト 無効)

〈5〉 温度センサー設定

温度センサー :	有効 無効	(デフォルト 🕯	無効)	
メンテナンスモード :	有効 無効	(デフォルト 🕯	無効)	
	有効にすると,温度	監視による電波	原変化を行いません。	
記録間隔(分) :	イベントログに記録	する間隔(デフ	ォルト:10分)	
温度ログ :	全ログクリアにチェッ れます。	ックを入れて[う	適用]をクリックすると	,温度ログが消去さ

注意 TEMPには弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。 また,温度センサーを差し込んでいない時は「温度センサー」を「無効」にして おいてください。

〈6〉 スケジュール時ON遅延時間

スケジュール設定にしたがって各アウトレットの「電源ON」になるときの各アウトレットの「ON遅 延時間」(単位:秒)を設定できます。

デフォルト:各アウトレット 0(秒)

0~3600の整数値を設定できます。

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

注意 本体起動時のアウトレット出力はスケジュール設定に従います。スケジュール設 定がない場合は本体電源断時の状態に戻します。

(2) 接点入力設定

本装置の接点入力に関する設定します。 [システム設定]-[接点入力設定]をクリックします。

	接点入力設定 (INPUT)								
接点入力 名称	1	NV Input1							
動作 モード									
		Short	Open						
連動電源制御 コマンド	1								
連動接点制御 コマンド	1								
連動接点制御 ブザー音	1	無効 🗸	接点ON時 🖌						

〈1〉 接点入力設定(INPUT)

接点入力に関する設定をします。

	接点入力名称	:	接点入力名称を設定します。			
			デフォルト NV Input1			
			全角10文字,半角英数字20文字以内			
	動作モード	:	動作モードを設定します。			
			ノーマル/リバース			
			レベル/パルス			
			[パルス]選択後[適用]をクリックすると,パルス幅を設			
			定できます。			
			デフォルト 45(単位:msec)			
	Chart					
	Short	•				
	Open	:	接点人力 開放			
	連動電源制御コマンド	:	接点入力に連動して以下の電源制御コマンドを実行します。			
			PONn, POFn, PORn, PSRn $(n=1\sim8)$			
			MPON, MPOF, MPOR			
	連動接点制御コマンド	:	接点入力に連動して以下の接点出力コマンドを実行します。			
			SON1, SOF1, MSON, MSOF			
	浦動 控 占 制 御 ブ ザ ー 辛		「Short」:無効 連結 0.5秒問隔			
	产到 政系响啊?? 目	•	1秒問題			
、		~				
※ 各制御コマンドは、Short、Open状態のどちらかの設定が可能です。						
★「フサー音」を「有効」にするには「システム設定」-「基本設定」-「フロントパネル設定」のブ						
サー首を有効にする必要があります。(p.32参照)						

設定が完了しましたら,[適用]をクリックします。

接点入力

接点入力信号が入力された時,連動電源制御コマンド及び連動接点制御コマンドを実行します。(接点が1秒(デフォルト)以上短絡された場合を入力と判断します。)

「パルス」モード

状態表示は、パルスが入力されるごとに[ON]→[OFF]→[ON]→[OFF]→……と変化します。 (トグル動作)



入力パルスの幅(変数:nvInPulseWidth ミリ秒単位で変更可能)はWEB画面で変更可能です。WEB画面での入力可能値は45~32767[ミリ秒]です。

パルスの間隔の幅はデフォルトでは1秒となっています。別の値を指定したいときはTelnetで変数nvInPulseIntervalによって指定することが可能です。(秒単位で)

注意 [適用]ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

ノーマル/リバース,レベル/パルスを変更した場合,[適用]後,CPUリセット を実行する必要があります。

(3) 接点出力設定

本装置の接点出力に関する設定します。

[システム設定]-「基本設定」-[接点出力設定]をクリックします。

	接点出力設定 (OUTPUT)					
接点出力名称	1	NV Output1				
動作モード	1	ノーマル 🕶 パルス 🕶 50 x10ms				
接点出力連動設定		[連動無し ∨]				
アウトレット 連動接点番号	1	連動無し 🖌				
	2	連動無し ✔				
	3	連動無し ✔				
	4	連動無し ✔				
	5	連動無し ✔				
	6	運動無し ▼				
	7	運動無し ▼				
	8	[連動無し ▶				
温度上限警報		連動無し 🖌				
温度下限警報		[連動無し ▶				
ハートビート		運動無し ✔				
死活監視		■ 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10				

〈1〉 接点出力設定(OUTPUT)

接点出力に関する設定をします。		
接点出力名称	:	接点出力名称を設定します。
		全角10文字,半角英数字20文字以内
動作モード	:	ノーマル(デフォルト)
		リバース
		レベル(デフォルト)
		パルス
		[パルス]選択後[適用]をクリックすると,パル ス幅を設定できます。
		デフォルト 50 ×10(単位:msec)
接点出力連動設定	:	接点出力の連動設定を行います。
		連動なし(デフォルト)
		電源状態に連動
		温度監視に連動
		死活監視に連動
		ハートビートに連動
アウトレット連動接点番号	:	連動なし(デフォルト)
1~8		接点出力1
温度上限警報	:	連動なし(デフォルト)
--------	---	-------------
		接点出力1
温度下限警報	:	連動なし(デフォルト)
		接点出力1
ハートビート	:	連動なし(デフォルト)
		接点出力1
死活監視	:	連動なし(デフォルト)
		接点出力1

接点出力

接点出力連動設定で設定した条件で接点出力されます。(接点出力とは接点を短絡することを意味します。)

動作モードで「リバース」を選択しますと接点出力は「接点出力開放」状態で出力されます。 また「レベル入力」「パルス入力」の設定ができます。「パルス」の際,その長さも指定できます。

設定が完了しましたら,[適用]をクリックします。

注意 [適用]ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

ノーマル/リバース,レベル/パルスを変更した場合,[適用]後,CPUリセット を実行する必要があります。

(4) 時刻設定

[システム設定]-「基本設定」-[時刻設定]をクリックします。

	時刻内容
PC時刻	2023/03/13 11:26:37
機器時刻	2023/03/13 11:26:36
	時刻設定
PC時刻と同期	2023/03/13 11:29:14
	NTP設定
NTPサーバーアドレス	
NTPサーバー同期間隔	6 (1=10 分)

〈1〉 時刻内容

接続しているPC内蔵時計の時刻と本装置内蔵時計の時刻を表示します。

〈2〉 時刻設定

[同期]をクリックすると接続されたPCの時刻と同じ時刻に設定できます。

〈3〉 NTP設定

NTPサーバーアドレス : NTPサーバーアドレスを入力します。 NTPサーバー同期間隔 : NTPサーバーと何分おきに同期するかを設定します。

([入力数]×10分,となります)

注意 本装置は時計を内蔵していますが,開梱時には時刻ずれが生じていることが予想されます。NTPサーバーの設定を行ってからご使用ください。

NTPサーバーの接続に失敗した場合は,エラーメッセージが表示されます。 (失敗した時点でエラーログが1回残ります。その後,接続に成功しなければ,24 時間置きにエラーログが表示されます。)

(5) 詳細設定

[システム設定]-[詳細設定]をクリックしてください。

	レジストリ リスト					
レジストリ リスト Text リスト						
#14-52年11291						
	ファームウェア管	理	ファーム	ウェア更新		
	ファームウェア書き換	え設定	有効	~		
	アウトレット	·連動送信 Wake on	LAN			
No.	アウトレット名称	MA	Cアドレス			
1	Outlet1	00:00:00:00:00	:00			
2	Outlet2	00:00:00:00:00	:00			
3	Outlet3	00:00:00:00:00	:00			
4	Outlet4	00:00:00:00:00	:00			
5	Outlet5	00:00:00:00:00	:00			
6	Outlet6	00:00:00:00:00	:00			
7	Outlet7	00:00:00:00:00	:00			
8	Outlet8	00:00:00:00:00	:00			
	信根マウトレー					
No.	仮想アウトレット名称	MAC 75		遅延(秒)		
1		00:00:00:00:00	:00	0		
2		00:00:00:00:00	:00	0		
3		00:00:00:00:00	:00	0		
4			:00			
5			:00			
6			:00			
7			:00			
8		00.00.00.00.00	.00	0		
		J				
_	N	/ake on LAN				
	WoL送出数	2				
	WoL送出間隔(秒)	15				
	cc	DMポート設定				
	COM1 通信速度	38400bps 🗸				
	COM1 キャラクター長	8 bits 🗸				
	COM1 ストップビット	1 bit 🗸				
	COM1 //UTZ	none 🖌				
	001127(0074					
	L	JPS連動設定				
	UPS名称	JPS連動設定				
	UPS名称 モニタ間隔(秒)	JPS連動設定				
5	UPS名称 モニタ間隔(秒) シャットダウン開始(秒)	JPS連動設定 [] [10] [120]				
2	UPS名称 モニタ間隔(秒) シャットダウン開始(秒) 停電検知レベル	JPS連動設定 10 120 ○負 ◎正				
	UPS名称 モニタ間隔(秒) シャットダウン開始(秒) 停電検知レベル ーバッテリー検出レベル	JPS連動設定 10 120 ○負 ●正 ○負 ●正				
:	UPS名称 モニタ間隔(秒) シャットダウン開始(秒) 停電検知レベル ーバッテリー検出レベル ャットダウン信号レベル	JPS連動設定 10 120 ○負 ●正 ○負 ●正 ○負 ●正				

〈1〉 レジストリリスト

[Textリスト]をクリックすると、WEB画面上に全変数が表示されます。

〈2〉機器制御

ファームウェア管理:[ファームウェア更新]をクリックすると,現在のファームウェアを確認でき, 明京サーバーから最新版にアップグレードすることができます。(FWの 更新情報は,弊社のホームページでご確認ください。)

ファームウェア書き換え設定 (デフォルト 有効)

無効 : ファームウェア更新機能を無効にします。

ファイルのみ : ファームウェア更新をローカルからのみ有効にします。

オンラインのみ : ファームウェア更新を明京サーバーからのみ有効にします。

有効 : ファームウェア更新をローカル/明京サーバーの両方から有効にします。

[ファームウェア更新]をクリックすると、以下のメニューが開きます。

ファームウェアバージョンアップ					
現在のファーム情報					
バージョン	4.00A.230306				
モデル名	RSC-MT8FS				
バージョンアップ方法の選択					
オンラインアップ	開始				
ローカルファイ	ファイル選択				

1) 現在のファーム情報

現在のバージョンとモデル名が表示されます。

2) バージョンアップ方法の選択

オンラインアップデート : [開始]をクリックすると,弊社サーバーに接続してアップグレードしま す。 ローカルファイルの選択 : コンピュータに保存したアップグレード用のファイルを選択してアップ

グレードします。

★何かのアクシデントでバージョンアップに失敗した場合★

本装置はバージョンアップに失敗しても「データ再送」画面が表示されるか,バージョンアップ前のファ ームウェアで動作する仕様となっています。アップデートの途中で停電や通信途絶が発生し,バージョン アップに失敗した場合,以下の手順でデータ再送を行ってください。

この時に、本装置のRESETボタンを押さないようにしてください。

通信途絶/回復の頻度とタイミングによっては、RESETボタンを押すとお客様の手元での再書き込みが 不可能な状態になってしまうおそれがあります。(不可能状態に陥った場合,弊社カスタマーサポートに ご連絡ください。)

発生した状況に合わせて,以下の対応を行ってください。

●通信途絶したが、WEBブラウザーが待機中となっている場合

C	SC-MT8FS Web Console [Nonar	×
↑待村	幾中はそのままお待ちください。	

●通信途絶の時間が長く、WEBブラウザーからHTTPリクエストが途絶えた場合 例)Chromeの場合

1/ 1/ 1	
0	192.168.1.22 × +
←	→ C 192.168.1.22/vup_end.htm
	<u>الله</u>
	このサイトにアクセスできません
	接続がリセットされました。
	次をお試しください

↑「再読込」ボタンをクリック(その後、[続行]やそれに類するボタンをクリック)してください。

- ●停電やコンセント抜けでリブーターの電源がOFFとなった場合 一度WEBブラウザーを閉じてから,再度WEBブラウザーを開いてリブーターにアクセスしてくだ さい。ログアウト画面が表示された場合は,ログインボタンをクリックしてください。
- ●更新中にWEBブラウザーを閉じた場合 WEBブラウザーを開き,リブーターにアクセスしてください。
- そうしますと、WEB画面に以下のいずれかの画面が表示されます。
- ●ログイン画面が表示され、ログイン後はメニューと簡易情報表示画面になる そのままご使用いただけますが、使用前にシステム情報を開き、バージョンを確認してください。旧 バージョンの場合は、再度バージョンアップを行ってください。

●WEB画面に以下の表示が出る



この場合は「ローカルファイル選択によるアップデート」を実施する必要があります。

バージョンアップファイルは明京電機株式会社ホームページにあります。 <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/</u>の,「アップデート(ファームウェア &ソフトウェア)」のセク ションから該当機種のバージョンアップファイルをダウンロードしてください。

WEB画面の[ファイルを選択]をクリックし,用意したバージョンアップファイルを選択します。 その後,[Update]をクリックし,アップデートを実施します。 [Update]クリック後は,しばらくお待ちください。

↓ Webブラウザーにて「待機中」になっている間はそのままお待ちください。



1分以上経過しても表示が変わらない場合のみ、本体RESETボタンを押して再び実行してください。 (初期化は絶対にしないでください。正常稼働しなくなります。)

成功すると,

192.168.1.22/recove	ery_end.htm × +
	▲ 保護されていない通信 192.168.
Firmware update	has completed successfully.

と表示されます。この後、リブーターのIPアドレスにアクセスし、「CPUリセット」を実行します。

〈3〉 アウトレット連動送信 Wake on LAN

Wake on LAN対応の機器を電源出力開始と同時にマジックパケットを送信し、ブートアップさせることができます。

注意 アウトレットの電源状態がOFFからONになるときにマジックパケットが送出 されます。そのため、アウトレットがONの状態時に「電源ONコマンド」を実 行してもWoLは実行されません。「電源REBOOTコマンド」であれば、 WoLを実行できます。または、仮想アウトレット制御をご使用ください。

アウトレット名称 : アウトレット設定で設定したアウトレット名称が表示されます。

MACアドレス : Wake on LANで起動を行いたい機器のMACアドレスを入力します。 デフォルト 00:00:00:00:00

〈4〉 仮想アウトレット設定[Wake on LAN]

仮想アウトレットとは実際には存在しないアウトレットです。MACアドレスを指定してマジックパケットを送出し、Wake on LAN 対応機器の電源をONにする機能です。仮想アウトレットを使用して対象機器の電源をOFFにすることはできません。

仮想アウトレット名称	:	仮想アウトレット名称を設定します。
		全角10文字,半角英数字20文字以内
MACアドレス	:	00:00:00:00:00:00(デフォルト)
遅延(秒)	:	ON遅延(※)の秒数です。
		デフォルト 0

(※)「ON遅延」について

「電源制御-仮想制御-仮想アウトレット(WoL)」で「全仮想アウトレット」をONにしたときに、このON遅延が発生します。



注意 本装置の仕様で,本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発 報されます。(イベントログには「コールドスタート」「電源操作(ON) 仮想アウト レット ALL」が記録されます。)

(5) Wake on LAN

「アウトレット連動送信Wake on LAN」,「仮想アウトレット設定[Wake on LAN]」共通の設定となります。



〈6〉 COMポート設定

COMポートに関する設定をします。

COM通信速度	:9600bps
	19200bps
	38400bps(デフォルト)
COMキャラクター長	: 7bits
	8bits(デフォルト)
COMストップビット	:lbit(デフォルト)
	2bits
COMパリティ	:none(デフォルト)
	odd
	even

〈7〉 UPS連動設定

UPSの連動に関する設定をします。 UPS連動機能を使用する場合は、本設定の他に本体前面DIPスイッチ1をONにしてください。

UPS名称	:	全角19文字 半角英数字19文字以内
モニタ間隔(秒)	:	UPSからの信号を再確認する時間です。再確認後に異常判断しま
		す。
		デフォルト:10秒
シャットダウン開始(秒)	:	バッテリー駆動が開始してからシャットダウン開始するまでの待機
		時間です。
		デフォルト:120秒
停電検知レベル	:	負 正 (デフォルト 正) UPS側の設定と揃えてください。 <mark>※1</mark>
ローバッテリー検出レベル	レ	: 負 正 (デフォルト 正) UPS側の設定と揃えてください。※1
シャットダウン信号レベル	/:	負 正 (デフォルト 正) UPS側の設定と揃えてください。 <mark>※1</mark>
シャットダウン有効化	:	無効 有効(デフォルト 無効)
無効 :UPSi	重	動で各Outlet出力をOFFした後、そのまま待機します。本装置を再

起動する必要はなく、UPSからの信号が解除され次第、出力をOFFにした OutletをONにします。

有効 : UPS連動で各Outlet出力をOFFした後, UPS側にシャットダウン(ER)信号 を送信します。ER信号に対応しているUPSはシャットダウンを開始し, 無駄な 電力放出を無くします。 正常動作に戻すためには本装置の再起動が必要になり, 再起動後, 出力を OFFにしたOutletをONにします。

※1.停電検知レベル・ローバッテリー検出レベル・UPSシャットダウン信号の「正負」に関して

「停電検知レベル」はUPSからのCS信号、「ローバッテリー検出レベル」はUPSからのCD信号、 「シャットダウン信号レベル」はUPSへのER信号を表しています。

各レベルの「正負」はUPS側の設定と揃える必要がありますが,基本的には下記のような違いがあります。

	正	負
正常時(CS:通電中 CD:正常電圧 ER:起動中)	電圧Low	電圧High
異常時(CS:停電中 CD:低電圧 ER:終了後)	電圧High	電圧Low

例えば,誤って信号線用ケーブルが抜けてしまった時の動作に違いが生じます。ケーブルが抜けた 場合に受信側は「電圧Low」と判断します。よって,「正」設定の時「正常」,「負」設定の時「異常」と判 断します。用途・目的に応じて使い分けてください。

詳細は 第10章 無停電電源装置(UPS)との連携 をご参照ください

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

(6) シャットダウンスクリプト設定

本装置にシャットダウンスクリプトに関する設定をします。

[システム設定]-[詳細設定」-[シャットダウン設定]をクリックします。スクリプト設定画面が表示されます。

基本設定	III III		設定		セキュリティ		
		シャットダウン設定					
アウトレット1	アウ	トレット2	アウトレッ	卜3	アウトレット4		
アウトレット5	アウ	レレット6	アウトレッ	ト7	アウトレット8		
		2007	トナータ	-1-			
シャッ	トダウ	シスクリプト	`		スクリプト編集		
	ス!	クリプト設定	(アウトレット	-1)			
スクリプト機能			○有効	◉	动		
スクリプト番号	ł	1					
対象IPアドレス							
ポート		0					
ユーザーID							
パスワード							
	レヤツ	トダウンPing	殳定 (アウトレ	/ツト1)		
シャットダウンPi	ng実行	テ先アドレス					
シャットダウ:	シャットダウンPing間隔(秒) 0						
シャットダウンPing無応答回数 0							
シャットダウン	最大送信数	0					
スクリプトMsg表示 (アウトレット1)							
メッセージ							

〈1〉 スクリプトデータ

[スクリプト編集]をクリックします。



1) スクリプトファイル

スクリプト1番にWindows用シャットダウンスクリプトがデフォルトで登録されています。 スクリプトファイル設定の[Text]をクリックすると,その番号に登録されているスクリプトを確認する ことができます。

[スクリプト説明]をクリックすると、テキスト作成の制限、スクリプト関数一覧の説明を見ることができます。

- 2) スクリプトファイル設定
 - Text : 各番号に登録されている内容を「スクリプトファイル」のウィンドウに呼び出します。
 - Load : [ファイルの選択]で作成済みのスクリプトファイルを選択し、[Load]をクリックして 登録します。登録した内容は上のウィンドウに表示されます。

3) スクリプトエラー時の終了コードによる電源OFF

終了コードがこの値を超えていたら,電源をOFFしません。 「0」なら,終了コードが0のときのみOFF,「255」ならすべての終了コードでOFFとなります。

4) SSHでのシャットダウン限定適用項目

WEB自動ページ更新 追加延長時間(秒) : 60(デフォルト)

SSHでのシャットダウンスクリプト実行中のみ, [ネットワーク設定]-[html表示設定]-[自動ページ更新時間(秒)]の設定秒数に, 上記の秒数を追加してWEBページ自動更新を行います。SSHでのシャットダウン処理中, 自動更新が生じないよう 十分な時間を設定してください。

☆詳細は 第9章 シャットダウンスクリプト をご参照ください。

スクリプト データ				
シャットダ	シャットダウン スクリプト スクリプト編集			
ح ا	スクリプト設定 (アウトレット1)			
スクリプト機能	○有効 ⑧ 無効			
スクリプト番号	1			
対象IPアドレス				
ポート	0			
ユーザーID				
パスワード				
シャッ	トダウンPing設定 (アウトレット1)			
シャットダウンPing実	行先アドレス			
シャットダウンPing	g間隔(秒) 0			
シャットダウンPing	無応答回数 0			
シャットダウンPing:	最大送信数 0			
スクリプトMsg表示 (アウトレット1)				
	メッセージ			

〈2〉 スクリプト設定(アウトレット1~8)

[アウトレット1]~[アウトレット8]のうち,設定を行うアウトレットをクリックします。

 スクリプト機能
 : 有効 無効 (デフォルト 無効)

 スクリプト番号
 : 1 (デフォルト)

 ※スクリプト1番にWindows用シャットダウンスクリプトがデフォルトで登録されています。

 IPアドレス
 : シャットダウンさせたいPC(STB)のIPアドレスを設定します。

 ポート
 : 0 (デフォルト)

 ユーザーID
 : 最大半角16文字

 パスワード
 : 最大半角16文字

〈3〉 シャットダウンPing設定(アウトレット1~8)

「シャットダウン確認としてのICMPエコー要求」を「シャットダウンPing」と呼びます。

シャットダウンPing実行先アドレス	: シャットダウンPingを送信したいIPアドレスまたはネ ームアドレスを設定します。
シャットダウンPing間隔(秒)	: シャットダウンPingを送信する間隔を設定します。 デフォルト 0(秒)
シャットダウンPing無応答回数	: アウトレットOFFを実行する,シャットダウンPingへの 無応答連続回数を設定します。 デフォルト 0(回)
シャットダウンPing最大送信数	 アウトレットOFFを実行する、シャットダウンPing連続 回数を設定します。(Ping応答の有無は考慮しません) デフォルト 0(回)

〈4〉 スクリプトMsg表示(アウトレット1~8)

メッセージ : スクリプト内に「set 文字列」があると、シャットダウンスクリプト実行後、 「文字列」がここに表示されます。

設定が終了しましたら,[適用]をクリックします。

(7) セキュリティ

[システム設定]-[セキュリティ]をクリックします。

	共通設定				
電	電源制御方式 ↓ 変更			変更	
		http Ide	ent (表示の)み)	
No.	ユーザー	ID		パスワード	
1					
2					
	htt	p Control	(表示 & 電源	原制御のみ)	
No.	ユーザー	ID		パスワード	
1]			
2					
		ht	tp Admin		
No.	ユーザー	·ID		パスワード	
1	admin		•••••		
2					
	http Supervisor				
No.	ユーザ-	-ID		パスワード	
1	super		•••••		
2					
MPMPコマンド制御					

No.	ユーザーID	パスワード
1		Ð
2		P
3		(

〈1〉 共通設定

電源制御方式	: [排他制御方式]と[ガードタイム方式]を選択します。 デフォルト 排他制御方式
★排他制御方式	: 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者のみに限定します。 WEB画面, シリアル通信, (有効ならば)Telnet, SSH通信いずれかで, 一 者が電源制御を行いログインし続けている状態の時には, (他の通信手段 であっても)他者のログインを許可しません。
★ガードタイム方式	: 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者に限定せず,多重ログインを許可します。(同一通信方式にて最大2接 続まで。)

「メール制御」「ダイレクトWEBコマンド」は[ガードタイム方式]設定時の

み実行可能です。(MPMPによる電源制御も[ガードタイム方式]の時に しか実行できません)

ー者が電源制御を行った場合,他者もログインしてWEB画面を見たり Telnetなどで通信を行うことはできますが,別の電源制御コマンドをガー ドタイム中に送信しても無効となります。ガードタイム経過後であれば,他 者からの電源制御コマンドも実行できます。

ガードタイムには2種類あり、「電源ON/REBOOTコマンド後」と「電源 OFFコマンド後」のガードタイムを個別に設定できます。

●方式の切替時, [変更]ボタンを押下すると次の警告文が表示されます。 警告の内容に同意の上, [OK]を押し, ふさわしいガードタイムを設定してください。

192.168.1.160 の内容		
以下の文面をお読みになり、同意される場合にの す。【RSC-MT8FS】 排他制御方式では多重ログインは不許可、ガー す。ガードタイム方式の場合、他の操作者により、 ぬ動作が生じるおそれがあるため、リスクを考慮し ださい。	Dみ電源制御方 ドタイム方式では ご自身の意図。 ,適切なガードタイ	式を変更できま 許可となりま とは異なる思わ イムを設定してく
【 同意しますか? 】		
	ок	キャンセル

[ガードタイム方式]に切り替えると、ガードタイムを設定できるようになります。

共通設定	
電源制御方式 ガードタイム方式 ▼	変更
ON/REBOOT後, ガードタイム(秒)	10 🖪
OFF後, ガードタイム(秒)	10

ON/REBOOT後,ガードタイム(秒) : デフォルト10(秒)

(WEB画面での入力可能値:1~9999)

●「PONn」「MPON」「PORn」「MPOR」,現状OFFになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド実行後に適用されます。

OFF後,ガードタイム(秒)

: デフォルト10(秒) (WEB画面での入力可能値:1~9999)

●「POFn」「MPOF」,現状ONになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド実行後に適用されます。

●ガードタイム仕様●

・「ON/REBOOT後,ガードタイム」「OFF後,ガードタイム」ともに,設定値は各アウトレット共通となります。(アウトレット個別に,異なる長さのガードタイムを設定することはできません。)

・「ON/REBOOT後,ガードタイム」の間は、OFFコマンド、REBOOTコマンドがブロックされます。 ・「OFF後,ガードタイム」の間は、ONコマンド、REBOOTコマンドがブロックされます。

・1つのアウトレットが

「ON/REBOOT後,ガードタイム」中に,MPOF,MPORコマンドが または「OFF後,ガードタイム」中に,MPON,MPORコマンドが 実行されても,そのコマンドは無効とされ,ガードタイムがかかっていないアウトレットの電源状態 は変化しません。

・各種監視(Ping,メールサーバー,ハートビート,温度), UPS連携,スケジュール,リモートスイッチ 連動,接点入力連動によるアウトレット操作はガードタイムの対象外となります。

・ガードタイム発動時、接続している全てのユーザーからの電源制御が制限を受けます。

■「ON/REBOOT後,ガードタイム」「OFF後,ガードタイム」と電源ON/OFFコマンド





ON/REBOOT						
アウトレット1	OFF	ON	カ−ドタイム ↑			
アウトレット2	OFF			ON	/ debOlReb	ootTime
アウトレット3	OFF			OFF	₩ → ON	
アウトレット4	OFF					*
-ב	- Մ -D	PON1	МРО	R POR3		POF3
-ت	- ザ -②	P	OR1	PON2		

〈2〉 各種権限

http Ident	:	システム情報の参照のみ		(※ 最大10件登録)
http Control	:	システム情報参照と電源の制御のみ		(※ 最大10件登録)
http Admin	:	全ての権限 デフォルトとして「1」に ユーザーID:adı	min	(※ 最大5件登録) パスワード:magic
http Supervisor	:	Ident権限にCPUリセット機能を追加 デフォルトとして「1」に ユーザーID:sup	per	(※ 最大5件登録)パスワード:illusion
ユーザーII パスワード	C	: 最大半角8文字 (重複不可) : 最大半角16文字 (重複可)	(@)3	 抹不可)

	Ident	Control	Admin	Supervisor
簡易状態表示	0	0	0	0
監視状態表示	0	0	0	0
イベントログ	×	×	0	0
電源制御	×	0	0	×
各種設定	×	×	0	×
CPUリセット	×	×	0	0

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

注意 Telnet,シリアル通信,SSH通信用のID,パスワードは別途変更する必要があ ります。

●Telnet,シリアル通信用 第5章 その他の設定 をご覧ください。
 ●SSH通信用 [ネットワーク設定]-[詳細設定]-[SSH設定]-[SSHサー バー設定]にて設定できます。

〈3〉 MPMPコマンド制御

明京オリジナルプロトコル MPMP(Meikyo Products Management Protocol)を使用して,電源 制御,接点出力制御,仮想アウトレット制御,CPUリセットを実行させることができます。 MPMPによる制御に使用するID,PASSを8セット,設定することができます。

ユーザーID :半角英数記号5文字以内 パスワード :半角英数記号7文字以内

注意 MPMPによる制御に関しては弊社営業部に一度ご相談ください。

(8) フィルター

システム設定 / セキュリティ / フィルター					
基本設定	詳細設定		セキュリティ		
			 כ	ィルター	
		(
	IP フィルター設	定			
	ター機能		()有:	动	
アド	レス1		192.168	3.10.0	
アド	レス2				
דא	L73				
Ide	nt / Control ユーザ-	- 表示詞	设定		
詳細状態	表示		○隠す	 ◎ 表示	
接点制				 ● 表示 	
仮想アウトレ	仮想アウトレット制御			 ● 表示 	
電源制御 ON	ボタン		○隠す	 ● 表示 	
電源制御 OFF	・ ボタン		○隠す	 ● 表示 	
電源制御 REBO	OT ボタン		○隠す	 ● 表示 	
アウトレット	1関連		○隠す	 ● 表示 	
アウトレット	~2 関連		○隠す	◎ 表示	
アウトレット	アウトレット3 関連			◎ 表示	
アウトレット	アウトレット4 関連			◉ 表示	
アウトレット	アウトレット5 関連			◉ 表示	
アウトレット	6 関連		○隠す	◉ 表示	
アウトレット	7 関連		○隠す	● 表示	
アウトレット	8 関連		○隠す	● 表示	
全アウトレット		○隠す	◎ 表示		

〈1〉 IPフィルター設定

IPフィルター機能 アドレス1~10

: 有効 無効(デフォルト 無効) : 192.168.10.0(デフォルト)

(最大10アドレス)

登録するアドレスは,最後のビットを0にします。

アドレス1のデフォルト値[192.168.10.0]ですと, 192.168.10.1~192.168.10.254からのみ接続可能となります。

(0に設定した部分は、あらゆる数値をとれる、ということになります)

■IPフィルターについて

細かに設定する場合, Telnetで変数を用いて設定する必要が出てきます。

関係する変数名

IPフィルターアドレス	:	ipFilterAddr	(WEB画面でも設定可能)
IPフィルターマスク	:	ipFilterMask	(WEB画面には項目がない)

IPフィルター機能はビット単位のマスク機能です。(IPv4のサブネットマスク)

基本的にマスクを「<u>255</u>」にすると「<u>必ずその値でなければならない</u>」となり, 「<u>0</u>」にすると「その部分は<u>あらゆる数値</u>をとれる」となります。 ですので, ipFilterMask=<u>255.255.255.0</u> ipFilterAddr=192.168.10.<u>0</u>とすると, [192.168.10.1~192.168.10.254]から接続可能になります。

1) 指定のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例:「192.168.1.119」「10.149.15.12」「10.46.48.111」の3つのアドレスからのアク セスのみ受け付けたい。

ipFilterMask=255.255.255.255 にすることで、そのアドレスのみ可能にできます。

Telnetやシリアルコンソールで、次の変数を書き込みます。

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

2) ある範囲のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例1 「192.168.10.1~192.168.10.150」まで接続可能にしたい場合

まず「192.168.10.」の部分は「必ずその値であるべき」なのでマスクは「255.255.255.」で始めま す。最後の一枠に関して2進法を使って設定していきます。

「150」を2進法で表すと「10010110」となります。つまり、128+16+4+2です。【2進法の「1」に注目しています。】

このとき「128」,「128+16=144」,「128+16+4=148」,「128+16+4+2=150」の4つを区切りとして考えます。

ipFilterMask ipFilterAddr ipFilterMask ipFilterAddr x=0,1どちらでも 網掛け=固定 10進法 2進法 2進法 10進法 1~127 1000000000000000000 128 0xxxxxxx \rightarrow 0 128~143 1 1 1 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 1000xxxx 240 128 \rightarrow 1 1 1 1 1 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 0 144~147 100100xx \rightarrow 252 144 148~149 1 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 1 0 1 0 0 254 1001010x 148 \rightarrow 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 1 0 1 1 0 255 150 10010110 150 \rightarrow となるので、Telnetやシリアルコンソールで、次の変数を書き込みます。

【ipFilterMaskルール】

2進法にして「0」→「0,1両方可」,「1」→「固定部分」とマスクをかける。

の後「>」の後に「Write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれま

例2「192.168.10.151~192.168.10.254」まで接続可能にしたい場合

これも最後の一枠だけ考えます。

「151」を2進法で表すと「10010111」となります。この数字から255を目指すので、今度は2進法の 「0」に注目すると、あと「8+32+64」あれば255になります。(IPアドレスで255は使用しません。 ただフィルターのマスクを考えるにあたっては便宜上255をイメージします) このとき「151」、「151+8=159」、「151+8+32=191」、「151+8+32+64=255」の4つで考え ます。

[ipFilterMask/V-/V]

	x=0,1どちらでも	ipFilterMask ipFilterAddr	ipFilterMask ipFilterAddr		
網掛け=固定		2進法 2進法	10進法 10進法		
151	10010111	$1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \$	255 151		
152~159	10011xxx	$1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 0 \ 1 \ 0 \ 0$	248 152		
160~191	101xxxxx	$1 \ 1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ $	224 160		
192~255	11xxxxxx	$1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 1 \ 1 \ $	192 192		

2進法にして「0」→「0,1両方可」,「1」→「固定部分」とマスクをかける。

となるので,Telnetやシリアルコンソールで,次の変数を書き込みます。

(変数なので,初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterAddr=192.168.10.151,192.168.10.152,192.168.10.160,192.168.10.192

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

これで「192.168.10.151~192.168.10.254」だけが接続できるようになりました。

〈2〉 Ident / Controlユーザー 表示設定

詳細状態表示	:	隠す,表示
接点制御	:	隠す,表示
仮想アウトレット制御	:	隠す,表示
電源制御ONボタン	:	隠す,表示
電源制御OFFボタン	:	隠す,表示
電源制御REBOOTボタン	:	隠す,表示
アウトレット1-8関連	:	隠す,表示
全アウトレット制御ボタン	:	隠す,表示

デフォルトは「表示」です。「隠す」にチェックするとWEB接続時, Ident / Control権限での各表示 を隠すことが出来ます。

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

注意 デイジーチェーン接続時,アウトレット9~16の表示は隠すことができませ ん。

.

[3] ネットワーク設定

(1) 基本設定

[ネットワーク設定]をクリックします。

ネット	平内央300 マーク基本設定		
	192.168.10.1		
サブネットマスク	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ			
DNS サーバーアドレス			
DHCP	○ 有効 ● 無効		
НТТР	◉ 有効 ○ 無効		
HTTP ポート	80		
HTTP 認証方式	Digest 🗸		
Realm 名	RSC-MT8FS		
Nonce 時間 (秒)	180		
Telnet	○ 有効 ● 無効		
Telnet ポート	23		
リモート Telnet IP			
リモート Telnet ポート	23		
通信速度	自動接続		
RPCサーチ	◉ 有効 ○ 無効		
自動ログアウト	◉ 有効 ○ 無効		
HT	ML 表示設定		
ログインタイムアウト(秒) 600			
自動ページ更新設定	○ 有効 ● 無効		
自動ページ更新時間 (秒) 30		
ガイレクトW/EPコマン Kiter			
ダイレクトWEBコマンド様	機能[?] ○有効 ◎無効		
「ガードタイム方式」かつ「電源制御時の動作確認:なし」設定時のみ電源 御が可能です。 <u>[システム設定]-[セキュリティ</u>]及び <u>[システム設定]-[基本</u>			

<u>定]-[アウトレット設定</u>]から設定してください。

〈1〉 ネットワーク基本設定

IPアドレス	:	192.168.10.1
サブネットマスク	:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	:	0.0.0.0
DNSサーバーアドレス	:	0.0.0.0
DHCP	:	有効 無効(デフォルト 無効)
HTTP	:	有効 無効(デフォルト 有効)
HTTP ポート	:	80
HTTP認証方式	:	None Basic Digest(デフォルト Digest)
Realm名	:	RSC-MT8FS
		(半角20文字以内)
Nonce時間(秒)	:	180
		設定可能値 30 ~ 30000
Telnet	:	有効 無効(デフォルト 無効)
Telnet ポート	:	23
リモートTelnet IP	:	0.0.0.0
リモートTelnetポート	:	23
通信速度	:	100Mbps Full Duplex
		100Mbps Half Duplex
		10Mbps Full Duplex
		10Mbps Half Duplex
		自動接続 (デフォルト 自動接続)
RPCサーチ	:	有効 無効(デフォルト 有効)
自動ログアウト	:	有効 無効(デフォルト 有効)
		※特に記載の無い内容はデフォルト値となります。
注意 HTTP認証を「No	nejに	設定するとブラウザーでアクセス時にログイン画面

HTTP認証を「None」に設定するとフラワザーでアクセス時にロクィン画画 が表示されます。 「Basic」または「Digest」に設定するとブラウザー依存のポップアップ画面 にIDとパスワードを入力する方式になります。

外部のネットワークから接続するためIPアドレスを固定にしてルーターのポートフォワーディング 機能を利用する場合は、DHCPを無効にしてください。

注意	DHCP利用中,IPアドレスの取り直しが行われると本装置は自動的にCPU
	RESETを行います。

〈2〉 HTML表示設定

ログインタイムアウト(秒) : 自動ログアウトまでの時間を設定します。 デフォルト:600 設定可能値:30~30000 ★画面右上に"自動更新間隔(*秒)"の表示がある画面を 開いている場合は自動ログアウトされません。

自動更新間隔(30秒)

- 自動ページ更新設定 : 簡易状態表示画面,詳細状態表示画面について,自動更新の有 無を設定します。 有効:自動更新を行う
 - 無効: 自動更新を行わない(デフォルト 無効)

★この項目を[無効]にしていても【電源制御】画面は必ず「自動更新」になります。

- 自動ページ更新時間(秒) : Webと電源制御画面の自動更新間隔時間を設定します。 デフォルト:30
- **〈3〉 ダイレクトWEBコマンド設定** ダイレクトWEBコマンド機能 : 有効 無効 (デフォルト:無効)

注意 ダイレクトWEBコマンドについては 第6章5.WEBコマンドからの制御 をご 確認ください。 ダイレクトWEBコマンドで「電源制御」するには ●ガードタイム方式 ●電源制御時の動作確認:なし に設定する必要があ ります。

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

(2) 詳細設定

[ネットワーク設定]-[詳細設定]をクリックします。ネットワーク詳細設定画面が表示されます。

÷	ネットワーク設定 / 詳細設	定 Č
基本設定	詳細設定 SSH設定	8定 サーバー連携
	ネットワークテスト	
各種送	信テストページ	送信テスト

〈1〉 ネットワークテスト

[送信テスト]をクリックすると次の画面が表示されます。

	機能テスト					
ブザー	ブザー ON ブザー OFF					
	Wa	ike on LAN 送信	テスト			
Outlet1				WoL送信		
Outlet2				WoL送信		
Outlet3				WoL送信		
Outlet4				WoL送信		
Outlet5				WoL送信		
Outlet6				WoL送信		
Outlet7				WoL送信		
Outlet8				WoL送信		
	_	テストメーノ	l			
7 :	テストメール送信 送信					
I;	エラーメッセージ クリ			クリア		
	Ping送信テスト					
対象IPアドレス	対象IPアドレス 送信					

〈2〉 機能テスト

ブザー音の確認ができます。

〈3〉 Wake on LAN送信テスト

設定されているMACアドレスにマジックパケットを送信できます。

〈4〉 テストメール

通知先設定で設定したメールアドレスにテストメールを送信します。 何らかの不具合が出た場合「エラーメッセージ」が表示されます。 [クリア]をクリックしますとエラーメッセージがクリアされます。

〈5〉 Ping送信テスト

「対象IPアドレス」に入力したIPアドレスに対してICMPを送信し、その結果を表示します。 Ping送信中は以下の表示となります。

送信状態		PING 送信中					
測定結果	測定結果は以下のように表示されます。						
結果		Reply from 192.168.1.232 time=1ms					
正常	Reply fro: xxx.xx yyy	om xxx.xxx.xxx.xxx time=yyy ms x.xxx.xxx :測定先アドレス :応答時間(ミリ秒)					
異常	:Request 応答が異	timed out. 《常					
異常	:Domain ı ドメインキ	name not found. 名が存在しない					

〈6〉 基本SNMP設定

基本 SNMP 設定				
SET GET 設定		〇有効	◉ 無効	
GET Community Name	public			
SET Community Name	public			
TRAP Community Name	public			
Manager Trap		○有効	◉ 無効	
Authentication Trap		○有効	◉ 無効	
Trap IP アドレス1				
Trap IP アドレス2				
Trap IP アドレス3				
Trap IP アドレス4				
Trap IP アドレス5				
Trap IP アドレス6				
Trap IP アドレス7				
Trap IP アドレス8				

SET GET設定	:	有効 無効(デフォルト 無効)
GET Community Name	:	public
		(全角20字,半角20字以内)
SET Community Name	:	public
		(全角20字,半角20字以内)
TRAP Community Name	:	public
		(全角20字,半角20字以内)
Manager Trap	:	有効 無効(デフォルト 無効)
AuthenticationTrap	:	有効 無効(デフォルト 無効)
Trap IPアドレス	:	0.0.0
		(最大8IPアドレス)
	※特に	記載の無い数値等はデフォルト値となります。

注意 「SET GET設定」を変更するには、[適用]クリック後、「CPUリセット」を行う必 要があります。

〈7〉 SNMPフィルター設定

	SNMP フィルター設定					
	SNMP フィルター機能		○有効 ◎ 無効			
	フィルター IP アドレス		フィルターマスク			
1			255.255.255.255			
2			255.255.255.255			
3			255.255.255.255			
4			255.255.255.255			
5			255.255.255.255			
6			255.255.255.255			
7			255.255.255.255			
8			255.255.255.255			
9			255.255.255.255			
10			255.255.255.255			
S	NMPフィルター機能	:	有効 無効(デフォルト 無効)			
フ	ィルターIPアドレス1-10	:	0.0.0			
フ	イルターマスク	:	255.255.255.255			

(最大10アドレス)

l			状規則通知機能
	¥	就通知機能	(無効 ✔
		アドレス	
	1	ポート	5000
		アドレス	
	2	ポート	5000
	_	アドレス	
	3	ポート	5000
		アドレス	
	4	ポート	5000
	_	アドレス	
	5	ポート	5000
		アドレス	
	汨	代態通知機能	: 無効(デフォルト) SYSLOG MPMP BPC FYE
	ア	'ドレス1-8	: IPアドレス,ドメイン名どちらでも入力することができます
	치	∜−−ト1-8	: 5000
状態	〕 通知根	き信間隔(秒) 機能について	: 300 よ, 第12章 ネットワーク稼働監視 をご参照ください。

〈8〉 状態通知機能

●MPMP(Meikyo Products Management Protocol)とは、従来の明京電機状態通知プロト コルを拡張したものです。規模の大きい状態監視システムを構築する時や接点情報を活用した監視 システムをする時に役立ちます。対応ソフトウェアについては弊社営業部にご相談ください。

任息 - アインーナエーノ接続時,「	注意
--------------------	----

〈9〉 アウトレット連動一斉制御送信

	アウトレット連動一斉制御送信					
	制御	動作				
1	指定無し 🖌	無動作 🖌				
2	指定無し ¥	無動作 🖌				
3	指定無し ¥	無動作 🖌				
4	指定無し ∨	無動作 🖌				
5	指定無し ∨	無動作 🖌				
6	「指定無」、 🗸	毎動作▼				

制御	:	指定無し グ	ループ1~8
動作	:	無動作	連携なし
		電源ON	電源ON時にON一斉制御送信
		電源OFF	電源ON時にOFF一斉制御送信
		リブート	電源ON時にリブート一斉制御送信
		同期	「 電源ON時にON一斉制御送信
		-	電源OFF時にOFF一斉制御送信
			└ 電源リブート時にはリブート一斉制御送信

アウトレット連動一斉制御送信

アウトレット連動一斉制御送信とは,設定アウトレットの電源操作に連動して設定されている機器グ ループに対して一斉制御命令を送信する機能です。

〈10〉一斉電源制御受付(子機機能)設定

ー斉電源制御につきましては,第7章一斉電源制御 をご参照ください。 本メニューは電源制御方式が「ガードタイム」に設定されている時のみ,表示されます。

一斉電源制御受付 (子機機能) 設定				
子機グループ	Disabled 🗸			
親機MACアドレス	00:00:00:00:00:00			
子機グループ	Disabled Group1~8 デフォルト Disabled			
親機MACアドレス	一斉電源制御コマンドが送られてくる親			

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

(3) SSH設定

SSHサーバー機能の設定,SSHサーバーまたはクライアントでのKeyの削除を行います。

[ネットワーク設定]-[詳細設定]-[SSH設定]をクリックします。SSH設定画面が表示されます。

SSH KEY【SSHサーバー時】				
sshPublicDsaKey	Key削除			
sshPublicRsaKey	Key削除			
	/			
SSH KEY (SSHクライアン	~ ト時】			
	1.001			
sshKnownHost1	Key削除			
	//			
sshKnownHost2	Key削除			
sshKnownHost3	Key削除			
sshKnownHost4	Key削除			

〈1〉 SSH KEY表示

sshPublicDsaKey	:	SSH.DSA公開鍵を表示します。
		【本装置がSSHサーバーとなる時に使用】
sshPublicRsaKey	:	SSH.RSA公開鍵を表示します。
		【本装置がSSHサーバーとなる時に使用】
sshKnownHost1-8	:	シャットダウンスクリプト実行時,SSHクライアントとし
		て接続したときにサーバーから受け取ったキーを表示
		します。

注意 SSHサーバーに対してシャットダウンスクリプトを実行しても失敗する場合, [Key削除]にてknown_hostsのエントリを消すことで改善されることがありま す。

〈2〉 SSHサーバー設定

タイムアウト(分)

SSHユーザーID

SSHパスワード

	SSHサーバー設定				
SSHサーバー	○有効 ● 無効				
sshサーバー ポート	22				
タイムアウト(分)	10				
	SSH ユーザーID	SSH パスワード			
Admin	admin				
Supervisor	super	•••••			
●本装置のSSH機能に関して次のオーブンソースソフトウェアを利用しています。 これらのオーブンソースソフトウェアについては, リンク先のライセンス条件に示されたライセンス条件と免費規定が適用されます。 <u>OpenSSH(5.1p1)のライセンス条件</u> <u>OpenSSL(0.9.8i)のライセンス条件</u>					
SSHサーバー	:	サーバー機能の有 (デフォルト:無効	可効/無効を選択)		
SSHサーバー	ポート :	SSHサーバーのフ	ポート番号を設定		

(デフォルト:22)
: SSHサーバーの無通信時間を設定 (デフォルト:10分)
: SSHサーバーログイン用のユーザー名 (Admin権限=デフォルト:admin) (SV権限=デフォルト:super)

【半角英字8文字以内】

: SSHサーバーのパスワードを設定 (Admin権限=デフォルト:magic) (SV権限=デフォルト:illusion) 【半角英字16文字以内】

注意 「SSHユーザーID」「SSHパスワード」ともに、Admin権限、Supervisor権限そ れぞれ別のID、PASSを設定してください。(両方に同じ文字列を設定しないで ください)

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

SSHサーバー機能を使うためにはDSAキーとRSAキーを作成する必要があります。Telnetま たはシリアル通信でログインした後,次のコマンドを実行します。 KEYGEN_DSA

KEYGEN_RSA (」はスペース)

作成中[.]が表示されます。作成には数分間必要です。CPUリセット後有効になります。

注意	SSHは, Open SSH 5.1plを使用しています。
	SSHプロトコルのバージョンは, クライアント, サーバーともに「バージョン2」
	ですが,公開鍵認証には対応しておりません。

(4) メール設定

メール機能に関する設定をします。 [ネットワーク設定]-[メール設定]をクリックします。

〈1〉 メールサーバー設定

ユーザー名,パスワード,メールアドレス,受信サーバー名,受信ポート,送信サーバー名,送信 ポートはプロバイダからの資料に基づき設定します。

	メールサーバー設定
ユーザー名	
パスワード	
メールアドレス	
受信サーバー	
受信ポート	110
送信サーバー	
送信ポート	25
メール確認間隔(分)	3
再接続時間(秒)	10
形式	О ІМАР (РОРЗ
SMTP Auth	○ 有効 ● 無効 ☑ CRAM-MD5 ☑ LOGIN ☑ PLAIN
IMAP Auth	CRAM-MD5

注意 本製品はSSL/TLS通信に対応しておりません。そのため、この「メールサーバ ー設定」(リブーター側に設定するメールアドレス)にGmailなどのSSL/TLSを 用いたメールを設定することはできません。

> ただし、「通知先アドレス」には、SSL/TLSを用いたメールを設定することが できます。

メール確認間隔(分)	:	サーバーのメールチェック間隔を指定します。	
		デフォルト 3	
再接続時間(秒)	:	メールリトライ間隔を設定します。	
		デフォルト 10	
→(変数mailRetryCountで設定した回数送信します。デフォルト:3回)			
形式	:	IMAP POP3 (デフォルト POP3)	
SMTP Auth	:	有効 無効(デフォルト 無効)	
		認証方式を選択します。	

		CRAM-MD5	LOGIN	PLAIN
IMAP Auth	:	認証方式を選択		
		CRAM-MD5	LOGIN	

〈2〉 メール制御設定

メール制御設定		
メール制御コマンド [[?] 〇有効 ⑧ 無効	
 ★「ガードタイム方式」時のみメールでの電源制御可能です。[システム設定]: [セキュリティ]から設定してください。 ★「通知先アドレス」に登録されているアドレスからのみメール制御可能です。 		
メール制御ユーザー名		
メール制御パスワード		
送信メール 件名	機器名称 ✔	
送信メール 本文1行目	日時又は積算時間	
送信メール 本文2行目	設置場所 ✔	
送信メール 本文3行目	IPアドレス ▼	
送信メール 本文4行目	MACアドレス 🗸	
送信メール 本文5行目	ユーザー任意1 🗸	
送信メール 本文6行目	イベント内容 🖌	
送信メール 本文7行目	表示無し	
送信メール 本文8行目	表示無し	
ユーザー任意1	lr\n	
ユーザー任意2		
ユーザー任意3		
接点入力ON時	SHORTEN	
接点入力OFF時	OPENED	
接点出力OFF時	OPENED	

メール制御コマンド : 有効 無効 (デフォルト 無効)

★「メールサーバー監視」(第4章	2.[4	4](2))を行うには「有効」を選択してください。
★メール制御は、次の〈3〉通知5	もアト	ドレス に設定したメールアドレスからのみ有効です。
★メール制御で「電源制御」を行	う場	合,「ガードタイム方式」を選択する必要があります。
メール制御ユーザー名	:	半角英数字63文字以内
メール制御パスワード	:	半角英数字63文字以内
		[表示無し][機器名称][設置場所][IPアドレス]
送信メール 件名		[MACアドレス][イベント内容][ユーザー任意1~3]
		(*)より選択します。
送信メール 本文1行目		日時又は積算時間



<接点出力ON時は状態によって通知する表示が変化します。表示の変更ができない仕様です。>

通知先設定				
No.	種類	通知先アドレス		
アドレス1	T0 🗸			
アドレス2	T0 🗸			
アドレス3	T0 🗸			
アドレス4	T0 🗸			
アドレス5	T0 🗸			
アドレス6	T0 🗸			
アドレス7	T0 🗸			
アドレス8	то 🗸			

通知先となるメールアドレスを設定します。最大8件設定できます。

種類 : TO CC BCC (デフォルト TO) 通知先アドレス : 通知するメールアドレスを設定します。

★メール制御は,ここに登録されているメールアドレスからしか実行できません。 ●「通知先アドレス」には,SSL/TLSを用いたメールを設定することができます

〈4〉 送信条件フラグ

送信条件フラグ								
No.	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8
アドレス1								
アドレス2								
アドレス3								
アドレス4								
アドレス5								
アドレス6								
アドレス7								
アドレス8								
ログ送信回数	0							
F1 Ping,Mail F2 温度 F3 スケジュール F4 UPS								
F5 接点入力 F6 F7 ハートビート F8 ログ								
接点入力状態変化通知 ALL 🗸								

7種類([Ping, Mail][温度][スケジュール][UPS][接点入力][ハートビート][ログ])から選 択できます。チェックしたフラグに連動してメールが送信されます。たとえば, [Ping]では死活 監視が[異常]または[回復]に変化した時にメールを送信します。

ログ送信回数	:	設定した数 信します。	だけログが更新されると通知先アドレスにログを送
		(MAX:20))(デフォルト 0の時は送信しません。)
接点入力状態変化通知	:	F5[接点ス 知を設定て 無効 OFFのみ ONのみ ALL	、力]にチェックを入れているメールアドレスへの通 きます。 (デフォルト:[ALL]) ON/OFF両方とも通知しない OFFになったことだけ通知する ONになったことだけ通知する ON/OFF両方とも通知する

〈5〉 メールサーバーエラーメッセージ

メールサーバーエラーメッセージ	
エラーメッセージ	
	クリア 🗆

メールに失敗したエラー情報を表示します。

クリアにチェックして[適用]をクリックすると消去できます。

※メールサーバーのチェックは[ネットワーク設定]-[詳細設定]-「ネットワークテスト」の[送 信テスト]から行います。
注意 [適用]ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によって は、「CPUリセット」を行う必要があります。

> リブーターの仕様上,「ユーザー名」「パスワード」が空欄の場合,リブーターから のメール送信は実行されません。そのため,メール制御は実行しないがメール通 知は実行したい場合は,「ユーザー名」「パスワード」にダミーデータを設定する必 要があります。

> リブーター側に設定したメールアドレスのメールサーバー内のメールは、メー ルチェック間隔でメールサーバー内のメールをチェックした後、削除されます。 ですので、リブーターに設定するメールアドレスは専用のものを1つご用意く ださい。

> メールでの「電源制御」を行う場合、「ガードタイム方式」でなければ実行できま せん。

(5) サーバー連携

こちらのメニューは 電源管理クラウド365 をご契約された方向けのメニューとなります。 [ネットワーク設定]-[サーバー連携]をクリックします。

基本設定 詳細	設定 メール設定 サーバー連携
排他制	削御/ガードタイム方式切替
電源制御方式	№制御方式
	NTP設定
NTPサーバーアドレス	
NTPサーバー同期間隔	6 (1=10 分)
	源管理クラウド365連携
サーバー連携	○有効 ◎ 無効
	適用

〈1〉 排他制御/ガードタイム方式切替

こちらの項目は本章の2.[2](7)(1)共通設定 と共通の内容となります。

電源制御方式 : [排他制御方式]と[ガードタイム方式]を選択します。 (デフォルト [排他制御方式])

- ★[排他制御方式] : 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者のみに限定します。 WEB画面, (有効ならば)Telnetいずれかで, 一者が電源制御を行いログ インし続けている状態の時には, (他の通信手段であっても)他者のログイ ンを許可しません。
- ★[ガードタイム方式]: 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者に限定せず,多重ログインを許可します。(同一通信方式にて最大2接 続まで。) サーバー連携機能を有効にするには[ガードタイム方式]を選択する必 要があります。(「メール制御」「ダイレクトWEBコマンド」,MPMPによ る電源制御も[ガードタイム方式]の時のみ実行できます) 一者が電源制御を行った場合,他者もログインしてWEB画面を見たり Telnetなどで通信は行えたりしますが,別の電源制御コマンドをガードタ イム経過せずに送信しても無効となります。ガードタイム経過後であれば, 他者からの電源制御コマンドも実行できます。

ガードタイムには2種類あり、「電源ON/REBOOTコマンド後」と「電源 OFFコマンド後」のガードタイムを個別に設定できます。

●方式の切替時, [変更]ボタンを押下すると次の警告文が表示されます。 警告の内容に同意の上, [OK]を押し, ふさわしいガードタイムを設定してください。

192.168.1.160 の内容		
以下の文面をお読みになり、同意される場合にの す。【RSC-MT8FS】)み電源制御方	式を変更できま
排他制御方式では多重ログインは不許可,ガート す。ガードタイム方式の場合,他の操作者により,	ックイム方式では ご自身の意図	は許可となりま とは異なる思わ
QB動作が生しるみそれがあるため、リスクを考慮し ださい。	週切なカートダイ	1ムを設定し(く
【 同意しますか? 】		
	ОК	キャンセル

[ガードタイム方式]に切り替えると、ガードタイムを設定できるようになります。

排他制御/ガードタイム方式切替	
電源制御方式 ガードタイム方式 ▼	変更
ON/REBOOT後, ガードタイム(秒)	10
OFF後, ガードタイム(秒)	10

ON/REBOOT後、ガードタイム(秒) : 10 (デフォルト)

(WEB画面での入力可能値:1~9999)

●「PONn」「MPON」「PORn」「MPOR」,現状OFFになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド 実行後に適用されます。

OFF後,ガードタイム(秒) : 10 (デフォルト)

(WEB画面での入力可能値:1~9999)

●「POFn」「MPOF」,現状ONになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド実行後に適用されます。

〈2〉 NTP設定

こちらの項目は本章の2.[2](4)(3)NTP設定 と共通の内容となります。

NTPサーバーアドレス	: NTPサーバーアドレスを入力します。
NTPサーバー同期間隔	: NTPサーバーと何分おきに同期するかを設定します。
	([入力数]×10分,となります)

(3) 電源管理クラウド365連携

サーバー連携 : 有効 無効 (デフォルト 無効)

★実際に電源管理クラウド365を使用される時には、電源管理クラウド365の取扱説明書の手順に 沿って設定してください。

[4] 監視設定

本装置の監視に関する設定をします。

(1) Ping監視

[監視設定]をクリックします。

		Pir	ng 監視設)	ŧ		
	監視先アドレ	Z DG	送信	無答	対	象
1			10	10	1	~
2						
3			動	作	回数	間隔
4			無動	作 🖌	1	1
	監視先アドレ	Z DG	送信	無答	対	象
1			10	10	1	~
2						
3			動	作	回数	間隔
4			無動	作 🖌	1	1
	監視先アドレ	Z DG	送信	無答	対	象
1			10	10	1	~
	Ping 送	信間隔 (分)		1		
	死活監視リブ-	- トによる警	告(回)	1	2	
	回復不可]時の1時間。	ごとの繰り	返し回数制	川限 (回)	
	1 0	2 0	3	0	4 0	
	5 0	6 0	7	0	8 0	

〈1〉 Ping監視設定

No. : 一番左側の数字1~8はアウトレット番号を示します。 アウトレット番号の右の数字1~4は, 監視先番号を示します。

監視先アドレス: 監視するIPアドレスまたはドメイン名を設定します。

各アウトレットに最大4ヶ所設定できます。

- 例 IPアドレス: 192.168.0.1
- 例 ドメイン名 : www.meikyo.co.jp
- DG :チェックでデフォルトゲートウェイを監視先に指定します。(デフォルト チェック無し)
- 送信 :判断するための送信する回数を設定します。(デフォルト 10) 設定可能値 :1~100(回)
- 無答 :送信回数内で異常と判断する無応答回数を設定します(デフォルト 10)設定可能値 :1~100(回)

- 対象 : 異常な監視先アドレスが何箇所になったら動作を実行するか設定します。(デフォルト 1) プルダウンメニューで選択 : 1~4
- 動作 :動作を選択します。(デフォルト 無動作)

無動作 : Ping監視を行いません。

Logのみ :ログに記録します。電源は制御しません。

Reboot :ログに記録し,電源出力をOFF→ONします。

Ping監視での動作「ON」「OFF」の設定はブラウザーからは行えません。 変数「debOlWdogAction]を直接変更する必要があります。

回数 :再Reboot回数を設定します。(デフォルト 1)

間隔 : 再Reboot間隔(分)を設定します。(デフォルト 1) ※「再Reboot」について詳しくは次ページの【Ping監視の仕組みと動作】をご覧ください。

 Ping送信間隔(分) : ICMPエコー要求パケットの送信間隔を設定します。(デフォルト 1)

 設定可能値 : 1(分)~60(分)

Ping監視リブートによる警告(回): 全アウトレットの死活監視リブート回数が設定値を超えると, PILOT LEDを点滅させます。(デフォルト 12)

〈2〉 回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)

各アウトレット番号:デフォルト 0(無制限)

★「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」で「1回目」とカウントされるのは,Ping監 視で異常検知されて最初に行われるRebootとなります。 (「回数」(再Reboot回数)を複数回設定している場合は,この複数回のRebootで1回となります)

そのため,「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」を「1」と設定すると,異常検知時に最初に実行したReboot(再Reboot設定時は1セット)だけを実行し,その後は繰り返されないことになります。 詳細は,次ページの【Ping監視の仕組みと動作】をご覧ください。

設定が完了しましたら,[適用]をクリックします。

監視設定が有効なアウトレットはアウトレット番号の背景色が「緑色」に変わります。 また,Ping監視が正常な場合は監視番号の背景色が「緑色」に変わり,異常が発生している場合は 「赤色」,回復中は「黄色」に変わります。

注意	指定したアウトレットが電源OFF状態の時,Ping監視は行いません。(ICMP エコー要求パケットも送信しません)
	応答のない状態が続いた場合は,約1時間ごとに設定された動作を実行しま す。再度,条件が成立しても動作は1時間に1度しか実行しません。 (詳しくは次項をご覧ください。)
	温度監視やハートビート監視が有効設定されているアウトレットには,Ping監 視は実行されません。 メールサーバー監視とは同時に実行できます。

〈3〉 【Ping監視の仕組みと動作】

監視先アドレスに対して[Ping送信間隔]で設定した間隔でICMPエコー要求パケットを1個送出し、応答を待ちます。

設定した[送信]回数内で設定した[無答]回数,無応答であるとその監視先を「異常」と判断します。 「異常」と判断された監視先が[対象」数に達すると,そのアウトレットを異常と判定し,設定した[動作]を 実行します。

[動作]が[Reboot]の場合,「再Reboot間隔(分)」ごとに「再Reboot回数」だけリブートを繰り返します。



1時間ごとに無制限に繰り返します。制限を行う場合は 「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限」を設定してください。

- ★「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」が「1」のとき, Reboot●~❸だけを行い, その後は 繰り返しません。
- ★「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」が「2」のとき, Reboot ●~3, ④~6を行い, その後は繰り返しません。

(2) メールサーバー監視

[監視設定]-[メールサーバー]をクリックします。

	メールサーバー監視設定	
	メールサーバー	
1 接続エラー回	回数 0	動作 無動作 ✓
	メールサーバー	
2 接続エラー回	1数 0	動作 (無動作 ~)
	メールサーバー	
3 接続エラー回	2数 0	動作 無動作 ~
	メールサーバー	
4 接続エラー回	四数 0	動作 (無動作 ~)
	メールサーバー	
	メールサーバー状態表示	
エラ-	-回数	0
メールサーバー	確認間隔 (分)	3

〈1〉 メールサーバー監視設定

No. : アウトレット番号を示します。

接続エラー回数 :メール受信サーバーを異常と判断する回数を設定します。

動作 ・動作を選択します。(デフォルト 無動作) 動作はPing監視と共通の設定になります。 無動作 ・監視を行いません。 Logのみ ・ログに記録します。電源は制御しません。 Reboot ・ログに記録し,電源出力をOFF→ONします。

●[動作]の設定内容はPing監視と共通となります。

〈2〉 メールサーバー状態表示

エラー回数 :メールサーバー接続障害回数を表示します。 メールサーバー確認間隔(分):メールサーバーのチェック間隔 デフォルト 3 (「ネットワーク設定-メール設定」の「メールチェック間隔(分)」の設定が反映されます) 設定が完了しましたら、[適用]をクリックします。

エラー回数 : メール受信サーバー接続障害回数を表示します。 メールサーバー確認間隔(分) : メール受信サーバーのチェック間隔 デフォルト 3分 (「ネットワーク設定-メール設定」の「メール確認間隔 (分)」の設定が反映されます)

注意 メールサーバー監視を行う場合は「メールサーバー設定」で<u>受信サーバーを正し</u> <u>く設定</u>する必要があります。また「メール制御設定」で<u>メール制御コマンドを有効</u> にしておく必要があります。(「通知先設定」のメールアドレスは空白でも構いま せん。)

> メールサーバー監視とPing監視の両方を設定すると、いずれかが異常になった 時点で動作を実行します。

> 温度監視やハートビート監視を有効にしたアウトレットには、メールサーバー監 視は実行されません。

(3) ハートビート監視

[監視設定]-[ハートビート]をクリックします。 UDPのハートビートパケット受信を利用した監視方法です。

/۱-	- トビート設定
ハートビート	◉有劾 〇無効
監視IPアドレス制限 (空欄→全て受信)	
受信ポート	9100
送信ポート	9100
リブート後, 無監視時間(秒)	30
ハートビート監視間隔(秒)	8
TimeOut判定数	3
動作最大回数	3
電源供給アウトレット	なし 🗸
//-	トビート監視設定
1	<u>動作</u> (無動作 ✔
八—	・トビート監視設定
2	動作
/ ht	ビートパケット状態
状態	待機中
送信IPアドレス	
タイムアウト回義 (0 - 32767 loop	牧)) 1
	適用

〈1〉 ハートビート設定

ハートビート	:	有効 無効(デフォルト 無効)
監視IPアドレス制限	:	ハートビートパケットが送られてくるIPアドレスを制限します。 空欄の場合はすべてのパケットを受け付けます。
受信ポート	:	リブーター側パケット待ち受けポート(デフォルト:9100) 設定推奨値:9100~9199
送信ポート	:	PC側(HB側)の送信ポート(デフォルト:9100) 設定推奨値:9100~9199

リブート後,無監視時間(秒): TimeOut判定によって「リブート」動作実行になった時点から ハートビートパケットを待ち受ける間隔(秒) デフォルト:30 設定可能值:1~999(秒) ハートビート監視間隔(秒) : ハートビートパケットを受ける間隔 デフォルト:8 設定可能值:1~99(秒) : 「TimeOut」と判定する「未受信カウント(※)」数。 TimeOut判定数 デフォルト:3 設定可能値1~99(回) (※)未受信力ウント: 「ハートビート監視間隔」で設定した秒数内にハートビートパケ ットが受信できなかった時、「未受信カウント」が1つ上がります。 ハートビートパケットを受信すると、「未受信カウント」は「0」に戻 ります。 : 動作が「リブート」の場合の実行回数限度 動作最大回数 デフォルト:3 設定可能值:1~99(回) 電源供給アウトレット : ハートビートパケットを送出してくるPCなどが接続されてい るアウトレットを指定できます。スケジュールでの電源OFF

るアウトレットを指定できます。スケジュールでの電源OFF などとハートビート監視を併用する時に関係します。(デフォ ルト なし) [なし] [Outlet1~8]

★意図的な電源OFF時のハートビート監視一時停止★

PCなどハートビートパケット送出元の電源が接続されているアウトレットに,使用者が意図して「電源OFF」コマンドを投げ(またはスケジュール機能で「電源OFF」し),そのまま「電源OFF」を維持してほしい場合,「ハートビートパケットが送られてこなくても,それは正常である」と認識させる必要があります。

【もし設定しないと】意図的な「電源OFF」を行った後、そのアウトレットに接続されたPCからハート ビートパケットが送られてこないためTimeOut判定になり、そのアウトレットがリブートされ、意図的 にOFFを行ったPCの電源がONになります。

【設定方法】

ハートビート送出元のPCなどの電源がとられているアウトレットに関して、

1)「電源供給アウトレット」で、そのアウトレット番号を指定する。

2)そのアウトレットのハートビート監視「動作」を[ON] [Reboot] に設定する

この状態で,該当アウトレットが(ハートビート監視での動作以外で)「電源OFF」となった後は,監 視状態は「監視一時停止(Pause)」となり,ハートビート監視を一時停止します。(「未受信カウント」 もそこで停止になります)

そして,そのアウトレットが「電源ON」になった時にハートビート監視を再開します。

注意 「監視一時停止(Pause)」状態時にCPUリセットを行うと(「電源供給アウト レット」に指定されたアウトレットが電源OFFのままでも)ハートビート監視が 再開されます。

★「ハートビート監視間隔」「TimeOut判定数」「リブート判定後,無監視時間」の設定がどのように連関 しているかは下の図をご覧ください。



●ハートビートパケットが受信できない状態が続くようになった時



〈2〉 監視条件設定

アウトレットごとの動作を選択します。

	パケットを受信	TimeOut発生中
無動作	無変化	無変化
On	無変化	On に 変化
On追従	On→Offへ	Off→Onへ
Off	無変化	Offに変化
Off追従	Off→Onへ	On→Offへ
Reboot	無変化	Reboot
Logのみ	無変化(ログを残す)	無変化(ログを残す)

●次ページのハートビートパケット受信状況との連関図をご覧ください。

〈3〉 ハートビートパケット状態

状態 :待機中/パケットを受信/タイムアウト発生中/動作停止中送信IPアドレス :ハートビートが送られてきたIPアドレスを表示します。タイムアウト回数 :未受信カウントを表示します。

【ハートビートに必要なパケット形式】

UDPパケットのデータ"xxxxHB"+CRLFの9文字を受け、"xxxxACK"の8文字を返します。 (xxxxは任意)

注意 ハートビート監視を実行するアウトレットは、Ping監視・メールサーバー監視を実行す ることは出来ません。 温度監視を実行するアウトレットには、ハートビート監視を実行することはできません。 ハートビートを利用するには「ハートビート」を「有効]にチェックし[適用]をクリックしま す。その後、「CPUリセット」を行う必要があります。

		Receiveになっても同状態です。	Receive→アウトレットOFFIc	Receiveになっても同状態です。	Receive→アンウトレットONに	to
	+ hbTimeoutMax					★ hbActionMaxの設定回数だけ、リプートを繰り返し3 hbActionMaxの回数を越えると リプートは実行されません。
	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	Timeout→アンウトレットONに	Timeout→ℱウトレットONに	Timeout→アウトレットOFFに	Timeout→ℱウℎッからFFic	 ◆ hbRebootTime ◆ x① x② ×(1) ◆ 1 無監視時なので ◆ ここの×はカウントしません ◆ debolRebootTime
	L C L C L L × L L × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V × L V	(仮にアウトレットがのFF状態だったとします)	Receive→アグト/ットOFFIC	(仮にアウトレットがON状態だったとします)	Receive→アグト/ットONに	この間、ハートビート監視は停止します。-
バートビート パケット	リブーター側 受信状況	動作 「ON」	動作 「ON追従」	動作 「OFF」	動作 「OFF追従」	動作 「Reboot」

WEBブラウザーでの設定,制御 設定項目

(4) 温度監視

注意 TEMPには弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。 また,温度センサーを差し込んでいない時は「温度センサー」を「無効」にして おいてください。

「温度監視」を行うには別売の温度センサー(RP-TS004)が必要です。

また, [システム設定]-「基本設定」-[温度センサー設定]で「温度センサー」の項目を「有効」にしてください。

[監視設定]-[温度監視]をクリックします。温度監視設定画面が表示されます。

	監視条件設定
	設定状態
1	<u>動作</u> 無動作 ✔
_	
	設定状態
2	動作 (無動作 ~)
_	
	設定状態
3	<u>動作</u> (無動作 ~)

温度状態 (℃)				
状態	正常			
現在温度	23.5			
最大温度	2023/03/13 17:06 24.0			
最小温度	2023/03/13 17:05 23.5			

指定温度設定					
上限警報	45				
上限注意	35				
上限Hys	2				
下限警報	-5				
下限注意	0				
下限Hys	2				

〈1〉 監視条件設定

動作: 警報の時の動作を設定します。(デフォルト 無動作)[無動作][上限警報ON][上限警報OFF][下限警報OFF]

〈2〉 温度状態(℃)

状態	:現在の温度が、〈3〉で設定した温度範囲のうち、どの状態にあるか表示します。 正常/上限注意/上限警報/下限注意/下限警報
現在温度	: 現在の温度を表示します。
最大温度	: 温度計測開始後,最高温度を表示します。日時は始めに最高温度が計測 された日時となります。※
最小温度	: 温度計測開始後,最低温度を表示します。日時は始めに最低温度が計測 された日時となります。※

※ 時刻設定がされていない場合は通電時間が表示されます。

〈3〉 指定温度設定

上限警報	:	高温の警報温度を設定します。 デフォルト:45℃
上限注意	:	高温の注意温度を設定します。 デフォルト:35℃
上限Hys	:	高温のヒステリシス温度を設定します。 デフォルト: 2℃
下限警報	:	低温の警報温度を設定します。 デフォルト:-5℃
下限注意	:	低温の注意温度を設定します。 デフォルト: 0℃
下限Hys	:	低温のヒステリシス温度を設定します。 デフォルト: 2℃
【範囲表示について】		
「正常」範囲	:	下限注意から上限注意までの温度
「注意」範囲	:	上限注意から上限警報までの温度 下限警報から下限注意までの温度
「警報」範囲	:	上限警報以上の温度 下限警報以下の温度

注意 温度監視を有効にしたアウトレットでは、Ping監視、メールサーバー監視、ハート ビート監視は実行できません。 温度監視の仕組みと動作

状態は,指定した温度により,「正常」から「注意」,「注意」から「警報」に変化します。 しかし,「警報」から「注意」,「注意」から「正常」への状態変化には,指定した温度にヒステリシス温度 を加えた変化が必要です。これにより閾値近辺で状態が頻繁に変化することを防ぎます。 メールは,温度にチェックがあると,「正常」「注意」「警報」の状態に変化すると送信されます。

電源制御は、「警報」になった場合に実施されます。

[5] スケジュール設定

注意 本装置は時計を内蔵していますが,開梱時には時刻ずれが生じていることが予想されます。NTP設定(第4章2.[2](4)(3))を行ってからご使用ください。

スケジュールは、一日のパターンを分単位で作成し、そのパターンを指定の曜日、月日に割り当て ることにより作成します。パターンは最大20個まで作成でき、週中と週末のパターンの設定や、特 定日・休日用パターンの作成ができます。

はじめてスケジュール設定を行う場合、以下の手順で設定を行ってください。

①パターン作成 ー日のパターンを分単位で作成します。最大20個設定できます。

- ②休日テーブル編集 休日の追加等の修正を行います。休日はアウトレット共通となります。 デフォルトでは、日曜と、FWリリース時点の祝日が休日として設定されて います。
- ③スケジュール配置 アウトレットごとに,作成したパターンを設定します。
 曜日指定の他に,特定の日や,休日用のパターンを配置することができます。
- ④スケジュール動作
 アウトレットごとに、スケジュールの実行、停止を行います。
 スケジュール動作で実行することではじめて対象のアウトレットにスケジュールが実行されます。

デイジーチェーン接続時,アウトレット9~16に対してスケジュール設定を行 注意 うことはできません。

(1) スケジュール動作

(2)(3)で作成・配置したスケジュールの[実行][停止]を設定します。

	スケジュール動作					
1	停止	実行	停止			
2	停止	実行	停止			
3	停止	実行	停止			
4	停止	実行	停止			
5	停止	実行	停止			
6	停止	実行	停止			
7	停止	実行	停止			
8	停止	実行	停止			

(2) スケジュール配置

スケジュール配置では、アウトレットごとにパターンをカレンダーに割り当てて作成します。 スケジュールを設定するアウトレットの[設定]をクリックします。

	スケジュール配置					
1	Outlet1	登録数 0	設定			
2	Outlet2	登録数 0	設定			
3	Outlet3	登録数 0	設定			
4	Outlet4	登録数 0	設定			
5	Outlet5	登録数 0	設定			
6	Outlet6	登録数 0	設定			
7	Outlet7	登録数 0	設定			
8	Outlet8	登録数 0	設定			

〈1〉 スケジュールリスト(*)

*にはシステム設定で設定したアウトレット名称が入ります。

	スケジュールリスト (Outlet1)					
<< 前月	<<前月 翌月>> 2022 年 12 月 移動					
		2	022年 12	月		
B	月	火	水	木	金	±
				1 A	2 A	3 D
4 B	5 A	6 A	7 B	8 A	9 A	10 D
11 D	12 A	13 A	14 B	15 A	16 A	17 D
18 D	19 A	20 A	21 A	22 A	23 A	24 D
25 D	26 A	27 A	28 B	29 A	30 A	31 D
	12月21日	Aパターン	,	編集		

次項の〈2〉スケジュール編集で設定されたパターンが、カレンダー形式で表示されます。

表示されている日付をクリックすると,下段に日付,パターン,編集ボタンと,1日のパターンの概略図が 表示されます。編集ボタンクリックで,パターン編集画面に移動できます。

1

〈2〉 スケジュール編集

	スケジュール編集						
	登録済みスケジュールリスト						
1:毎年12月 2:毎第1週	月21日 A 日曜日 B						
日月	火	水	木	金	±	曜日指定	
D• A•	A 🗸	В 🗸	A 🗸	A 🗸	DV	追加	
毎月			∃⊟		- 🗸	追加	
毎第		1~週日	∃ ✔ 曜		- 🗸	追加	
毎年	1	A [1 日		- 🗸	追加	
休日指定	休	休日テーブルすべて			- 🗸	追加	
一度指定	2023 年 1 月 1 日			E	- 🖌	追加	
読込	指定アウトレットから取り込み			込み	1 🗸	読込	
削除	リス	トから指定	Ξ番号を削	除	- 🖌	削除	

登録済みスケジュールリストに,曜日指定以外の設定スケジュールが一覧で表示されます。曜日指定の みの場合は空欄となります。

曜日指定	:	曜日ごとにパターンを設定します。
毎月	:	日付指定でパターンを設定します。毎月繰り返します。
毎第	:	月の第何週の曜日のみパターンを設定します。毎月繰り返します。
毎年	:	月日指定でパターンを設定します。毎年繰り返します。
休日指定	:	休日に設定されている日にパターンを設定します。
一度指定	:	指定日のパターンを設定します。一度のみ実行し、繰り返しません。
読込	:	プルダウンメニューからアウトレットを指定して,他のアウトレットに指定されたメニ ューを読み込むことができます。
削除	:	登録済みスケジュールリストに表示されている,登録済みのスケジュールを削除 できます。スケジュール左側に表示されている番号をプルダウンメニューで指定し て削除してください。

設定を行いましたら,[適用保存]をクリックして変更内容の更新をしてください。

注意	スケジュールの優先度は,一度指定 > 休日指定 > 毎年 > 毎第n週x曜日 > 毎月 > 毎x曜日 となっています。
	スケジュール設定が設定されるとカレンダーの日付数字の隣にスケジュール パターンの英字が付きます。 またカレンダーの日付をクリックして指定するとその日のスケジュールパター ンが表示されます。
	週間スケジュール以外の特定日設定は20個までとなります。

(3) スケジュール作成

スケジュール作成	
1日のスケジュールを分単位で作成	パターン作成
休日カレンダーのテーブルを編集	休日テーブル編集
スケジュール関連のデータファイルを管理	データファイル管理

〈1〉 パターン作成

[パターン作成]をクリックすると、1日のスケジュールを分単位で作成することができます。



読み : 編集する	パターンを.A~J.a~	ーiから選択して「読込	をクリックします。
-----------	--------------	-------------	-----------

- パターン : [全OFF]クリックで,全日OFFにします。 [全ON] クリックで,全日ONにします。
- 配置範囲 : 開始時間と終了時間を指定して[ON][OFF]を選び, [配置]でパターン配置します。
- 保存先 : 作成したパターンの保存先を, A~J, a~jから選択し[適用保存]をクリックします。

〈2〉 休日テーブル編集

[休日テーブル編集]クリックで、カレンダーの休日を設定することができます。

	休日カレンダー編集					
<< 前)		翌月 >>) (2022 [£]	≡ 12)	月移動
		20	022年 12,	月		
B	月	火	水	木	金	±
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
休日	指定	12月 21		自加 〇背		設置
年間カレ	レンダー		2022年月	H.	-	切期化

休日カレンダー編集ではオリジナルの休日テーブルを作成します。初期値は一般のカレンダー通りです。 [前月][翌月]ボタンをクリック,または、年月を入力し、[移動]をクリックして、編集を行う年月に移動します。

休日指定 : 表示されている月の休日の追加,削除できます。

指定する日付を入力し,追加または削除を選択した上で[設置]をクリックします。

年間カレンダー: [初期化]をクリックすることで,表示されている年の1月~12月のカレンダーの休日設定を初期値に戻します。

設定が終了しましたら,[適用保存]をクリックしてください。

注意 「適用保存」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。 休日テーブルは、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効 になりません。

〈3〉 データファイル管理

データファイル管理では,設定されているスケジュールをテキスト形式で表示することができます。合わせて,テキスト形式で保存したファイルを読み込むことができます。

[スケジュール]-「スケジュール作成」-[データファイル管理]をクリックします。

	データファイルの保存、読込					
	ファイルを選択 選択されていません	読込				
全スケジュール	schdata.txt TEXT形式で表示	表示				
	ファイルを選択 選択されていません	読込				
全パターン	ptndata.txt TEXT形式で表示	表示				
	ファイルを選択 選択されていません	読込				
全カレンダー	caldata.txt TEXT形式で表示	表示				
ファイル保存は表示ボタンを押した後にブラウザの名前を						
付けて保存を行って保存してください。						
15	1ル有は回ルです。変更しないでくたさい					

〈4〉 データファイルの保存, 読込

- 全スケジュール : 全スケジュールファイルの表示, 読み込みができます。 ファイル名 schdata.txt
- 全パターン : 全パターンファイルの表示, 読み込みができます。 ファイル名 ptndata.txt
- 全カレンダー : 全カレンダーファイル(休日カレンダー情報含む)の表示, 読み込みができます。 ファイル名 caldata.txt

保存方法

[表示]をクリックすると,別のブラウザーが開き設定内容が表示されます。 ブラウザーの機能を利用して,「名前をつけて保存」します。(テキストファイル) ファイル名は変更しないでください。

読込方法

[ファイルを選択]をクリックしてファイルを選びます。保存したファイルを選択します。 ファイル名が表示されたら[読込]をクリックします。

注意 ファイルの読み込みを行ったを行っただけではスケジュールは動作しません。 「スケジュール動作」でアウトレットごとに「実行」する必要があります。P89の(1) スケジュール動作 をご参照ください。 (4) コマンドによるスケジュールデータファイル保存/読込

Telnet通信及びシリアル通信を介してコマンドによるスケジュールデータファイル保存, 読込が出来ます。

- アップロードの開始 SCHUPLOAD_n (短縮形:SCHUL)(※_はスペースを表します。)
 n : パラメータ
 1 : スケジュールデータ
 2 : パターンデータ
 3 : カレンダーデータ
 リザルトコード
 230 : コマンド受理,データ転送待ち状態
 231 : 正常終了
- アップロードを中断 SCHUPLOADCANCEL(短縮形:SCHULC) リザルトコード 232 : 正常終了
- ダウンロードの開始
 SCHDOWNLOAD_n (短縮形:SCHDL)(※」はスペースを表します。)
 n : パラメータ
 - 1 : スケジュールデータ
 - 2 : パターンデータ
 - 3 : カレンダーデータ

注意 Telnet通信及びシリアル通信の接続は 第5章 その他の設定 を参照して ください。

Telnet接続はデフォルトでは[無効]です。使用するためには[有効]にする必要があります。

[6] システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

	基本システム情報
機器名称	Noname
バージョン	4.00A.230306/RSC.230306
モデル名称	RSC-MT8FS
アウトレット数	8
アウトレット1名称	Outlet1
アウトレット2名称	Outlet2
アウトレット3名称	Outlet3
アウトレット4名称	Outlet4
アウトレット5名称	Outlet5
アウトレット6名称	Outlet6
アウトレット7名称	Outlet7
アウトレット8名称	Outlet8
接点出力1名称	NV Output1
接点入力1名称	NV Input1
仮想アウトレット1名称	
仮想アウトレット2名称	
仮想アウトレット3名称	
仮想アウトレット4名称	
仮想アウトレット5名称	
仮想アウトレット6名称	
仮想アウトレット7名称	
仮想アウトレット8名称	
MACアドレス	00:09:EE:00:14:1E
IPアドレス	192.168.1.160
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
機器内部時間	2023/03/14 09:17:41
NTPサーバーアドレス	
HTTP機能	有効
нттрポート	80
Telnetサーバー機能	無効
Telnetポート	23
LAN速度	100.0Mbps
RS-232C 通信速度	38400bps
RS-232C キャラクター長	8 bits
RS-232C ストップビット	1 bit(s)
RS-232C パリティ	None
DIP-SW	1:OFF 2:OFF 3:OFF 4:固定

[7] 簡易説明

本装置の簡易説明が確認できます。



(1) Menu

〈1〉 E-mail又はWEBコマンド制御の説明

・メールを利用して電源制御
 メール制御を行うための文章例を記載しています。

・WEBによるコマンドの送信方法 WEBコマンドの送信方法を記載しています。 また,権限の違いによる利用可能コマンドの違いを記載しています。

〈2〉 コマンドリスト一覧

・コンソール制御 Telnet等のコンソール接続時に利用可能な制御コマンドを記載しています。

(2) オープンソースソフトウェア ライセンス

クリックで,以下のライセンス条件を確認することができます。 ・OpenSSH (5.1p1) のライセンス条件 ・OpenSSL (0.9.8i) のライセンス条件

3. 状態表示項目

[1] 簡易状態表示

現在の本装置の電源情報,接点入出力情報,温度状態を表示します。 メインメニューの[簡易情報表示]をクリックします。

	簡易状態表示						
_	機器情報						
	機器名称	Nona	ame				
	設置場所	Now	here				
			アウトレ	ット状態	誤		
No.	名和	弥		1	設定	状態	電源
1	Outlet1						OFF
2	Outlet2						OFF
3	Outlet3						OFF
4	Outlet4						OFF
5	Outlet5						OFF
6	Outlet6						OFF
7	Outlet7						OFF
8	Outlet8						OFF
_							
			温度	(°C)			
	26.2		2017/ 2017/	10/18 10/18	11:42 13:49	26.9 MA) 24.5 MIN	
20	温度センサー1)17/10/18 14:29	:40	2017/ 2017/ 2017/ 2017/ 2017/	10/18 10/18 10/18 10/18 10/18	14:28 14:27 14:26 14:25	26.25 26.20 26.25 26.20	~
	接点情報						
	接点出力連動	設定			3	連動無し	
No.	接点出江	力名称			連動		接点
1	NV Output1						OFF
No.		接点	1入力名称	7			接点
1	NV Input1						OFF

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御すること は出来ません。

> 温度センサーを「有効」に設定すると温度状態が表示されます。(温度センサ ーを接続した状態で「有効」にしてください。)

状態

[2] 詳細状態表示

現在の本装置の監視状態を表示します。 メインメニューの[詳細状態表示」をクリックします。

	機器情報							
機器名称 Noname								
	アウトレット状態							
NO.	る称		監視状態	美门回数	电源仅限			
1	Outlet1			0	OFF			
2	Outlet2		正常	0	OFF			
3	Outlet3		正常	0	OFF			
4	Outlet4			0	OFF			
5	Outlet5			0	OFF			
6	Outlet6			0	OFF			
7	Outlet7			0	ON			
8	Outlet8			0	OFF			

No.	送信数	無応答	対象	動作		
1	10	10	1	無動作		
2	1	1	1	Reboot		
3	1	1	1	Reboot		
4	10	10	1	無動作		
5	10	10	1	無動作		
6	10	10	1	無動作		
7	10	10	1	無動作		
8	10	10	1	無動作		

監視状態

1					
2					
3					
4					
5	上限警報OFF	45	35	2	正常
6					
7					
8					

警報

注意

hys

動作設定

No.

	文	打象1	灾	掾2	文	打象3	文	寸象4
No.	状態	無応答	状態	無応答	状態	無応答	状態	無応答
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

	PING 応答時間						
	対象1	対象2	対象3	対象4			
No.	応答時間	応答時間	応答時間	応答時間			
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

温度監視設定 (℃)				
26.3	2017/10/18 11:42 2017/10/18 13:49	26.9 MAX 24.5 MIN	^	
温度センサー1 2017/10/18 14:37:50	2017/10/18 14:37 2017/10/18 14:36 2017/10/18 14:35 2017/10/18 14:35	26.25 26.25 26.35 26.25	~	

接点情報					
接点出力連動設定 連動無し					
力名称	連動	接点			
		OFF			
No. 接点入力名称					
1 NV Input1					
	加設定 力名称 接点入力名称	加設定 連動無 力名称 運動 接点入力名称			

	ハートビート状態表示						
No.	動作	実行回数	パケット				
1	無効	0					
2	無効	0					
3	無効	0					
4	無効	0	タイムアウト発生中				
5	無効	0	未受信力ウント 13				
6	無効	0	(32767起えた場合のに戻ります)				
7	リブート	3					
8	無効	0					

×-11	サーバー監視状態	
エラー回]数	0
ι	JPS連動情報	
UPS名称		
給電状態	未設定	
バッテリー状態	未設定	
商用入力異常回数	0	

〈1〉 機器情報

機器名称	:現在設定されている機器名称を表示します。
設置場所	:現在設定されている設置場所名称を表示します。

〈2〉 アウトレット状態

- :アウトレット番号を示します。 No.
- 名称 : 設定されたアウトレット名称を表示します。
- 監視状態 :「Ping監視」および「メールサーバー監視」の判定結果を表示します。
 - 正常 : 異常な監視先が対象数未満,かつメールサーバー正常。
 - 異常 : 異常な監視先が対象数以上,あるいはメールサーバー異常。
 - 回復中 : 動作後,異常な監視先が対象数未満だが,異常な監視先が残っている。メ ールサーバーは正常。

実行回数 :Ping監視とメール受信サーバー監視の実行された動作の回数を表示します。 電源 :電源の状態を表示します。

〈3〉 監視設定内容

No.	:アウトレット番号を示します。
送信数	:Ping監視のICMPエコー要求送信回数設定値を表示します。
無応答	:Ping監視の無応答回数設定値を表示します。
対象	:Ping監視の対象数設定値を表示します。
動作	:「Ping監視」と「メールサーバー監視」の動作を表示します。
	ハートビートまたは温度監視を設定したアウトレットについては,設定の内容にか
	かわらず「無動作」と表示されます。

〈4〉 監視状態

No.	:アウトレット番号を示します。
状態	:アウトレット毎に各監視先の応答状態を表示します。
無応答	:ICMPエコー要求送信に対する無応答回数を表示します。

〈5〉 Ping応答時間

No.	:アウトレット番号を示します。
応答時間	:監視先の応答時間を表示します。

〈6〉 温度監視設定(℃)

緑の枠内の温度:現在の温度を表示します。

- ログの枠内 :20件のログを表示します。それより過去のものは消去されます。 最初の2行に「最高温度」「最低温度」を表示します。 No. :アウトレット番号を示します。 動作設定 :温度監視の動作設定を表示します。
- 警報
 - : 設定されている警報温度を表示します。
- 注意 : 設定されている注意温度を表示します。
- :設定されているヒステリシス温度を表示します。 Hys
- 状態 : アウトレットごとに各監視先の状態を表示します。

〈7〉 接点情報

No.	:接点出力番号を示します。
接点出力連動設定	:接点出力連動の有無を表します。
接点出力名称	:設定されている各接点出力の名称を表示します。
連動	:連動している条件を表します。
	「リバース」を選択している時は「R」が表示されます。
接点	:現在の接点の状態を表します。
	更新ボタンをクリックすることで最新の表示になります。
No.	:接点入力番号を示します。
接点入力名称	:設定されている各接点入力の名称を表します。
接点	:現在の接点の状態を表します。
	更新ボタンをクリックすることで最新の表示になります。

〈8〉 ハートビート状態表示

No.	:	アウトレット番号を示します。
動作	:	設定されている動作状態を表示します。
実行回数	:	動作の実行回数を表示します。
パケット状態	:	パケット状態を表示します。

〈9〉 メール受信サーバー監視状態

エラー回数	: メールサーバーを異常と判断した回数と,エラー内容が表示されます。
	メールサーバー回復後もエラーメッセージは表示されたままとなります。
	表示を消去したい場合は,[ネットワーク設定]-[詳細設定]-「送信テスト」の
	エラーメッセージクリアを行ってください。

〈10〉 UPS連動情報

UPS連動時(本体前面DIPスイッチ1 ON)のみ表示されます。

UPS名称	:	現在設定されている名称を表示します。
給電状態	:	未設定/正常/バックアップ
バッテリー状態	:	未設定/正常/低電圧
商用入力異常回数	:	商用電源からの入力の異常回数を表示します。

[3] イベントログ

現在までのイベントログを表示します。

F		11	ベントログ		
			ログリスト		
	116 2017/10/18 09:44:43	WEBログアウト	192. 168. 1. 129		
	117 2017/10/18 10:25:47	WEBアクセス WEBログイン	192.168.1.129	admin	
	119 2017/10/18 10:43:41	WEBログアウト	192. 168. 1. 129	a dan m	
	120 2017/10/18 10:54:25	WEBアクセス	192.168.1.129		
	122 2017/10/18 10:54:30	WEBログイン	192. 168. 1. 129	admin	
	123 2017/10/18 11:00:49	設定変更	hbEnab led	admin	
	125 2017/10/18 11:00:49	設定変更 設定書込(WBITE)	NDT PHOOP	admin	
	126 2017/10/18 11:00:57	コールドスタート			
	127 2017/10/18 11:00:57	電源操作(ON) ミニクログラクニト	仮想アウトレット A	LL admin	
	129 2017/10/18 11:01:05	データロジスタード WEBアクセス	192. 168. 1. 129		
1.1	130 2017/10/18 11:01:10	WEBログイン	192.168.1.129	admin	
	131 2017/10/18 11:01:46 132 2017/10/18 11:01:46	設定変更 恐定素は(WPITE)	hbEnab led	admin admin	
Ŀ	133 2017/10/18 11:01:53	設定書広(mile) コールドスタート		admini	
11	134 2017/10/18 11:01:53	電源操作(ON)	仮想アウトレット A	LL admin	
	135 2017/10/18 11:01:53	テータロクスタート WERアクセス	192 168 1 129		
1.1	137 2017/10/18 11:02:23	WEBログイン	192. 168. 1. 129	admin	
11	138 2017/10/18 11:12:27	WEBログアウト	192. 168. 1. 129		
	139 2017/10/18 11:30:02	WEBアクセス	192.168.1.129	admin	
	141 2017/10/18 11:30:26	設定変更	hbEnab led	admin	
Ľ	142 2017/10/18 11:30:26	設定変更	hbl pAddr	admin	
	143 2017/10/18 11:30:26	設定変更 恐定変更	hbAction bbAction	admin admin	
1.1	145 2017/10/18 11:30:26	設定要込(WRITE)	nono tron	admin	
	146 2017/10/18 11:30:32	コールドスタート	/F #8 -> +		
	147 2017/10/18 11:30:32 148 2017/10/18 11:30:32	電源課1年(UN) デークログラクート	1反想 アワトレット 8	LL admin	
	149 2017/10/18 11:30:40	WEBアクセス	192.168.1.129		
	150 2017/10/18 11:30:44	WEBログイン Webログイン	192. 168. 1. 129 코슈 토토 ··· 토 2	admin	
1.	152 2017/10/18 11:31:56	h~hE [*] ~ト監視(REBOOT)	アウトレット2		
	153 2017/10/18 11:32:25	N-トビート監視(ON)	アウトレット3		
	154 2017/10/18 11:32:53	N~トビ~ト監視(REBOOT) N~kヒシ~k 賍児(REBOOT)	アウトレット2		
Ŀ	156 2017/10/18 11:33:25	N~忙~~h監視(ON)	アウトレット3		
	157 2017/10/10 11-24-04	IC LESS LINE ON COEDOOTS	TALLOLD		
		表示領域		ŧ	機器時刻
	110		- \	20	17/10/18
	110 -	213 (総致 213))	1	4:39:20
	前ページ	次ページ	先頭ペ	-37	最終ページ
C					
1		(

前ページ	:	前ページを表示します。
次ページ	:	次ページを表示します。
先頭ページ	:	先頭ページを表示します。
最終ページ	:	最終ページを表示します。
Text表示	:	WEB画面上でテキスト表示します。
		それをコピーしたり保存したりできます。
全ログクリア	:	ログを消去します。

注意 1ページは100項目単位で表示します。最大10ページ,1000項目のログを 表示可能です。

> 本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発 報されます。そのため、「コールドスタート」に続いて「全仮想アウトレットON」の ログが記録されます。

4. 電源制御

本装置に接続されたデバイスの電源制御をします。

[1] 電源制御

(1) 電源制御

	_	電源制	御 / アウト	レット	_	
					自動更新	所間隔 (30利
	電源制御		仮想制御		一斉	制御
	接点制御					
			機器情報	_		
	機器名称	Nonan	ne			
	設置場所	Nowhe	ere			
- 11		ית	ウトレット	青報		
No.	名称	i		制御		電源状態
1	Outlet1		ON	OFF	Reboot	ON
2	Outlet2		ON	OFF	Reboot	ON
3	Outlet3		ON	OFF	Reboot	ON
	Outlet4		ON	OFF	Reboot	ON
4	ouncer			1	1 I	
4	Outlet5		ON	OFF	Reboot	ON
4 5 6	Outlet5 Outlet6			OFF	Reboot Reboot	ON ON
4 5 6 7	Outlet5 Outlet6 Outlet7			OFF OFF OFF	Reboot Reboot Reboot	ON ON ON
4 5 6 7 8	Outlet5 Outlet6 Outlet7 Outlet8		ON ON ON ON	OFF OFF OFF	Reboot Reboot Reboot Reboot	ON ON ON

注意!

SSHでのシャットダウンスクリプトを設定している場合, 対象のOFFボタンをクリックして,OFFを実行した後は, 処理が完了し,自動更新により電源状態が反映されるまで WEB画面の操作を何も行わないようにしてください。

〈1〉 機器情報

機器名称	:	現在設定されている機器名称を表示します。
設置場所	:	現在設定されている設置場所名称を表示します。

〈2〉 アウトレット情報

No.	:アウトレット番号を示します。
名称	:設定されたアウトレット名称を表示します。
制御(アウトレットNo.1~8)	:個別アウトレットの制御を行います。

制御(All Outlets)	: 全アウトレットの制御を行います。			
	ON	:	電源出力を開始します。	
	OFF	:	電源出力を停止します。	
	Reboot	:	電源出力をOFF→ONします。	
電源状態	:現在の電源状態を表示します。			
	画面更新されない	いと最新	の状態が表示されません。	

●デフォルトの設定では,

上記の[ON], [OFF], [Reboot]ボタンをクリック後,

「[アウトレット名称]にPower ON(OFF)しますか」「[アウトレット名称]にRebootを行いますか」という「確認」のポップアップが表示され、そこで[OK]を押下した後、電源制御コマンドが実行されます。

[システム設定]-「基本設定」-「アウトレット設定」において 「電源制御時の動作確認」を[なし]に設定し, [適用]をクリックすると, [ON], [OFF], [Reboot]ボタンをクリック後すぐにコマンドが実行されます。

画面右上の更新マークをクリックすると最新の電源状態を取得します。

注意 SSHでのシャットダウンスクリプトを設定している場合,対象のOFFボタ ンをクリックして,OFFを実行した後は,処理が完了し,自動更新により電 源状態が反映されるまでWEB画面の操作を何も行わないようにしてくだ さい。 電源制御画面は[ネットワーク設定]-「基本設定」→「HTML表示設定」→ 「自動ページ更新時間(秒)」に基づき,常時自動で更新されます。

画面表示と実際の電源状態が異なる場合があります。電源状態は画面右上の更新アイコンをクリックして最新の状態を確認してください。

全アウトレットONの時,デフォルトでは個別アウトレットは1秒の間隔でONします。リブートのOFF時間はデフォルトで10秒です。

遅延時間,OFF時間及びOFF禁止などの設定は変数の変更により可能です。

(2) 接点制御

	_	電源	原制御 / 接点	出力	-	
	電源制御		仮想制御		一斉制	刂御
接点制御						
			機器情報			
	機器名称	Nonar	ne			
設置場所Nowh			ere			
			接点情報			
	接点出ナ]連動設定			連動無し	
No.	接点出力名称		連動	制	御	接点
1	NV Output1			ON	OFF	OFF
No.	接点入力名称					接点
1	NV Input1					OFF

〈1〉 機器情報

機器名称 : 現在設定されている機器名称を表示します。 設置場所 : 現在設定されている設置場所名称を表示します。

〈2〉 接点情報

接点出力連動設定	:	接点出力連動の有無,種類を表示します。
No.	:	接点出力番号を示します。
接点出力名称	:	接点出力の名称を表示します。
連動	:	連動している条件を表示します。
		(「リバース」を選択している時は「R」が表示されます)
接点	:	現在の接点の状態を表示します。
		(更新ボタンをクリックすることで最新の表示になります)
制御	:	ノーマルの場合は[ON][OFF]ボタン,パルスの場合は[パル
		ス]ボタンが表示されます。
接点入力名称	:	接点入力の名称を表示します。
接点	:	現在の接点の状態を表示します。
		(更新ボタンをクリックすることで最新の表示になります)

●デフォルトの設定では,

上記の[ON], [OFF]または[パルス]ボタンをクリック後, 「[接点出力名称]に接点ON(OFF)を行いますか」という「確認」のポップアップが表示され, そこで[OK]をクリックした後,接点制御コマンドが実行されます。

[システム設定]-「基本設定」-「アウトレット設定」において 「電源制御時の動作確認」を[なし]に設定し, [適用]をクリックすると, [ON], [OFF]ボタンをクリック後すぐにコマンドが実行されます。

画面右上の更新マークをクリックすると最新の状態を取得します。

(3) 仮想制御

仮想アウトレットとは実際には存在しないアウトレットです。MACアドレスを指定してマジックパケットを 送出し, Wake on LAN 対応機器の電源をONにする機能です。仮想アウトレットを使用して対象機器 の電源をOFFにすることはできません。

注意 本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発 報されます。そのため、「コールドスタート」に続いて「全仮想アウトレットON」の ログが記録されます。

÷	_	電源制御 / 仮想制	御	¢
	電源制御	仮想制御	一斉制御	
		機器情報		
	機器名称	Noname		
	設置場所	Nowhere		
		伝想文白トレットの	N(=1.)	
		1仮想アワトレット(1	WOL)	_
No.	仮想アウトレット名称		WoL 送信	
1			ON	
2			ON	
3			ON	
4			ON	
5			ON	
6			ON	
7			ON	
8			ON	
	全仮想アウトレ	wト	ON	

〈1〉 機器情報

: 現在設定されている機器名称を表示します。 機器名称 設置場所

: 現在設定されている設置場所名称を表示します。

〈2〉 仮想アウトレット(WoL)

No.	:	仮想アウトレット番号を示します。
仮想アウトレット名称	:	現在設定されている仮想アウトレット名称を表示します。
WoL送信	:	指定の仮想アウトレットにマジックパケットを送出します。
全仮想アウトレット	:	全仮想アウトレットにマジックパケットを送出します。

●デフォルトの設定では、上記の[ON]ボタンをクリック後、

「[仮想アウトレット名称]にWoL送信を行いますか」という「確認」のポップアップが表示され,
そこで[OK]をクリックした後,WoL送信間隔を待ってパケットが送出されます。
[システム設定]-「基本設定」-「アウトレット設定」において
「電源制御時の動作確認」を[なし]に設定し,[適用]をクリックすると,
[ON]ボタンをクリック後,確認のポップアップは出ずに,WoL送信間隔を待ってパケットが送出され
ます。

(4) 一斉制御

ー斉電源制御とは,複数の本装置を子機として最大8グループに分け,親機から各グループ単位で一斉 制御コマンドを送り,電源を制御することができる機能です。制御には,ブロードキャストパケットを利用 しています。(操作した電源制御の結果,負荷機器が動作したことを視認[直に,もしくは監視カメラなど 越しに]できる状態でこの機能をご使用ください。)

1グループにつき,10台まででご使用ください。

[電源制御]-[一斉制御]をクリックします。

÷	電源制御 / 一斉制御	Ċ
電源制御	仮想制御 一斉制御	
	一斉制御コマンド	
グループ指定	Group 1 🗸	
制御	PowerON 🗸	
	送信	

〈1〉 一斉制御コマンド

本装置を一斉制御の親機として制御を行う場合は、こちらのメニューを使用します。

グループ指定	:	制御するグル Group 1~(デフォルト	ープを選択します Group 8 Group 1	f .
制御	:	実行する動作 PowerON デフォルト	を選択します。 PowerOFF PowerON	Reboot
送信	:	クリックで一译 クリック後,一	条制御コマンドを 度カウント画面に	送信します。 ご遷移した後,結果表示されます。
【返答情報】				
「 waiting re	esp	oonse [I	Pアドレス] c	command executed」
	彭	核当IPアドレスの	のリブーターにて	,コマンドを受信した。
*	子	機を複数台接続	売している場合は	,コマンド実行された台数分の

[IPアドレス]--- command executed」が表示されます。 表示されない子機がある場合は,対象リブーターの通信状況を確認してください。

[--- waiting response ---]

コマンドを受信しなかった。3秒内で返答パケットが届かなかった。 (対象リブーターの通信状況を確認してください)

☆本装置を子機として設定したい場合は,第7章3. 子機として使用する場合 に詳細がございますので ご覧ください。
5. CPUリセット

一部の機能については、機能を有効にするために設定変更後にCPUリセットが必要となります。

メインメニューの[CPUリセット]をクリックします。

÷	CPUリセット	Ċ
	ネットワーク設定に加えられた変更は CPUリセット後に適用されます。	
	CPU リセット	

画面中央の[CPUリセット]をクリックすると,確認のポップアップが表示されますので,OKをクリックします。待機画面が表示されます。

カウントが0になりましたら、CPUリセット完了です。

注意 CPUリセットを必要とする内容の場合,各設定後に[適用]をクリックすると 「CPUリセットを実行して,設定に変更を適用する必要があります。」という 黄色い表示が現れます。

「CPUリセット」をクリックすると設定した内容が有効になり,通信が切断されますが,アウトレットの状態は現状のまま保持されます。

第5章 その他の設定

1. Telnetによる設定

[1] Telnetでの接続方法

1)PCの「スタート」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きま す。「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、本装置にアクセスします。

192.168.10.1の場合

IPアドレス: 192.168.10.1Telnetポート番号: 23

「telnet_192.168.10.1_23」 ※_はスペースを表します。

2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。 「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 RSC-MT8FS (Noname) server ready

3)任意のキーを入力します。ユーザーIDとパスワードが要求されます。

4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで 実行します。「OK」の応答があります。

注意 ブラウザー接続時のパスワードとTelnet接続時のパスワードは別になりま す。Telnet接続時とシリアル接続時のパスワードは共通になります。コマンド (ID, PASS)で変更して利用することをおすすめします。 デフォルトのままですとセキュリティホールになる危険があります。

> 「排他制御方式」選択時は、電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合、 当該方法で新たにログインすることはできません。ただし、Supervisor権限で はログインすることが可能です。「ガードタイム方式」選択時は、Telnet通信でも 多重ログインが可能になります。(Telnetサーバーとしては最大接続数2)

[2] Telnetコマンドによる設定

1)PCの「スタート」を右クリックして、「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開き ます。「初期設定」で設定したIPアドレスを指定し、Telnetで本装置にログインします。

2)設定します。コマンドや変数などを入力し<Enter>キーで実行します。 (IPアドレスなど一部の設定はCPUリセット後に反映されます。)

▌ Telnet通信の設定関係コマンド

コマンド	内容
LIST	全ての変数の値を表示します。
WRITE	変数の設定をFROMに書き込みます。
&SAVE	設定された変数の待避・復元ができるデータを出力します。
LOAD_BEGIN	設定データの読み込みを始めます。
LOAD_END	設定データの読み込みを終了します。
?変数名	変数の値を表示します。
.変数名=値	変数を設定し,設定された変数を表示します。
CPURESET	CPUをリセットします。(電源状態は変化しません。)

※変数については 第14章 ■ 変数一覧表 をご覧ください。

■「&SAVE」コマンドについて

環境(変数全体)を一括して待避・復元するためのコマンドです。

「&SAVE」を実行すると、最初に「LOAD_BEGIN」、それに続いて一連の変数設定コマンド、最後 に「LOAD_END」をテキストデータとして出力します。このテキストデータを設定データとして保存 し、のちに送信しますと、保存した設定になります。Telnet用のパスワードなど、いくつかの変数は 保存されませんのでご注意ください。(※下記参照)設定データをテキストエディタで変更して利用 することもできます。なお、「&SAVE」には、エコーバックがありません。変数設定コマンドでは、エ ラーがあっても無くても表示しません。長いコマンドは分割されます。(最後にハイフンがあると、次 に継続することを意味します。)ファイルからのコマンドを実行するときは、「promptMode」を0ま たは1とします。

※保存されないもの

・Telnet用のパスワード ・(Read Only)の変数 ・スケジュールデータ[schOl(n)Schxxx] →スケジュールの保存方法は第4章2.[5](3)〈3〉データファイル管理をご覧ください。 ※シャットダウンスクリプトの内容は保存されます。

プロンプトやコマンドについて

Telnetからアクセスしたときは、コマンド入力のプロンプトが表示されます。プロンプト表示の有無 または表示形式は、コマンドで指定します。制御ユーティリティでは、常に「>」のプロンプトが表 示されます。また、「?」だけのコマンドにより、ヘルプとしてコマンドの一覧を表示します。どのコマン ドでも最初に「&」をつけることによりエコーバックが無くなります。設定の取得、書き込みのときは、 「promptMode」を0または1とします。

変数名	:	promptMode
値	:	0(プロンプト表示無し)
	:	1(「 > 」のプロンプト表示)
	:	2(「 機器名 > 」のプロンプト表示)

■ SSH通信からの設定について Telnetと同じようにSSH通信からも設定を行うことができます。

ただし「ping [IPアドレス]」「telnet」などのコマンドは仕様上使用できません。

2.ターミナルソフトによる設定

1)本体前面のCOM.1ポートと設定用PCのCOMポートをパソコン用クロスケーブル(D-sub 9ピンメス)で接続します。

2)ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。

通信速度	:	38400bps
データビット	:	8ビット
ストップビット	:	1ビット
パリティ	:	なし

3)任意のキーを入力します。ユーザーIDとパスワードが要求されます。

4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで 実行します。「OK」の応答があります。

5)設定します。

コマンドや変数などを入力し<Enter>キーで実行します。

6)設定内容を有効化します。 「write」コマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

注意 設定変更後は、必ず「write」コマンドを実行してください。コマンドがないと設定 が反映されません。また項目によりCPUリセット後に設定が反映されます。 設定は「CPURESET」コマンドまたは本体RESETボタン押下後に反映されま す。

> 「排他制御方式」選択時は、電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合、 当該方法で新たにログインすることはできません。ただし、Supervisor権限で はログインすることが可能です。「ガードタイム方式」選択時は、シリアル通信で も多重ログインが可能になります。(シリアル通信で最大接続数2)

7) 設定終了後,ターミナルソフトを閉じます。

シリアル通信のコマンドはTelnetと共通です。ただしPASSコマンドはご利用いただけません。

第6章 その他の制御

1. Telnet接続による制御

本装置はTelnetサーバープログラムへ接続して,遠隔から電源制御および状態取得ができます。 セキュリティ制御の設定がされている場合はその制限内での操作となります。(SSH通信でも同じ ことが行えます。)

[1] Telnet接続による制御

1)PCの「スタート」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」(またはWindowsキー+Rキー)を 選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、 Telnetで本装置にログインします。

192.168.10.1の場合

IPアドレス : 192.168.10.1 Telnetポート番号 : 23

[telnet_192.168.10.1_23] ※」はスペースを表します。

2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。 「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 RSC-MT8FS (Noname) server ready

- 3)任意のキーを入力します。ユーザーIDとパスワードが要求されます。
- 4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し, <Enter>キーで 実行します。「OK」の応答があります。
- 5)制御コマンドを入力して, < Enter >キーで実行します。 ☆制御コマンドについては,第12章 ■ 制御コマンド一覧表 をご覧ください。

「排他制御方式」の場合、電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合、 注意 当該方法にて新たにログインすることはできません。ただし、Supervisor権 限ではログインすることが可能です。

「ガードタイム方式」選択時は、Telnet通信でも多重ログインが可能になりま す。(Telnetサーバーとしては最大接続数2) ☆詳しくは第4章2.[2](7)セキュリティ をご覧ください。

応答コマンド

正常受付

: Command OK

不正なコマンド

- : Unrecognized command 前コマンドの処理中のためコマンド : Last command is pending. Command failed. 実行せず

2.シリアルからの制御

シリアルポートからコマンド入力で電源制御ができます。

- 1)本体前面のCOMポートと設定用PCのCOMポートをパソコン用クロスケーブル(D-sub 9ピン メス)専用ケーブルで接続します。
- 2)ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。

通信速度 : 38400bps データビット : 8ビット ストップビット : 1ビット パリティ : なし

- 3)任意のキーを入力します。ユーザーIDとパスワードが要求されます。
- 4)ユーザーID(デフォルト:admin),パスワード(デフォルト:magic)を入力し, <Enter>キーで実 行します。「OK」の応答があります。 Supervisor権限の場合は, ID:super ,PASS:illusion となります。
- 5)制御コマンドを入力し<Enter>キーで実行します。コマンドは「1.Telnet接続による制御」と共通です。

☆制御コマンドについては第14章 制御コマンド一覧表 をご覧ください。

注意 [排他制御方式]の場合,電源制御可能な他のユーザーがログイン中は,当該 方法にて新たにログインすることはできません。ただし,Supervisor権限で はログインすることが可能です。 「ガードタイム方式」選択時は,多重ログインが可能になります。

☆詳しくは第4章2.[2](7)セキュリティ をご覧ください。

3.モデムからの制御

モデム経由で電源制御ができます。

- 1)本装置COMポートを接続するモデムに合わせて設定します。
- 2)本体前面のCOMポートとモデムをストレートケーブルで接続します。
- 3)遠隔地のモデムから接続します。
- 4)接続されるとユーザーIDとパスワードが要求されます。
- 5)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。コマンド入力 状態になります。
- 6)制御コマンドを入力し、<Enter>キーで実行します。コマンドは「1.Telnet接続による制御」と 共通です。

☆制御コマンドについては第14章 ■ 制御コマンド一覧表 をご覧ください。

注意 モデム制御ではストレートケーブルモデムが必要です。 電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合,当該方法にて新たに ログインすることはできません。ただし,Supervisor権限ではログインす ることが可能です。

4.メールからの制御

メールを利用して電源制御ができます。

メールからのコマンドを利用するには、通信設定ならびにメール設定を正しく行う必要があります。

注意	●「ネットワーク設定-メール設定-通知先設定」の <mark>[通知先アドレス]に設定した</mark> メールアドレスからのみメール制御できます。
	●HTMLメールではメール制御できません。必ずテキスト形式メールをご使 用ください。

1)本装置に、テキスト形式メールを送信します。 件名(タイトル)は特に必要ありません。
本文1行目に「メール制御ユーザー名」を入力します。
本文2行目に「メール制御パスワード」を入力します。
本文3行目以降にコマンドを入力します。
コマンドを入力し改行を入れます。
コマンドの「LIST」と「&SAVE」は使えません。
(使えるコマンドは 第14章■ 制御コマンド一覧表をご覧ください)
本文最終行に「QUIT」コマンドを入力します。
「Q」または「E」の1文字だけでもログアウトできます。

2)数分後、本装置から結果を知らせるメールが届きます。

注意 メール制御ユーザー名とパスワードについては 第4章 2.[3](4)〈2〉メール制御設定 をご確認ください。

> ★[ガードタイム方式]設定時のみメールでの「電源制御」可能です。 [ガードタイム方式]を設定せずに「電源制御」を実行しようとすると, 「511 Command failed. Select the appropriate mode.」という エラーメッセージが表示されます。

[排他制御方式]選択時,電源制御可能な他のユーザーがWEBブラウザー, Telnet接続などで,ログイン中の場合,メール制御はできません。WEBブラウ ザー,Telnet接続などから必ずログアウトしてから,メール制御を実行して ください。

5.WEBコマンドからの制御

WEBからダイレクトコマンドで電源制御ができます。

WEBコマンドでの制御方法

WEBコマンドは主に電源制御のためのコマンドであり,設定の変更は出来ません。 cmd.htm の後に下記のフォーマットで記入します。

[「HTTP認証」が「None」の場合]

?userid=[ユーザーID] &password=[パスワード] &command= [利用コマンド] 例:)ユーザーID:admin / パスワード:magic / コマンド:por3

http://192.168.10.1/cmd.htm?userid=admin&password=magic&command=por3

(変数名は省略可能です。「userid」→「i」,「password」→「p」,「command」→「c」)

 \rightarrow http://192.168.10.1/cmd.htm?i=admin&p=magic&c=por3

●1回実行するごとに、HTTPのセッションが切れ、ログアウト状態に戻ります。

[「HTTP認証」が「Basic」「Digest」の場合] 「ユーザーID」「パスワード」不要になります

?command= 「利用コマンド]

例:)コマンド:por3

http://192.168.10.1/cmd.htm? command=por3

(変数名は省略可能です。「userid」→「i」,「password」→「p」,「command」→「c」)

→ http://192.168.10.1/cmd.htm?c=por3

●実行時、ポップアップでID, PASSが求められます。実行後もHTTPのセッションを保持します。 ログアウトする場合, http://[IPアドレス]/logout を実行してください。

ダイレクトWEBコマンドでの利用可能コマンド

利用可能ユー	ーザーLv	[ident cont	rol supervis	sor admin]
VER	POS	XPOS	OLS	OLSn
TEMP	TOS	TOSn	TSP	
SSO	SSOn	SSI	SSIn	
SONn	SOFn	MSON	MSOF	
利用可能ユ-	ーザーLv	[control ad	lmin]	
PONn	PO	Fn	PORn	
MPON	MP	OF	MPOR	PSRn
MPONV	PO	NVn		

WEBからダイレクトコマンドで電源制御すると結果がテキスト形式で表示されます。

注意 第4章 2.[2](1)〈2〉アウトレット設定,[3](1)〈3〉ダイレクトWEBコマンド設定 の各項目を設定してご利用ください。 ★[ガードタイム方式]かつ「電源制御時の動作確認:なし」の時のみ,電源制御可 能です。

6.MPMPでの制御

明京電機オリジナルプロトコルMPMPパケット(UDP)を使用して,電源や接点の制御,CPUリセットを遠隔で実行できます。

[1] リブーター側の設定

MPMPでの電源制御を行えるようにするためには以下の設定が必要です。

- (1)「電源制御方式」を[ガードタイム方式]に設定する。
- (2) MPMPでの制御に使用する「ID」「PASSWORD」を設定する。
- (3) 結果通知を有効にするため、「状態通知機能」で[MPMP]を選択し、通知を受信する端末のIPアドレスを登録しておく。

(1) ガードタイム方式の設定

[システム設定]-[セキュリティ]-「共通設定」で設定します。

システム設定 / セキュリティ		
基本設定	詳細設定	セキュリティ
		フィルター
	共通設定	
電源制御方式	排他制御方式 🖌 🖌	変更

「電源制御方式」を「ガードタイム方式」に切り替え、「変更」ボタンをクリックします。 (デフォルトは[排他制御方式])

ポップアップで表示される注意文の内容に同意の上,[OK]をクリックしてください。 その後,各種ガードタイムを設定できます。

(2) MPMP制御用ID, パスワード

[システム設定]-[セキュリティ]-「MPMPコマンド制御」で設定します。

```
ユーザーID :半角英数記号5字以内
```

- パスワード :半角英数記号7字以内
 - ★8セット,登録できます。

(3) 結果通知先IPアドレス登録

[ネットワーク設定]-[詳細設定]-「状態通知機能」で設定します。

状態通知機能	:[MPMP]を選択(デフォルト 無効)
アドレス	:通知を受信する端末のアドレスを設定してください。
	(2)でID,パスワードを登録した「No.」に入力してください。
ポート	:5000(デフォルト)

[2] MPMPパケット送信

UDP/IPの設定を以下として、MPMPパケットを送信します。

ローカルポート	:	前頁[1](3)で設定したポート番号(デフォルト:5000)
送信先ポート	:	15580 (ポート番号は固定)
送信先IPアドレス	:	本装置のIPアドレス

コマンドで実行できるのは以下です。

·電源制御

·接点出力制御

・CPUリセット

・仮想アウトレット(WoL)

注意 実際の運用方法をお考えの場合、弊社営業部にお問い合わせください。

★[ガードタイム方式]でなければ制御可能になりません。



1. 一斉電源制御とは

[1] 概要

ー斉電源制御とは、複数の本装置を子機として最大8グループに分け、親機から各グループ単位で一斉 制御コマンドを送り、電源を制御することができる機能です。制御には、ブロードキャストパケットを利用し ています。(操作した電源制御の結果、負荷機器が動作したことを視認[直に、もしくは監視カメラなど越し に]できる状態でこの機能をご使用ください。)

1グループにつき,10台まででご使用ください。

親機,子機の組み合わせについては,弊社リブーターで一斉制御機能があるものであれば,機種問わず組み合わせることができます。

子機[一斉電源制御受付状態の機器]の時,「ガードタイム」方式設定時はWEB画面でログインすることができますが,「排他制御」設定時はWEB画面にアクセスすることができなくなります。その場合は Telnet通信にてsupervisor権限でログインして設定を行います。

☆「ガードタイム」「排他制御」については第4章2.[2](7)(1)共通設定をご覧ください。

一斉制御のコマンドを実行すると、親機から以下の2種の応答があります。

- 親機側の応答 : 親機から子機へ一斉制御コマンドを送信した
- 子機側の応答 : 一斉制御コマンドを受信した

応答通知は親機の制御方法(WEB, Telnet, シリアル)により異なります。 次に続く,各制御方法の応答内容をご確認ください。 2. 親機として使用する場合

[1] 設定

(1) MACアドレスの確認

本装置のMACアドレスを確認し、メモ等に控えます。 MACアドレスは、製品底面に貼付されたシリアルラベルの記載内容を確認するか、「機器設定」の 「システム情報」から確認することができます。

グループの設定とMACアドレスの入力は子機側で行います。

☆次に続く3. 子機として使用する場合をご参照ください。(子機側の機種, バージョンによって画面構成, 項目名が異なります。該当機種の詳細取説をご確認ください。)

[2] WEBでの制御

(1) 一斉制御コマンド

[電源制御]-[一斉制御]をクリックします。

電源制御	仮想制御 一斉制御
	制御コマンド
グループ指定	Group 1 🗸
制御	PowerON V
	送信

本装置を一斉制御の親機として制御を行う場合は、こちらのメニューを使用します。

グループ指定	:	制御するグループを選択します。
		Group 1~Group 8
		デフォルト Group 1

制御	:	実行する動作		
		PowerON	PowerOFF	Reboot
		デフォルト	PowerON	

送信 : クリックで一斉制御コマンドを送信します。 クリック後、一度カウント画面に遷移した後、結果表示されます。

(2) 返答情報

応答結果は返答情報として画面表示されます。

F	_	電源制御 / 一斉制御	
	電源制御	仮想制御	一斉制御
		一斉制御コマンド	
	グループ指定	Group 1 🗸	
	制御	PowerON V	
		送信	
		返答情報	
	waiting response 192.168	e 192.168.1.100 1.110 command ex	command executed
	192.108.	.1.110 command ex	lecuted

--- waiting response --- [IPアドレス]--- command executed ※子機を複数台接続している場合は、コマンド実行された台数分の [IPアドレス]--- command executed が表示されます。 表示されない子機がある場合は、対象リブーターの通信状況を確認してください。

・コマンド受信失敗,またはコマンド受信成功したが,電源制御は実行せず

索源制御	仮相制御	一吝判御
		H III III
	一斉制御コマンド	
グループ指定	Group 1 🗸	
制御	PowerON V	
	·····	
	达信	
	返答情報	

--- waiting response ---

※親機からのコマンドは届いているが,ガードタイム中や遅延時間中などでコマンド実行を行わなか った場合や,子機から3秒内で返答パケットが届かなかった場合もこの表示となります。 実行に時間を置くか,通信状況の確認を行ってください。

[3] Telnetでの制御

(1) コマンド実行

Telnetで一斉制御を行う際,使用するコマンドは以下のものです。(x=1~8, xはグループ番号を示します)

- BPONx : 該当グループ全アウトレットの電源出力開始
- BPOFx : 該当グループ全アウトレットの電源出力停止
- BPORx : 該当グループ全アウトレットのリブート(電源リブート)

(2) 返答情報

親機として一斉制御コマンド(BPONx, BPOFx, BPORx)をTelnetで実行の後は, 親機のコマンド実 行結果応答に加えて, 子機の応答結果が表示されます。 以下は、グループ1に2台設定した場合の例となります。

・コマンド受信成功

Noname> BPON1 220 Comman	d OK.
waiting response	
Noname> 192.168.1.100	command executed
Noname> 192.168.1.110	command executed

--- waiting response ---

[IPアドレス]--- command executed

※子機を複数台接続している場合は,コマンド受信した台数分の

[IPアドレス]--- command executed が表示されます。

表示されない子機がある場合は、対象リブーターの通信状況を確認してください。

・コマンド受信成功したが、電源制御は実行せず

Noname> BPON1 220 Comman	nd OK.	
waiting response		
Noname> 192.168.1.100	*** command failed	
Noname> 192.168.1.110	*** command failed	

--- waiting response ---

[IPアドレス]*** command failed

ガードタイム中や遅延時間中にコマンドを実行した場合に表示されます。

ガードタイムや遅延時間によって電源制御コマンドが受け付けられなかったことを表します。

・コマンド受信失敗

Noname> BPON3 220 Command OK.

--- waiting response ---

未設定のグループへコマンド実行した場合や,通信状態が悪い場合に表示されます。

・コマンドが誤っている

--- waiting response ---

[IPアドレス]*** invalid command

3.子機として使用する場合

[1] 設定

(1) 受付状態設定方法

〈1〉 メンテナンスモードのWEB画面にて設定を行う方法

1)本体起動後,本体前面のDIPスイッチ3のみON(下)にし,RESETボタンを押します。これで「メンテ ナンスモード」になります。

「メンテナンスモード」はIPアドレスが192.168.10.1固定です。

アクセスする機器のIPアドレスを192.168.10.2などに設定する必要があります。

2)メンテナンスモード機器設定画面の下部(赤の枠)で以下の項目を設定します。

メンテナンスモード 機器設定		
モデル名	RSC-MT8FS	
バージョン	4.00A.230306	
MAC アドレス	00:09:EE:00:14:1E	
IP アドレス	192.168.10.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ		
DNS サーバーアドレス		
DHCP 機能	○有効 ◎無効	
HTTP 機能	● 有効 ○ 無効	
HTTP ポート	80	
Telnet 機能	○有効 ◉無効	
Telnet ポート	23	
通信速度	自動接続	
IP フィルター	○有効 ◉無効	
デイジーチェーン機能	○有効 ◎無効	
子機グループ	Disabled 🗸	
親機MACアドレス	00:00:00:00:00	
	適用	
_		

子機グループ : Disabled Group1~8 デフォルト Disabled

親機MACアドレス:一斉電源制御コマンドが送られてくる親機のMACアドレスを指定します。

3)「[適用]」を押し,DIPスイッチをすべてOFF(上)にして,RESETボタンを押すと一斉電源制 御受付状態になります。

注意	デフォルト設定の「排他制御方式」時には,一斉電源制御受付状態になるとWEB 画面にアクセスすることができません。本装置と通信するためにはTelnet通信 においてSupervisor権限でログインする必要があります。ただし, <u>Telnet機</u> <u>能はデフォルトでは「無効」</u> となっています。(画像の緑の枠) (ガードタイム方式であれば,受付状態であってもWEB画面にアクセス可能で
	す) <u>「排他制御方式」設定で</u> 一斉電源制御受付状態にする場合は,「Telnet機能」を 「有効」に設定にしておいてください。

- 〈2〉「ガートタイム方式」選択時、(運用モード)WEB画面にて設定する方法
- 1) [ネットワーク設定]-[詳細設定]をクリックします。
- 2) 一斉電源制御受付(子機機能)設定メニューで,以下の項目を設定します。

_	一斉電源制御受付(子機機能)設定		
子機グループ		Disabled ~	
親機MACアドレス		00:00:00:00:00:00	
		適用	
子機グループ	:	Disabled Grou デフォルト Disabl	pl~8 ed
親機MACアドレス	: •	一斉電源制御コマン	ドが送られてくる親榜

3)[適用]をクリックし,CPUリセットを行います。

〈3〉 Telnet通信にて設定を行う方法

1)Telnet通信でログインしてください。

2)ログイン後、「.broadGroup=1」と入力し、エコーが返ってきたなら、「write」コマンドで書き込みます。

3)「cpureset」と入力しEnterキーを押してください。

(2) 受付状態解除方法

- 〈1〉「排他制御」選択時,WEB画面にて解除を行う方法
- 1)本体起動後,本体前面のDIPスイッチ3のみON(下)にし,RESETボタンを押します。これで「メンテ ナンスモード」になります。

「メンテナンスモード」はIPアドレスが192.168.10.1固定です。

アクセスする機器のIPアドレスを192.168.10.2などに設定する必要があります。

2)メンテナンスモード機器設定画面の下部(赤の枠)で子機グループをDisabledにします。

メンテナンスモード 機器設定		
モデル名	RSC-MT8FS	
バージョン	4.00A.230306	
MAC アドレス	00:09:EE:00:14:1E	
IP アドレス	192.168.10.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ		
DNS サーバーアドレス		
DHCP 機能	○有効 ◎無効	
HTTP 機能	●有効 ○無効	
HTTP ポート	80	
Telnet 機能	○有効 ◎無効	
Telnet ポート	23	
通信速度	自動接続	
IP フィルター	○有効 ●無効	
デイジーチェーン機能	○有効 ◎無効	
子機グループ	Disabled V	
親機MACアドレス	00:00:00:00:00	
	適用	
_		

※親機MACアドレスは入力されたままでも構いません

3) [適用]を押し, DIPスイッチをすべてOFF(上)にして, RESETボタンを押します。

〈2〉「ガートタイム方式」選択時、WEB画面にて解除する方法

- 1) [ネットワーク設定]-[詳細設定]をクリックします。
- 2)一斉電源制御受付(子機機能)設定メニューで,子機グループをDisabledに切り替えます。

一斉電源制御受付(子機機能)設定		
子機グループ	Disabled ~	
親機MACアドレス	00:00:00:00:00	
	_	
	適用	
※親機MACアドレスは		

3)[適用]をクリックし,CPUリセットを行います。

〈3〉 Telnet通信にて解除する方法 [「排他制御方式」選択時など]

1)Telnet通信において、Supervisor権限でログインしてください。

- 2)ログイン後、「.broadGroup=0」と入力し、エコーが返ってきたなら、「write」コマンドによって受付 状態無効を書き込みます。
- 3)その後、「cpureset」と入力しEnterキーを押してください。

受付状態が無効になったため、WEB画面にアクセスすることが可能になっています。

[2] 待受状態時の制御・設定

「排他制御」設定の場合、一斉制御待受状態時、WEB画面にアクセスできず、電源制御や設定変更な どが行えなくなります。(「ガードタイム方式」設定であればWEBアクセス可能です。) Telnet通信ではsupervisor権限でしかログインができません。(変数による設定変更は可能ですが、 電源制御は行えません。)(「ガードタイム方式」であれば、admin権限でもログインできます。)

注意 子機側の各アウトレットに設定されたリブート時間, ON遅延時間, またガードタ イム時間の設定によって, 一斉制御のコマンドが届くタイミングによっては実行さ れないことがあります。



1. ロギング機能の設定・表示

デバイスの監視やその他のイベントログを1000件記録します。1000件を超えた場合は古いログから消去し、新しいログを記録します。記録されたログは、コマンドで表示・確認できます。

1)Telnetによる設定と表示

記録モード・表示モードの設定及び記録されたログの表示は、それぞれのコマンドを入力し <Enter>キーで実行します。ログインして制御する方法で操作します。

- ① 記録モードの変数名とコマンド
 - 変数名 : logMode コマンド : .logMode
- ② 表示モードの変数名とコマンド
 変数名 : logDisp
 コマンド : .logDisp
- ③ 接続中の表示のみを変更するコマンド
 (通信が終了すると「logDisp」の値に戻ります。)
 コマンド : LOGDISP

[1] ログ制御変数のビット構成

値は最下位を0ビットとし、31ビットの構成になっています。

0:無,1:有 ビット ビット 14 : 不使用 30 : 不使用 13 : 29 : 不使用 Telnetログイン・ログアウト 28 : 接点出力状態変化 12 : Telnet接続·切断 27 : 接点入力状態変化 11 : WEBログイン・ログアウト 26 : 不使用 10 : WEB接続 9 : メールログイン・ログアウト 25 : スクリプト実行/失敗 : 不使用 24 8 : メール不正アクセス : SSHサーバー接続/切断 7 : ユーティリティログイン・ログアウト 23 22 : 不使用 6 : ユーティリティ接続・切断 21 : NTPアクセス 5 : [UPS]電源障害等 20 : シリアルログイン・ログアウト 4 : 電源制御コマンド 3 : 19 : 不使用 不使用 18 : 温度状態変化 2 : Ping監視によるイベント 1 : Ping無応答 17 : 変数設定, write 16 : サーバー関連イベント 0 : Ping送信 15 : 不使用

Telnet通信による設定例

・接続中に「変数設定」だけ表示とする場合

[2] ログ表示コマンド

コマンド	内容
LOG	ログの表示(連番号順)
LOG n	ログの表示(最新n個)
	e=t ログ開始からの経過秒=現在時刻
LOGTIME	e0 = t0 NTP接続までの経過秒=最初の取得時刻
	NTP無効の場合はeのみ表示
LOGCLEAR	ログのクリア
LOGCLEAR T	ログのクリア及び記録時間のリセット

ログの表示数は20項目です。

<Enter>キーで続きの20項目を表示します。

[3] ログの表示形式

nnn ttt a b xxxxxxx c

nnn		:	連番号
ttt		:	NTP無効時:記録開始からの時間(秒)
yy.mm.dd	hh:mm:ss	:	NTP有効時:年月日時分秒
a		:	アウトレット番号
b		:	Ping送信先番号(1~4番)
xxxxxxxx		:	イベント
с		:	IPアドレス

		_				
0	Ping送信	0	1	1	1	
-	Ping無応答	0	-		1	
2	Ping監視によるイベント	1			1	
m	不使用	0	-		1	
4	電源制御コマンド	1	1	1	1	
S	電源障害等	1	1	-	1	
9	(UTY接続/切断)	1	1	-	1	
~	(UTYログイン/アウト)	1	1	1	1	
œ	メール不正アクセス	1	1	1	1	
δ	メールログイン/アウト	1	1	-	1	
9	WEB接続	1	-		1	
Ξ	WEBログイン/アウト	1	-		1	
12	Telnet接続/切断	1	1		1	
13	Telnetログイン/アウト	1	1	7	1	
4	不使用	1	1		1	
15	不使用	1	-	-	1	
16	サーバー関連イベント	1	-		1	
17	変数設定,write	1	-	-	1	
18	温度状態変化	1	-		1	
19	不使用	0	0		0	
20	シリアルログイン/アウト	1	-		1	
21	NTPアクセス	1	-		1	
22	不使用	0	0		0	
23	SSHサーバー接続/切断	1	1		1	
24	不使用	0	0	-	0	
25	スクリプト実行/失敗	1	1	-	1	
26	不使用	0	0		0	圓
27	接点入力状態変化	1	-		1	N11
28	接点出力状態変化	1	-		1	j.
29	不使用	1	-		1	ЫĊ
80	不使用	0	0	0	0	禐
		-logMode	.logDisp	LOGDISP	mailLogMode	
RSC-MT8FS		ログ記録可否	ログ表示可否	一時的ログ表示可否	メールでのログ表示可否	

[4] 記録ログ一覧表

監視設定に基づくイベント(記録・表示のモード設定があります。)				
Ping	Ping送信			
No Echo	Ping無応答			
監視設定(Action)に基づくイベ	ジント			
No Action	処理なし			
Outlet Reboot	電源リブート			
Outlet On	電源ON			
Outlet Off	電源OFF			
スケジュールの場合は,「by Schedule」と表示されます。				
電源制御によるイベント				
MPON	全アウトレットの電源出力開始			
MPOF	全アウトレットの電源出力停止			
MPOR	全アウトレットのリブート(電源リブート)			
PON	指定されたアウトレットの電源出力開始			
POF	指定されたアウトレットの電源出力停止			
POR	指定されたアウトレットのリブート(電源リブート)			
アクセスによるイベント(接続先IDが表示されます。)				
> WEB	WEB接続			
==> WEB	WEBログイン			
<== WEB	WEBログアウト(切断)			
< WEB	ログインしないで切断			
MAIL, Telnetの接続・ログインなどもこれに準じます				
NTPServerAccessError	NTPサーバー接続エラー。3回続けて失敗した場合。			
NTP hh:mm:ss	NTPサーバー接続			
SSHServerConnected	SSHサーバー接続			
modeに関係のない表示				
Mail Error	メール送信エラー			

第9章 シャットダウン スクリプト

1. スクリプト仕様について

本装置はシャットダウンスクリプトを搭載しています。この機能により、接続された機器を正常に電源 出力停止できます。

[1] スクリプトの基本動作

- アウトレットがOFF命令を受け、シャットダウン遅延中に動作します。OFF命令はコマンド、温度監視、スケジュール、Ping監視、ハートビート、UPS連動より出されます。(リブートによるOFF時は実行されません。)
- ② 指定のIPアドレス,ポートにTelnet接続またはSSH接続を行います。
- ③ 接続後,設定したスクリプトを実行します。スクリプトの終了コードにより電源OFF条件を定めることができます。
- ④ スクリプト実行後、シャットダウンPing実行先を指定しているなら、指定秒数間隔でPing監視を行い、 無応答が指定回数[シャットダウンPing回数]に達した、またはICMPエコー要求を指定回数[シャッ トダウンPing最大送信数]発信した時、Ping応答確認を終了します。([6]参照)
- ⑤ アウトレットOFF処理を開始します。(OFF遅延時間経過後, OFFにします)
- ■SSH接続は同時には1個だけ可能です。複数ある場合は、他のSSH接続が終わってから接続することになります。SSHサーバーが接続している場合は、強制的に切断します。



[2] 設定

(第4章2.[2](6)シャットダウンスクリプト設定 をご参照ください。ブラウザーから設定できます。) 本機をTelnet接続,シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を設定してください。(ア ウトレットごとに以下の設定をします。)

:	debOlShutdownAddr		
:	debOlShutdownPort		
	0を指定すると,Telnetなら23,SSHなら22と見なしま		
	す。		
:	debOlShutdownScript		
:	debOlShutdownEnabled		
:	debOlShutdownName		
:	debOlShutdownPassword		
:	debOlShutdownPingAddr		
	Pingでシャットダウン終了を確認します。		
	IPアドレスまたはドメイン名を設定します。		
:	debOlShutdownPingInterval		
:	debOlShutdownPingCount		
:	debOlShutdownPingMax		
	debOlShutdownOffMax		

[3] ログ

 スクリプトの成功または失敗をログと変数に残します。
 変数はdebOlShutdownExitとdebOlShutdownMsg この変数の値は保存されます。

[4] エラーコード

~251	:ユーザーが定義可能なエラーコード
	スクリプト関数を利用して、独自のエラーコードを定めることができます。

- 252 : シャットダウン中にWarm Startが発生し、シャットダウンスクリプト実行が失敗した (該当アウトレットは電源ONを維持します)
- 253 :Telnet/SSHが切断された
- 254 :Telnet/SSHが接続できなかった
- 255 :タイムアウトエラー スクリプト実行中にtimeoutコマンドで設定した時間が経過してしまった

[5] テキスト仕様

① 条件

- ・ テキストサイズは、2Kbyteまでです。
- ・ テキスト行数は250行までです。
- ・テキストの第1行は、TelnetまたはSSHとします。
- ・ 行の先頭やパラメータの区切りに任意個のタブや空白を入れてもかまいません。

- ・スクリプト関数は大文字でも小文字でも可能です。
- ・ 2バイト文字にも対応しています。

② スクリプト関数詳細 二重引用符"で囲みます。 文字列 : CRコードは¥r,LFコードは¥nで表します。 また、1個の¥は¥¥で、1個の"は¥"で表します。 制御コード等は¥xnnでnnは2桁の16進数で表しま す。 (長さは最大63バイト) 単位秒。スクリプトタイムアウト timeout 時間 : 最大1023 (秒) (スクリプト例は600秒) 時間が来たら強制的にスクリプトを終了します。 (終了コードは255) 単位100ミリ秒,一時停止,最大1023 delay 時間 : goto ラベル : 指定ラベルに飛びます。 ラベル ラベルは1~99 : 行の残りにはコメントしか書くことはできません。 スクリプト終了 終了コードは0~255。省略は0 exit 終了コード : 変数debOlShutdownExitに設定されます。 文字列を送信する。 send 文字列 : データを受信バッファに受信する。 recv : データを受信バッファに受信します。(時間の単位は recv 時間 goto ラベル 秒) 時間内に受信できなければラベルに飛びます。 recv 時間 exit 終了コード : if 文字列 goto ラベル 受信バッファに文字列があればラベルに飛びます。 : if 文字列 exit 終了コード : 受信バッファに文字列があれば終了します。 unless 文字列 goto ラベル : 受信バッファに文字列が無ければラベルに飛びます。 unless 文字列 exit 終了コード : : / コメント 各文の終わりにも/を置いてコメントを書くことができま す。 : メッセージ変数debOlShutdownMsgに文字列を入 set 文字列 れます。 : サーバー名(ID)をCRコードつきで送信します。 sendname sendpassword : パスワードをCRコードつきで送信します。 ③ スクリプト例(Windows用) Telnet //強制タイムアウト時間 600秒 timeout 600 //ユーザーログイン,パスワード確認 1: recv 10 exit 91

unless "login:" goto 1

sendname

2:

recv 10 exit 92

```
unless "password:" goto 2
sendpassword
3:
recv
unless ">" goto 3
```

//シャットダウンコマンド送信 send "shutdown /s¥r" 4: recv unless ">" goto 4 send "exit¥r" exit

注意 デフォルトでは「timeout 600」になっていますが、環境に合わせて数値を 変更してください。 シャットダウンされる側のパソコンは、TelnetまたはSSHサーバー機能が有

効になっている必要があります。

弊社のホームページで公開している「MRCシャットダウンSv」をご利用いただく ことも可能です。<u>https://www.meikyo.co.jp/archive/#mrcsv</u>

④ スクリプト入力

SCRIPTコマンドで始めます。 SCRIPT 番号 番号は1~8 ENDSCRIPTコマンドで終わります。 変数script1~script8に格納します。コメントや余分のタブ・空白は格納しません。 エラーがある場合は、エラーを表示し、格納しません。

[6] Ping確認について

スクリプト実行が終了したなら,終了コードが何であってもPing確認を実行します。 Ping確認では,Ping実行先が指定されていれば,指定間隔でPingを送信します。 Ping回数だけ連続して無応答なら,Ping確認を終了します。 Ping最大送信数だけ送信したなら,Ping確認を終了します。 Ping実行先が指定されていなければ,すぐにPing確認を終了します。 Ping確認を終了したなら,debOlShutdownTimeの遅延後にアウトレットの電源をオフします。

●シャットダウンPing監視先が設定されている場合の流れ

次のような設定をしている場合

シャットダウンPingアドレス	192.168.1.90
シャットダウンPing間隔	5
シャットダウンPing回数	3
シャットダウンPing最大送信数	8

(シャットダウンしたいPCのIPアドレスが192.168.1.90だとします)

◆PCが安全にシャットダウンでき、Ping監視が無応答になった場合





「シャットダウンPING最大送信数」に達した

^{第10章} 無停電電源装置 (UPS)との連携

1. 概要

RS-232の規格を利用し、UPSと連動して各アウトレットを安全に終了させます。各アウトレットを安全にシャットダウンさせた後、UPSをシャットダウンさせる事も可能です。停電解除後には各アウトレットへの電源 供給を再開させます。

[1] UPS側からの信号に対する基本動作

UPS側からの信号		当機の判断・動作			
CS信号 CD信号		判断	動作		
無し	無し	正常の状態。	通常動作(復電後の場合は,復電前の状態に 復旧)		
有り	無し	異常が発生しUPSがバッテリー駆 動になったと判断。警戒が必要。	「UPSシャットダウン開始時間」の間,異常が 解消されなければ、各アウトレットのシャットダ ウン処理へ。		
有り	有り	UPSがバッテリー駆動になった事 に加え,電池残量も低下したと判 断。緊急事態。	「UPSシャットダウン開始時間」の経過を待つ ことなく、即座に各アウトレットのシャットダウン 処理へ。		
無し	有り	何らかの異常が発生していると推察。上記同様に判断。	「UPSシャットダウン開始時間」の経過を待つ ことなく、即座に各アウトレットのシャットダウン 処理へ。		

[2] UPS連動の基本動作フロー


2.本機と無停電電源装置(UPS)の接続

本機とUPSを以下の手順で接続します。 ※UPSご利用の際は、シリアル通信は使用できません。

1)UPSと本機とを専用通信ケーブルで接続します。 Windows標準のUPSサービスを利用します。専用通信ケーブルについては、各UPSメーカーに ご相談ください。

2)本体前面DIPスイッチ1をON(下)にします。

3)本機の電源コードをUPSのACアウトレットに接続します。

4)UPSの電源出力を開始します。

3. 機器設定

(第4章2.[2](5)(7)UPS連動設定をご参照ください。ブラウザーから設定できます。)

本機をTelnet接続するか,シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を設定してください。「その他の制御」を参照してください。

(1)	UPS名称		
	変数	:	upsIdentName
	デフォルト	:	
			全角31文字,半角英数字63文字以内 (ブラウザーの「UPS連動設定」から設定を行う場合は, 全角,半角ともに19文字となります。)
2	UPSモニタ時間間	鬲(秒)	
	変数	:	upsMonitorInterval
	デフォルト	:	10
			(0~60,0は1と見なす。)
6	I IDC シレットが中い	目もん	- 14% 中土 目目 / 千小 \

③ UPSシャットダウン開始待機時間(秒)

変数	:	debMasterUpsAlarmWaitTime
デフォルト	:	120
		(-1~300, -1の場合はシャットダウン無効)

UPSから電源障害信号を受け取った後,設定された時間が経過すると,本機はシャットダウン処理を開始します。設定された時間内に電源障害回復を検知した場合には,通常状態に戻ります。

④ UPSシャットダウン有効化

変数	:	debMasterEnableUpsShut
デフォルト	:	2
		(1:有効 2:無効)

⑤ 給電状態

変数	:	upsOutputSource
デフォルト	:	1
		0,1:未設定 3:正常 5:バックアップ

⑥ バッテリー状態		
変数	:	upsBatteryStatus
デフォルト	:	1
		0,1:未設定 2:正常 3:低電圧

⑦ UPS論理

変数	:	upsSignalLevel
デフォルト	:	15

制御フラグ(4bit)						
4 3 2 1						
0:負 1:正						

 0.頁 1.止

 ①停電検知レベル
 デフォルト:正

 ②ローバッテリー検知レベル
 デフォルト:正

 ③未使用(1:固定)
 ④シャットダウン信号レベル
 デフォルト:正

以下は設定例です。

例1)	①停電検知レベル ②ローバッテリー検知レベル ③未使用(1:固定) ④シャットダウン信号レベル	「正」 「正」 「正」	:	設定値:15 デフォルト
例2)	①停電検知レベル ②ローバッテリー検知レベル ③未使用(1:固定)	「正」 「負」	:	設定値:13

④シャットダウン信号レベル 「正」

第11章 SNMPについて

1. SNMPについて

本装置はSNMPエージェント機能を装備しています。SNMPマネージャーを利用して,ネットワークシステムの電源管理を統合的に行うことができます。 ※SNMPでは電源制御は行えません。

2. 機器設定

本装置をTelnet接続にて下記の項目を設定してください。「その他の制御」を参照してください。

1	SNMPのSET, GET有効化 変数 デフォルト	:	snmpGetSetEnabled 0 (0:無効 1:有効)
2	SNMP TRAPの有効化 変数 デフォルト	:	snmpTrapEnabled 0 (0:無効 1:有効)
3	SNMP不正アクセス時の TRAP通知 変数 デフォルト	:	snmpAuthenTrapEnabled 2 (1:有効 2:無効)
4	TRAP送信回数 変数 デフォルト	:	snmpTrapSendN 1 (1~9)
5	TRAP送信間隔(秒) 変数 デフォルト	:	snmpTrapSendInterval 1 (1~9)
6	TRAP送信先アドレス 変数 デフォルト	:	snmpTrapAddr 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0,0 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0,0.0.0,0

(8箇所)

⑦ SNMP用フィルターの有効化
 変数
 デフォルト

snmpFilterEnabled
0
(0:無効 1:有効)

⑧ フィルター有効時許可するアドレス
 変数 :
 デフォルト :

③ フィルター有効時のMask
 変数
 デフォルト

snmpFilterMask
 255.255.255.255.255.255.255.255,
 255.255.255.255.255.255.255.255,
 255.255.255.255.255.255.255.255,
 255.255.255.255.255.255.255.255,
 255.255.255.255.255.255.255.255,

getCommunity

:

 ③ SNMP GETコミュニティ名 変数 デフォルト

- Public
 全角31文字,半角英数字63文字以内
 (ブラウザーの「基本SNMP設定」から設定を
 行う場合は,全角,半角ともに20文字となります。)
- SNMP SETコミュニティ名 変数 デフォルト

setCommunity
 Public
 全角31文字,半角英数字63文字以内
 (ブラウザーの「基本SNMP設定」から設定を
 行う場合は,全角,半角ともに20文字となります。)

 ② SNMP TRAPコミュニティ名 変数 : trapCommunity
 デフォルト : Public 全角31文字,半角英数字63文字以内 (ブラウザーの「基本SNMP設定」から設定を 行う場合は,全角,半角ともに20文字となりま

す。)

149

3. MIBについて

本機を管理するためのプライベートMIBを準備しています。

弊社ホームページ <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/#mib</u> よりMEIKYO.MIBをダウンロ ードし,ご利用ください。

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより,本機の管理をNMS上で行うことができます。

注意 MIBのロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用されるNMSの マニュアルを参照してください。

第12章 ネットワーク 稼動監視

. 機器設定

本装置からUDPのパケットを送出し,電源状態を通知することができます。「RPC EYE V4」(オプ ション 有償ソフトウェア)を利用すれば,各機器からのパケットを受信し一元管理することができま す。

下記の変数を設定してください。(①~④はWEB通信詳細画面により設定できます)

1	状態通知機能		
	変数	:	syslogEnabled
	デフォルト	:	0
	(0:無効 1:s →RPC EY WEB上で	syslo E V4 れにR	g 2:MPMP 3:RPC EYE用のパケット送信) を使用される場合は「3」 PC EYE」を選択
RF	PC EYE V4を使用するパソコンの	アドレ	スを設定します。
(2)	送信先アドレス	•	
	変数	:	ipAdCenter
	デフォルト	:	-
			(IPアドレスもしくはネームアドレス 8箇所)
RF	PC EYE V4を使用するパソコンのス	ポート	番号を設定します。
3	ポート番号		
	変数	:	centerPort
	デフォルト	:	5000
情 ④	報を通知する間隔を設定します。 定期通知の送信間隔(秒)		
	変数	:	centerSendTimer
	テフォルト	:	300
電源変 ⑤	ど化時は,定期通知間隔を待たず直は 電源変化時の通知回数	らに通	知します。その時の通知回数を設定します。
	変数	:	centerChangeSendCount
	デフォルト	:	3
電 6	源変化時の通知の2回目以降の通知 電源変化時の通知間隔(秒)	間隔	を設定します。
	変数	:	centerChangeSendTimer
	デフォルト	:	10(×100ミリ秒)

2. RPC EYE V4の利用

RPC EYE V4は、RPCシリーズからの送信情報を利用して、各拠点のネットワークの稼動状態をリアルタイムで監視するネットワーク稼動監視ソフトです。

以下の特長があります。

・死活監視 温度状態 電源状態の表示と監視

- ・アイコンによるビジュアルな状態表示
- ・リアルタイムに見られる詳細な情報ビューア
- ・温度状態のグラフによる表示
- ・受信情報のデータ保存(CSV形式)
- ・状態変化時にE-mail又は音による通知機能
- ・個別の機器への接続機能(HTML or Telnet)
- ・1本のソフトでPC 3台まで利用できます。
- ・(PRO版のみ)グループ単位での設定書込
- ・(PRO版のみ)グループ電源制御

詳細,購入方法等は下記のアドレスで確認ください。 https://www.meikyo.co.jp/product/?ca=4

設定前の確認

●設定用PCと本装置をLANで確実に接続してください。

●RPC EYE V4をPCにインストールしてください。
 RPC EYE V4はWindows対応ソフトです。
 RPC EYE V4の設定,利用方法は,RPC EYE V4説明書(PDFファイル)をご覧下さい。

注意 デイジーチェーン接続時, RPC EYE V4では電源状態を正しく見ることができません。



1. 接続方法

本装置2台をシリアルケーブルで接続し、合計16アウトレットに対して電源制御のコマンドの発信、 ステータス受信を行うことができます。

《デイジーチェーン機能を使用する際は、もう1台のRSC-MT8FSとシリアルケーブル1本が必要です。》

注意 「サーバー連携」機能(第4章2.[3](5)サーバー連携)にて、デイジーチェー ンの子機の状態表示、電源制御は行えません。「サーバー連携」を行う場合、 その2台をそれぞれ個別にサーバー連携させてご使用ください。

[1] 親機・子機の設定方法

「本装置A」を親機に、「本装置B」を子機とするという設定でこの章では説明します。

- (1) WEB画面にて設定を行う方法
 - 1)「本装置A」のDIPスイッチの3番をON(下)にし、RESETボタンを1秒ほど押します。本装置 Aがメンテナンスモードになります。(メンテナンスモードになると、本装置のIPアドレスは 「192.168.10.1」になります。)
 - 2)設定するためのPCのIPアドレスも「192.168.10.xxx」に変更し、WEBブラウザーで 「192.168.10.1」にアクセスします。
 - 3)【メンテナンスモード 機器設定】画面の「デイジーチェーン機能」を「有効」にします。

メンテナンスモード 機器設定				
モデル名	RSC-MT8FS			
バージョン	4.00A.230306			
MAC アドレス	00:09:EE:00:14:1E			
IP アドレス	192.168.10.1			
サブネットマスク	255.255.255.0			
デフォルトゲートウェイ				
DNS サーバーアドレス				
DHCP 機能	○有効 ◎無効			
HTTP 機能	●有効 ○無効			
HTTP ポート	80			
Telnet 機能	○有効 ◎無効			
Telnet ポート	23			
通信速度	自動接続			
IP フィルター	○ 有効 ● 無効			
デイジーチェーン機能	○有効 ●無効			
子機グループ	Disabled 🗸			
親機MACアドレス	00:00:00:00:00:00			
	適用			

4)【セットアップ終了】画面が現れますが、[設定画面に戻る]を押してください。

セットアップ終了
設定を適用しました。
動作モード(全てOFF)にディップスイッチを 変更しリセットボタンを押してください。
30(中)王王/- 王 7
設定画面に戻る

5)再び【メンテナンスモード 機器設定】になります。「デイジーチェーン機能」の項目に[親機][子 機]の選択肢が増えていますので, [親機]を選択します。そして[適用]をクリックします。

メンテ	メンテナンスモード 機器設定				
モデル名	RSC-MT8FS				
バージョン	4.00A.230306				
MAC アドレス	00:09:EE:00:14:1E				
IP アドレス	192.168.10.1				
サブネットマスク	255.255.255.0				
デフォルトゲートウェイ					
DNS サーバーアドレス					
DHCP 機能	○有効 ◎無効				
HTTP 機能	◎有効 ○無効				
HTTP ポート	80				
Telnet 機能	○有効				
Telnet ポート	23				
通信速度	自動接続				
IP フィルター	○有効 ◎無効				
ディジーエテーン機能	◎ 有効 ○ 無効				
	◎親機 ○子機				
子機グループ	Disabled 🗸				
親機MACアドレス	00:00:00:00:00				
適用					
_					

- 6) 再び【セットアップ終了】画面が現れるので、今度は画面の指示に従ってDIPスイッチをすべて OFFにし、RESETボタンを1秒ほど押して通常モードにします。
- 7)「本装置B」に関しても1)~6)を繰り返し,5)のところで[子機]を選択してください。
- 8)親機,子機の設定が終わった後で、「本装置AのCOM.2」と「本装置BのCOM.1」をシリアル ケーブルで接続してください。

(2) シリアル接続にて設定を行う方法

1)シリアルコンソールから「本装置A」にアクセスします。そして, DIPスイッチの3番をON(下)に し, RESETボタンを1秒ほど押します。次の画面が表示されます。

### Management menu ###	
Version = RSC-MT8FS 0.67A.171020/HTM08RS.171020 Physical Address = 00:09:EE:00:81:2B	
1) Network 2) ComPort 3) System	
S) Save X) Exit	

2)「3」と入力し、システム項目を表示させます。

>3 ### System ###	
I) Initialize 1) Daisy Chain Enabled 2) Daisy Chain ID	
T) Top Menu S) Save X) Exit	

- 【システム項目(該当箇所のみ)】
 - 1) Daisy Chain Enabled :デイジーチェーン接続の有効/無効を設定できます。
 - 2) Daisy Chain ID :デイジーチェーン接続の親機/子機を設定できます。
 - 3)「1」を入力すると、次の画面が表示されます。

>1 0=Disabled, old Enabled=0 new Enabled>	1=Enabled
old Enabled=	:現在の無効・有効を表示しています。
new Enabled>	:無効にするには「0」,有効にするには「1」を入力します。

- 4)デイジーチェーン機能を有効にするため「1」を入力します。「new Enabled = 1」,次の行に 「>」が表示されます。その後,親機・子機を設定するため「2」を入力します。 すると同じように「old ID」に現状が表示されるので,「new ID>」のところに指定したい番 号を入力します。



子機に設定→「1」

「本装置A」を親機にするため「0」を入力します。

このままでは設定は保存されていません。「>」に「s」を入力して保存してください。

- 5)「本装置B」も同じように1)~4)を繰り返し,4)のところで「1」(子機の設定)を入力してください。
- 6)親機,子機の設定が終わった後で、「本装置AのCOM2」と「本装置BのCOM1」をシリアルケ ーブルで接続してください。

注意 子機に設定するとWEBからの制御ができなくなります。(ただし子機をガー ドタイム方式に設定した場合、可能になります。) また子機は自動ログアウト無効の状態で動作するようになります。 解除する方法は下記の[2]をご覧ください。

> 子機Bを,別の親機Cとデイジーチェーンで結んだ時,親機Cに設定したON 遅延などの設定は手動で子機Bに設定する必要があります。接続後,親機C の「システム設定/基本設定」で[適用]を押してください。

[2] 解除方法

解除方法は親機・子機ともに共通になります。

- (1) WEB画面上にて設定を行う方法
 - 1)DIPスイッチの3番をON(下)にし、RESETボタンを1秒ほど押すとメンテナンスモードになり ます。(メンテナンスモードになると、本装置のIPアドレスは「192.168.10.1」になります。)
 - 2)設定するためのPCのIPアドレスも「192.168.10.xxx」に変更し、WEBブラウザーで 「192.168.10.1」にアクセスします。
 - 3)【メンテナンスモード 機器設定】の「デイジーチェーン機能」を「無効」にします。
 - 4)【セットアップ終了】画面が現れるので、画面の指示に従ってDIPスイッチをすべてOFFにし、 RESETボタンを1秒ほど押して通常モードにします。
- (2) シリアル接続にて設定を行う方法
 - 1)シリアルコンソールからアクセスします。そして、DIPスイッチの3番をON(下)にし、RESET ボタンを1秒ほど押します。選択画面が現れたら「3」と入力し、システム項目を表示させます。
 - 2)「1」を入力し「new Enabled>」に「0」(無効)を入力すると「new Enabled = 0」と表示さ れます。そして「>」が表示されたら設定を保存するため「s」を入力します。

2.機能

デイジーチェーン機能を使うと「16アウトレットの電源制御」が行えます。

親機が「Outlet 1~8」,子機が「Outlet 9~16」となります。

[1] WEB画面表示

デイジーチェーン接続を行うと「電源制御」画面が次のように変わります。

	_	電源制御	/ アウト	レット	_	_
	電源制御 仮想制御 一斉制御					至制御
	接点制御					
			機器信報			
	機器名称	Noname				
	設置場所	Nowhere				_
		고습니		=±P		
No	夕称			生川谷口		表源 北部
1	Outlet1		ON	OFF	Reboot	OFF
2	Outlet2		ON	OFF	Reboot	OFF
3	Outlet3		ON	OFF	Reboot	OFF
4	Outlet4			OFF	Reboot	OFF
5	Outlet5			OFF	Babaat	055
5	Outlets			OFF	Reboot	
-	Outleto			UFF	Reboot	OFF
7	Outlet7			OFF	Reboot	OFF
8	Outlet8		ON	OFF	Reboot	OFF
9	Outlet9		ON	OFF	Reboot	OFF
10	Outlet10		ON	OFF	Reboot	OFF
11	Outlet11		ON	OFF	Reboot	OFF
12	Outlet12		ON	OFF	Reboot	OFF
13	Outlet13		ON	OFF	Reboot	OFF
14	Outlet14		ON	OFF	Reboot	OFF
15	Outlet15		ON	OFF	Reboot	OFF
16	Outlet16		ON	OFF	Reboot	OFF
	All Outlets		ON	OFF	Reboot	

[システム設定]-[基本設定]-「アウトレット設定」では16個のアウトレットの名称,リブート時間, OFF遅延, ON遅延,起動時のON遅延を設定できるようになります。

システム設定 / 基本設定						
_						
	基本設定	ţ,	細設定		セキュリ	71
	接点設定					
	時刻設定					
				*!	特殊記号	は利用不可
		模	機器情報			
	機器名称	Noname				
	設置場所	Nowhere	9			_
		アウト	トレット設	定		
No.	アウトレット	名称	OFF	REBOOT	ON	START
1	Outlet1		0	10	1	1
2	Outlet2		0	10	2	2
3	Outlet3		0	10	3	3
4	Outlet4		0	10	4	4
5	Outlet5		0	10	5	5
6	Outlet6		0	10	6	6
7	Outlet7		0	10	7	7
8	Outlet8		0	10	8	8
9	Outlet9		0	10	1	9
10	Outlet10		0	10	2	10
11	Outlet11		0	10	3	11
12	Outlet12		0	10	4	12
13	Outlet13		0	10	5	13
14	Outlet14		0	10	6	14
15	Outlet15		0	10	7	15
16	Outlet16		0	10	8	16
全アウトレットREBOOT時間 (秒) 10						

また状態表示としては「簡易状態表示」画面,「詳細状態表示」画面,「システム情報」画面が16 アウトレット表示になります。

「簡易状態表示」画面

	簡易状態表示					
_						
		機器	情報			
	機器名称	Noname			_	
	設置場所	Nowhere			_	
		-				
		アウトレ	ット状態			
No.	名	称	設定	状態	電源	
1	Outlet1				OFF	
2	Outlet2		PING監視	正常	OFF	
3	Outlet3				OFF	
4	Outlet4				OFF	
5	Outlet5		温度監視	正常	OFF	
6	Outlet6				OFF	
7	Outlet7				OFF	
8	Outlet8				OFF	
9	Outlet9		-	-	OFF	
10	Outlet10		-	-	OFF	
11	Outlet11		-	-	OFF	
12	Outlet12		-	-	OFF	
13	Outlet13		-	-	OFF	
14	Outlet14		-	-	OFF	
15	Outlet15		-	-	OFF	
16	Outlet16		-	-	OFF	

「システム情報」画面

システム情報				
	基本システム1 育報			
機器名称	Noname			
バージョン	0.67A.171020			
モデル名称	RSC-MT8FS			
アウトレット数	16			
アウトレット1名称	Outlet1			
アウトレット2名称	Outlet2			
アウトレット3名称	Outlet3			
アウトレット4名称	Outlet4			
アウトレット5名称	Outlet5			
アウトレット6名称	Outlet6			
アウトレット7名称	Outlet7			
アウトレット8名称	Outlet8			
アウトレット9名称	Outlet9			
アウトレット10名称	Outlet10			
アウトレット11名称	Outlet11			
アウトレット12名称	Outlet12			
アウトレット13名称	Outlet13			
アウトレット14名称	Outlet14			
アウトレット15名称	Outlet15			
アウトレット16名称	Outlet16			
接点出力1名称	NV Output1			
接点入力1名称	NV Input1			
仮想アウトレット1名称				

[2] コマンド制御

デイジーチェーン接続時も「Telnet」「シリアルコンソール」「WEBダイレクトコマンド」「メール制御コマンド」でコマンド制御が可能です。

使用可能なコマンド (n=1~16)

PONn	POFn	PORn	PSRn
MPON	MPOF	MPOR	
POS	XPOS	CPURESE'	T(親機子機ともにCPUリセットがかかります)



■ 変数一覧表

変数 名	初期值	内容	備考
ipAdEntAddr	192.168.10.1	IPアドレス	
ifPhysAddress	(機器毎)	MACアドレス(ReadOnly)	
serialNo		未使用	
sysName	Noname	機器名称	全角10文字,半角英数字20文 字以内
snmpGetSetEnabled	0	SNMPのSET, GETの有効化	0:無効 1:有効
snmpTrapEnabled	0	SNMP TRAPの有効化	0:無効 1:有効
snmpAuthenTrapEnabled	2	SNMP不正アクセス時のTRAP通知	1:有効 2:無効
snmpTrapSendN	1	TRAP送信回数	1~9
snmpTrapSendInterval	1	TRAP送信間隔(秒)	1~9
snmpTrapAddr		TRAP送信先アドレス	"," 区切りで8箇所以内
snmpFilterEnabled	0	SNMP用フィルターの有効化	0:無効 1:有効
snmpFilterAddr		フィルター有効時許可するアドレス	"," 区切りで10箇所以内
snmpFilterMask	255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255,	フィルター有効時のMask	10箇所
getCommunity	public	SNMP GETコミュニティ名	全角31文字 半角英数字63文字以内
setCommunity	public	SNMP SETコミュニティ名	全角31文字 半角英数字63文字以内
trapCommunity	public	SNMP TRAPコミュニティ名	全角31文字 半角英数字63文字以内
sysDescr	*1	(ReadOnly)	
sysContact	form@meikyo.co.jp	連絡先	
sysLocation	Nowhere	設置場所	全角31文字,半角英数字63文 字以内
ifDescr	*2	(ReadOnly)	
ipAdEntNetMask	255.255.255.0	ネットマスク	
ipRouteDest		デフォルトゲートウェイ	
netBootpRetry	0	BOOTPリトライ回数	
netRarpRetry	0	RARPリトライ回数	
telnetEnabled	0	Telnetの有効化	0:無効 1:有効
telnetPort	23	Telnetのポート番号	
rshdEnabled	0	リモートシェル(rsh)の有効/無効	0:無効 1:有効
rshdPort	514	リモートシェル(rsh)に使用する着信ポート	
rshErrPort	1000	リモートシェル(rsh)に使用するエラーポー ト	
utilityPort	9000	UTYのポート番号	
fileLoadPort	9200	HTMLファイルをロードするポート	
httpEnabled	1	HTTPの有効化	0:無効 1:有効
httpPort	80	HTTPのポート番号	
httpRefreshInterval	30	HTTP自動更新間隔(秒)	
httpRefreshEnabled	0	HTTP自動更新の有効化	0:無効 1:有効
httpCommandEnabled	0	HTTPコマンドの有効化	0:無効 1:有効
dhcpEnabled	0	DHCPの有効化	0:無効 1:有効

ipFilterEnabled	0	IPフィルターの有効化	0:無効 1:有効
ipFilterAddr	192.168.10.0	IPフィルターアドレス	","区切りで10箇所以内
ipFilterMask	255.255.255.255.0, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255,	IPフィルターマスク	10箇所
model	RSC-MT8FS	モデル名(ReadOnly)	
com1Speed	3	シリアル通信速度	1:9600Bps 2:19200Bps 3:38400Bps
com1DataBits	8	シリアル通信ビット	7,8
com1StopBits	1	シリアル通信ストップビット	1,2
com1Parity	0	シリアル通信パリティ	0:無 1:奇 2:偶
version		バージョン表示(ReadOnly)	
debTcpInactiveTimer	10	Telnet, シリアル通信時の無通信タイマ (分)	1~32767
autoLogoutEnabled	1	自動ログアウトの有効化	0:無効 1:有効
userLoginTimeout	600	HTTP自動ログアウト時間	
debMasterRebootTime	10	全アウトレットリブート時のOFF時間(秒)	8~3600の整数
debOlStartMode	3	電源投入時のアウトレット制御を指定	1:電源断時の状態 2:通常制御 3:スケジュール制御
debOlMaster	1,2,3,4,5,6,7,8, 9,10,11,12,13,14,15,16	マスターのアウトレット番号	左→右 1→8アウトレット -1~3600の整数(後半8個はデイジ ーチェーン)
debOlPowerOnTime	1,2,3,4,5,6,7,8, 1,2,3,4,5,6,7,8	各アウトレットのON時間	左→右 1→8アウトレット -1~3600の整数(後半8個はデイジ ーチェーン)
debOlPowerOnSTime	1,2,3,4,5,6,7,8, 1,2,3,4,5,6,7,8	本体起動時の各アウトレットON遅延時間	左→右 1→8アウトレット -1~3600の整数(後半8個はデイジ ーチェーン)
debOlPowerOnTTime	0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0	スケジュールの各アウトレットON遅延時間	左→右 1→8アウトレット 0~3600の整数 (後半8個はディジー チェーン)
debOlShutdownTime	0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0	各アウトレットのOFF時間	左→右 1→8アウトレット -1~3600の整数(後半8個はデイジ ーチェーン)
debOlRebootTime	10,10,10,10,10,10,10,10,10 10,10,10,10,10,10,10,10,10	各アウトレットのREBOOT時間	左→右 1→8アウトレット 0~3600の整数 (後半8個はデイジーチェーン)
debOlWdogAddr		監視先IPアドレス	左→右 1→8アウトレット "," 区切りで8箇所以内
debOlWdogSendMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	Ping監視 送信回数	左→右 1→8アウトレット 1~100の整数
debOlWdogNoResMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	Ping監視 無応答回数	左→右 1→8アウトレット 1~100の整数
debOlWdogActCond	1,1,1,1,1,1,1,1,1	Ping監視 監視対象数	左→右 1→8アウトレット 1~4(整数)
debOlWdogAction	0,0,0,0,0,0,0,0	Ping監視 Action	左→右 1→8アウトレット 0:noPing 1:noAction 2:Reboot <u>3</u> :On 4:Off
debOlWdogActCount	0,0,0,0,0,0,0,0	Ping監視 Action回数(ReadOnly)	左→右 1→8アウトレット
debOlWdogStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	 Ping監視判断(ReadOnly)	左→右 1→8アウトレット 0:未設定 1:正常 2:異常 3:回復中

debOlRebootCount	1,1,1,1,1,1,1,1,1	Ping監視 再Reboot回数	左→右 1→8アウトレット 1~100
debOlRebootInterval	1,1,1,1,1,1,1,1,1	Ping監視 再Reboot間隔(分)	左→右 1→8アウトレット 1~60
debOlActionLimit	0,0,0,0,0,0,0,0	Ping監視 異常時の1時間ごとに繰り返す リブート回数	左→右 1→8アウトレット 0:無制限
debOlRecvErrorMax	0,0,0,0,0,0,0,0	メールサーバー監視 異常状態と評価する 接続エラー回数	左→右 1→8 アウトレット 0:無効
debOlWdogLastStatus	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,	Ping監視 最終応答(ReadOnly)	左→右 1→8アウトレット 0:未設定 1:正常 2:異常 "," 区切りでアウトレット×4
debOlWdogDefGatewa y	$\begin{array}{c} 0,0,0,0,0,0,0,0,0,\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0$	Ping監視 デフォルトゲートウェイ	左→右 1→8アウトレット 0:無効 1:有効 "," 区切りでアウトレット×4
debOlNoResCount	$\begin{array}{c} 0,0,0,0,0,0,0,0,0,\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0$	Ping監視 無応答回数(ReadOnly)	左→右 1→8アウトレット "," 区切りでアウトレット×4
debOlRespTime	$\begin{array}{c} 0,0,0,0,0,0,0,0,0,\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0$	Ping監視 IPアドレスからの応答時間 (msec) (Read Only)	左→右 1→8アウトレット 0:未設定 1:Ping応答の最小 値 "," 区切りでアウトレット×4
debOlActionMax	12	Ping監視 異常回数	
debOlNoEchoInterval	5	Ping監視 無応答検出時間(秒)	5~60の整数
debOlPingInterval	1	Ping監視 送信間隔(分)	1~60の整数
pingInterval2	0,0,0,0,0,0,0,0	Ping監視 送信間隔個毎(分)	左→右 1→8アウトレット 0~60の整数 0:未設定
debOlName	Outlet1,Outlet2, Outlet3,Outlet4, Outlet5,Outlet6, Outlet7,Outlet8, Outlet9,Outlet10, Outlet11,Outlet12, Outlet13,Outlet14, Outlet15,Outlet16	アウトレット名	全角10文字 半角英数字20文字以内 (後半8個はデイジーチェーン)
debOlNameV		仮想アウトレットの名称	全角10文字 半角英数字20文字以内
debOlPowerOnTimeV	0,0,0,0,0,0,0,0	仮想アウトレット用のON時間	左→右 1→8アウトレット -1~3600の整数
debOlShutdownAddr		シャットダウンスクリプトのIPアドレス	
debOlShutdownPort	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのPort番号	
debOlShutdownScript	1,1,1,1,1,1,1,1	シャットダウンスクリプトのスクリプト番号	
debOlShutdownEnabled	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトの有効化	0:無効 1:有効
debOlShutdownName		シャットダウンスクリプトのサーバー名(ID)	
debOlShutdownPassword		シャットダウンスクリプトのパスワード	
debOlShutdownMsg		シャットダウンスクリプトの成功,失敗ログ	
debOlShutdownExit	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトの成功,失敗変数	
debOlShutdownPingAddr		シャットダウンスクリプトのPing実行先	
debOlShutdownPingInterval	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのPing間隔	
debOlShutdownPingCount	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのPing回数	
debOlShutdownPingMax	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトPing限度	
debOlShutdownDebug	0	シャットダウンスクリプトのデバッグ出力	0:無効 1:有効
debOlShutdownOffMax	255	シャットダウンスクリプトの電源OFF制限	
errorN	0	シャットダウンスクリプト中の検出エラー数	
		(Read Only)	
debOlControlActivated	0	電源制御制限同意フラグ	0:非同意 1:同意

debOlControlSAEnabled	0	WEBからの電源操作時, ポップアップでの 確認表示有無	0:あり 1:なし	
debOlControlGTEnabled	0	電源制御方式	0:排他制御方式 1:ガードタイム方式	
「排他制御方式」では多重ログ ご自身の意図とは異なる思わ 意される場合にのみ,電源制修	インは不許可,「ガードタ- ぬ動作が生じるおそれが 即方式を変更してください	イム方式」では許可となります。「ガードタイム」 あるため,リスクを考慮し適切なガードタイム 、。	ち式」の場合,他の操作者により, を設定してください。この点に同	
debOlControlOnGuardTi me	10	[ガードタイム方式選択時]ON, REBOOT 操作後のガードタイム	1~32767	
debOlControlOffGuardTi me	10	[ガードタイム方式選択時]OFF操作後のガ ードタイム	1~32767	
tempEnabled	0	温度監視の有効化	0:無効 1:有効	
tempTestMode	0	温度テストモードの有効化	0:無効 1:有効	
tempSimMode	0	温度シミュレーションモード	0:無効 1:有効	
tempLowerA	-5	下限警報閾値	小数点以下は0.25の倍数とな る。	
tempLowerW	0	下限注意閾値		
tempLowerH	2	下限ヒステリシス		
tempLowerOff	1	低温アウトレット解除	0:無効 1:有効	
tempUpperA	45	上限警報閾値	小数点以下は0.25の倍数とな る。	
tempUpperW	35	上限注意閾値		
tempUpperH	2	上限ヒステリシス		
tempUpperOff	1	高温アウトレット解除	0:無効 1:有効	
tempOlControl	0,0,0,0,0,0,0,0	温度によるアウトレット動作	0:対象外 1:上限警報で動作 2:下限警報で動作	
tempStatus	0	温度状態(Read Only)	0:正常 1:上限注意 2:上限警報 3:下限注意 4:下限警報	
tempActionStatus	0	温度による動作状態(Read Only)	0:正常(解除済) 1:上限警報実行 2:下限警報実行	
tempDegree		温度測定値(℃)(Read Only)	小数第二位まで表示	
tempMaxDegree		最高温度(Read Only)		
tempMinDegree		最低温度(Read Only)		
tempMaxDegreeTime		最高温度記録時間(Read Only)		
tempMinDegreeTime		最低温度記錄時間(Read Only)		
tempLogNumber	20	温度ログの記録件数		
tempLogClock	0	温度ログの起動からの経過時間(秒)(Read Only)		
tempLogValue		温度ログの温度データ(数値表示用)(Read Only)		
tempLogGraphValue		<不使用>		
tempLogTime		温度ログの取得日時(Read Only)		
schEnabled	0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0	スケジュールの有効化 【後半8個は「0」のまま使用してください】	0:無効 1:有効	
schOl(n)1Sch(文字列) (n):1~8 (文字列): Kind, Year, Month, Day, Nth, WeekDay, PatNo		スケジュールデータ(ReadOnly)	Kind:種類 1:毎週[]曜日 2:毎月[]日 3:毎月第[]週[]曜日 4:毎年[]月[]日 5.休日 6.[]年[]月[]日 WeekDay:曜日 1:日曜日 2:月曜日 3:火曜日 4:水曜日 5:木曜日 6:金曜日 7:土曜日	

schCalCurrentYear		現在表示中のカレンダーの年 (ReadOnly)			
schCalCurrentMonth		現在表示中のカレンダーの月 (ReadOnly)	起動直後は現在の日付		
schCalCurrentDay		現在表示中のカレンダーの日 (ReadOnly)			
schRegNum	0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0	各アウトレットのスケジュール登録個数	左→右 1→8アウトレット (後半8個は無効)		
schEditCalYear	0	編集中のカレンダーの年			
schEditCalMonth	0	編集中のカレンダーの月			
schEditCalDay	0	編集中のカレンダーの日			
schUlTimeout	60	アップロードのタイムアウト時間(秒)			
schUlCrcEnabled	1	アップロードのCRCチェックの有効化	0:無効 1:有効		
schDlCrcEnabled	1	ダウンロードのCRCチェックの有効化	0:無効 1:有効		
ipAdDnsServer		DNSサーバーアドレス			
mailUserName		メール ユーザー名	半角英数字63文字以内		
mailPassword		メール パスワード	半角英数字40文字以内		
mailCommandLoginName		メール制御ログイン名	半角英数字63文字以内		
mailCommandPassword		メール制御パスワード	半角英数字63文字以内		
mailLastEvent		最新のイベント内容を保管(ReadOnly)	全角31文字または半角英数字 63文字を超える分は切り捨て		
mailContent	sysName, sysLocation, ipAdEntAddr, ifPhysAddress, mailExtraMsg1 mailLastEvent	通知メールの内容			
mailAddr		メールアドレス			
moil Ext Addu		洋信生メールスドレス	0/田		
mailextAddr		这后元入一ルアドレス	0110		
mailExtKind	1,1,1,1,1,1,1,1,1	メール送信の種類	1:To 2:CC 3:BCC		
mailExtKind mailInfoFlag	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,$	 送信元スールアドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント 投点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント ハートビート ⑪イベント ログ件数超過 	0:無効 1:有効		
mailExtKind mailInfoFlag mailCommandEnabled	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,$	 送信元スールアドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント UPS ⑦イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント ハートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効		
mailExtKind mailExtKind mailInfoFlag mailCommandEnabled mailRecvProtocol	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,$	送信元スールアドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤<不使用> ⑥イベント UPS ⑦イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨<不使用> ⑩イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メール受信プロトコルの種類	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP		
mailExtKind mailExtKind mailInfoFlag mailCommandEnabled mailRecvProtocol mailCheckInterval	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,$	送信元スールゲドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント ハートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分)	0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数		
mailExtAddr mailExtKind mailInfoFlag mailCommandEnabled mailRecvProtocol mailCheckInterval mailApopEnabled	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0$	メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤<不使用> ⑥イベント UPS ⑦イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨<不使用> ⑩イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化	0:画 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効		
mailExtAddr mailExtKind mailExtKind mailCommandEnabled mailCommandEnabled mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,$	送信元スールアドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤<不使用> ⑥イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨<不使用> ⑩イベント ハートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効		
mailExtKind mailExtKind mailInfoFlag mailCommandEnabled mailRecvProtocol mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask	1,1,1,1,1,1,1 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,	メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効		
mailExtAddr mailExtKind mailInfoFlag mailCommandEnabled mailRecvProtocol mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask mailImapAuthMask	$\begin{array}{c} 1,1,1,1,1,1,1,1\\ 1,1,1,1,1,1,1\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,0,0,0,0,0\\ 0,0,0,0,$	メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント 世PS ⑦イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化 IMAP認証方式設定	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 2:LOGIN 4:CRAM-MD5 6:LOGIN+CRAM-MD5		
mailExtAddr mailExtKind mailExtKind mailCommandEnabled mailCommandEnabled mailCheckInterval mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask mailImapAuthMask mailRecvPort	1,1,1,1,1,1,1 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,	メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤<不使用> ⑥イベント UPS ⑦イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨<不使用> ⑩イベント バートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メール受信プロトコルの種類 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化 SMTP AUTHのMask IMAP認証方式設定 メール受信ポート	0:1回 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効 0:日 0:日 0:日 0:日		
mailExtAddr mailExtKind mailExtKind mailCommandEnabled mailCommandEnabled mailCheckInterval mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask mailImapAuthMask mailRecvPort mailSendPort	1,1,1,1,1,1,1 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0 1 3 0 7 6 110 25	メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント 投点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント 水ートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化 SMTP AUTHの有効化 メール受信ポート メール受信ポート	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効 2:LOGIN 4:CRAM-MD5 6:LOGIN+CRAM-MD5 0~65535 0~65535 0~65535		
mailExtAddr mailExtKind mailExtKind mailCommandEnabled mailCommandEnabled mailRecvProtocol mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask mailImapAuthMask mailRecvPort mailSendPort mailRetryCount	1,1,1,1,1,1,1 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0 1 3 0 7 6 110 25 3	メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント UPS ⑦イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント バートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化 SMTP AUTHの所有効化 メール受信ポート メール受信ポート メール送信ポート メールリトライ回数	0:皿 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:不分 0:無効 1:不分 0:無効 1:有効 0:一 0:日 0:日 0:日 <t< td=""></t<>		
mailExtAddr mailExtKind mailExtKind mailCommandEnabled mailCommandEnabled mailCheckInterval mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask mailImapAuthMask mailRecvPort mailRetryCount mailRetryInterval	1,1,1,1,1,1,1 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,	送信元スールアドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント 温度 ④イベント スケジュール ⑤<不使用> ⑥イベント UPS ⑦イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨<不使用> ⑩イベント ガートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールラマンドの有効化 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化 SMTP AUTHの不効化 メール受信ポート メールジ信ポート メールリトライ回数 メールリトライ間隔(秒)	이油 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効 0:4:0GIN + CRAM-MD5 0~65535 0~65535 1~99 1~999 1~999		
mailExtAddr mailExtKind mailExtKind mailCommandEnabled mailCheckInterval mailCheckInterval mailApopEnabled mailSmtpAuthEnabled mailSmtpAuthMask mailImapAuthMask mailRecvPort mailSendPort mailRetryCount mailRetryInterval mailNvInCloseEvent	1,1,1,1,1,1,1 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 1,1,1,1,1,1,1 0,0,0,0,0,0,0,0 0,0,0,0,0,0,0,0 0 1 3 0 7 6 110 25 3 10 SHORTEN	送信元スールアドレス メール送信の種類 ①イベント テスト ②イベント Ping ③イベント スケジュール ⑤ <不使用> ⑥イベント レPS ⑦イベント 接点IN ⑧イベント 接点OUT ⑨ <不使用> ⑩イベント バートビート ⑪イベント ログ件数超過 メールコマンドの有効化 メールラ信プロトコルの種類 メールチェック間隔(分) APOPの有効化 SMTP AUTHの有効化 SMTP AUTHの不効化 メール受信ポート メールジ信ポート メールリトライ間隔(秒) 通知メール 接点入力短絡時のイベント内容	0:1回 1:To 2:CC 3:BCC 0:無効 1:有効 0:無効 1:有効 1:POP3 2:IMAP 1~60の整数 0:無効 0:無効 1:有効 0:年の 1:有効 0:年の 1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:		

			(空欄)が仕様です。		
mailNvOutCloseEvent	(空欄)	接点出力短絡時のメール通知表示	状況に応じて「SHORTEN」「Positive		
	()		Pulse」「Negative Pulse」と表示さ		
mailinvOutOpenEvent	OPENED	通知メール 按点工力開放時の1ヘント内容	千月央致14子以内,王月/子以内推突		
mailExtraMsg	¥r¥n	通知メール・フーザー定義文字列	最大3ハターノまで 坐角苗数字で40文字以内		
Inditextrai+159	+1+11		「「¥r¥n」は改行コードの意味)		
			0:ON/OFF両方とも通知しない		
	2		1:OFFのみ通知		
mailinvinEventFlag	3	按点人力状態変化時のメール送信ノフク	2:ONのみ通知		
			3:ON/OFF両方とも通知		
promptMode	2	Telnetプロンプトモード	0:無し 1:「>」の表示		
			2:「機器名>」の表示		
modemEnabled	0		0:無効 1:有効		
modemTimeout	10	モデムタイムアウト時間(分)			
lo «Mo do	011 1010				
logimode	1111 1111 0100		し・無効 1・有効		
	011 1010				
logDisp	1011 0111 1111	ログ表示モード(31ビット)	0:無効 1:有効		
	1111 1111 1111				
mailLogCount	0	メールで送信する更新されたログの数	0:無効 1~20:閾値		
	011 1110				
mailLogMode	1011 1111 1111	メールで送信するロクモード(31ビット)	0:無効 1:有効		
inAdNtnSenver					
ntaIntonvol	6				
nipiniervai	0		つ· また		
	0	状態通知の有効化	U·無効 1·svslogを送信		
syslogEnabled			1・3,53109を送信 2・MPMPパケットフォーマットで送信		
			3: MSRPパケットフォーマットで送信		
	011 1010				
syslogLogMode	1011 0111 1111	sysLogで送信するログモード(31ビット)	0:無効 1:有効		
	1111 1111 1111				
ipAdCenter		MSRP/sysLog送信先アドレスLIP/ネー	半角英数字で63文字以内		
	5000 5000				
centerPort	5000,5000,5000,	MSRP/sysLog送信先ポート番号			
	5000,5000,5000				
centerSendTimer	300	監視情報送信間隔(秒)			
centerChangeSendTimer	10	状態変化時の送信間隔(×100ミリ秒)			
centerChangeSendCount	3	状態変化時の送信回数			
			半角英数5字以内		
centerCmdHostID		MPMPによるコマンド制御で使用するID	8箇所まで コンマ区切り		
contorCmdDoccword		MPMPによるコマンド制御で使用するパス	半角英数7字以内		
CenterCinuFassword		ワード	8箇所まで コンマ区切り		
ipAdTelnetT		TelnetからのTelnet中継先アドレス			
ipAdTelnetU		UTYからのTelnet中継アドレス			
remoteTelnetPortT	23	TelnetからのTelnet中継先ポート			
remoteTelnetPortU	23	UTYからのTelnet中継ポート			
discChar		中継中の通信切断キャラクター			
beepEnabled	0	ブザー音の有効化	0:無効 1:有効		
			全角31文字		
upsidentivame		してう石州	半角英数字63文字以内		
upsMonitorInterval	10	UPSモニタ時間間隔(秒)	0~60,0は1と見なす。		

debMasterUpsAlarmW aitTime	120	UPSシャットダウン開始待機時間(秒)	-1~300, -1の場合はシャット ダウン無効
upsSignalLevel	15	UPS論理(4ビット)	
debMasterEnableUpsS hut	2	UPSシャットダウン有効化	1:有効 2:無効
upsOutputSource		給電状態(ReadOnly)	0,1: 未設定, 3: 正常 5: バックアップ
upsBatteryStatus		バッテリー状態(ReadOnly)	0, 1: 未設定, 2: 正常 3: 低電圧
upsInputLineBads		商用入力異常回数(ReadOnly)	
debWakeupPhysAddr		WoL設定	"," 区切りで8箇所以内
debWakeupMaxCount	2	マジックパケット送信回数	
debWakeupInterval	15	マジックパケット送信間隔(秒)	
debWakeupPhysAddrV		仮想アウトレット用のWoL設定	","区切りで8箇所以内
ipAdMailRecvServer		メール受信サーバーアドレス	
ipAdMailSendServer		メール送信サーバーアドレス	
etherSpeed		接続速度(ReadOnly)	0: 接続していない 1: 10.0Mbps 2: 100.0Mbps
pingPktSize	16	Pingパケットのデータ長	16~1472
resetCause		リセット原因表示(ReadOnly)	0:通常の電源投入 1:ハードリセット 10:CPUリセットコマンド実行 11:WEBからCPUリセット実行 13:SNMPからCPUリセット実 行 20:DHCP NAK受信
recvErrorCount		Ping監視 メール受信サーバーへのアク	0:表示のみ
	1	セスエラー回数(ReadOnly)	
ledBlinkEnabled	Ι	OUTLET LEDの 京滅の 有効化	0:無効 1:有効
	0	起動後の経過時間(秒)(ReadOnly)	
broadGroup	0	一斉電源制御の有効化	0:無効 1~8:クルーフ
broadPhysAddr		一斉電源制御側MACアドレス	
broadOlGrpNo	0,0,0,0,0,0,0,0	一斉電源制御 連動の有効化	0:無効 1~8:グループ
broadOlComNo	0,0,0,0,0,0,0,0,0	一斉電源制御 連動のコマンド	0:設定なし、1:MPON, 2:MPOF, 3:MPOR, 4:設定アウトレットと同期
sshServerEnabled	0	SSHサーバーの有効化	0:無効 1:有効
sshServerPort	22	SSHサーバーのTCPポート番号	
sshServerTimeout	10	SSHサーバーへのタイムアウト時間(秒)	
sshServerName	admin	SSH接続(admin権限)のログイン名	半角英数字 8文字以内
sshServerNameS	super	SSH接続(supervisor権限)のログイン名	半角英数字 8文字以内
logLevel	2	SSH使用中の表示メッセージレベル	
sshPublicDsaKey		KEYGENコマンドで生成するSSHキー	
sshPublicRsaKey		KEYGENコマンドで生成するSSHキー	
sshKnownHost1			
sshKnownHost2		1	
sshKnownHost3		1	
sshKnownHost4		- SSHプロトコルでシャットダウンする	
sshKnownHost5		ときのアウトレットごとのキー	
sshKnownHost6		1	
sshKnownHost7		1	
sshKnownHost8		1	
datalogLogMode	1 0000 0000	データログ記録モード	0:無効 1:有効

datalogLogDisp	1 0000 0000	データログ表示モード	0:無効 1:有効
datalogLogInterval	10	温度センサーデータログ記録間隔(分)	
nvInName	NV Input1	接点入力の名前	半角英数14字以内,全角7字以内 推奨
nvInOutletShortComm and		接点入力短絡時に実行する電源制御コマン ド	
nvInOutletOpenComm and		接点入力開放時に実行する電源制御コマン ド	
nvInContactShortCom mand		接点入力短絡時に実行する接点出力制御コ マンド	
nvInContactOpenCom mand		接点入力開放時に実行する接点出力制御コ マンド	
nvInStatus		接点入力 状態(ReadOnly)	0:開放 1:短絡
nvInCloseThreshold	1	接点入力 認識時間(秒)	
nvInOpenThreshold	1	接点入力が開放されたと認識する閾値(単 位:秒)	
nvInIgnorePeriod	3	起動時に接点入力に連動した電源/接点 出力制御を行なわない期間(単位:秒)	
nvInBeepEnabled	0	接点入力によるブザー音制御の有効化	0: ブザー無効 1: 連続で鳴動 2:0.5秒間隔で鳴動/停止を繰り返す 3:1秒間隔で鳴動/停止を繰り返す ※変数 beepEnabledも有効 にする必要があります
nvInBeepPolarity	0	接点入力によるブザー音制御の極性設定	0:接点短絡で鳴動,接点開放で停止 1:接点開放で鳴動,接点短絡で停止
nvInActionMode	0	接点入力、パルスの極性	0:正パルス 1:逆パルス
nvInType	0	【ReadOnly】nvInActionModeの値が 起動時にコピーされる。	0:正パルス 1:逆パルス
nvInControlMode	0	接点入力,レベル/パルス	0:レベル 1:パルス
nvInPulseWidth	45	接点入力,パルスの幅(1msec単位)	45~32767
nvInPulseInterval	1	接点入力,パルスとパルスの最小間隔(秒)	0~65535
nvOutName	NV Output1	接点出力の名前	半角英数14字以内,全角7字以内 推奨
nvOutLinkEnabled	0	接点出力 連動 連動ソース設定	0:連動なし 1:電源出力に連動 2:温度監視に連動 3:死活監視に連動 4:ハートビートに連動
nvOutLinkOutlet	0,0,0,0,0,0,0,0	接点出力 連動 電源出力	0:連動なし 1~8アウトレットNo
nvOutLinkTempUpper	0	接点出力 連動 温度監視 上限警報	0:無動作 1:上限警報で動作
nvOutLinkTempLower	0	接点出力 連動 温度監視 下限警報	0:無動作 1:下限警報で動作
nvOutLinkPing	0	接点出力 連動 死活監視	0:無動作 1:異常で動作
nvOutLinkHeartbeat	0	接点出力 連動 ハートビート監視	0:無動作 1:タイムアウトで動作
nvOutActionMode	0	接点出力 連動 動作モード	0:通常動作 1:反転動作
nvOutType	0	予約変数(ReadOnly)	未使用
nvOutStatus	0	接点出力 状態	0:開放 1:短絡
nvOutControlMode	0	接点出力 モード設定	0:短絡/開放 2:パルス出力
nvOutPulseWidth	50	パルス出力時のパルス幅(×10mSec)	
hbEnabled	0	ハートビート監視有効/無効設定	0:無効 1:有効
hbIpAddr		ハートビートパケット送信元IPアドレスフィル ター	空欄でないとき,IPアドレスがこ の値と一致しない送信元からのパ ケットを無視する。
hbPort	9100	ハートビートパケット受信ポート番号	

hbPcPort	9100	ハートビートパケット送信元ポート番号			
hbInterval	8	ハートビートのパケット受信間隔(秒)	1~99		
hbRebootTime	30	アウトレットリバース後,パケット受信不可をチ ェック開始するまでの時間(秒)	1~999		
hbTimeoutMax	3	ハートビートの動作を行うカウント	1~99		
hbActionMax	3	ハートビートのリブート実行限度回数	1~99		
hbAction	0,0,0,0,0,0,0,0	ハートビートのアウトレットごとの動作	0:無効 1:ON 2:ON追従 3:OFF 4:OFF追従 5:リブート 7:Logのみ		
hbTimeoutCount	0	タイムアウトの累積回数(ReadOnly)	パケットを受信すると0にクリアさ れる		
hbActionCount	0,0,0,0,0,0,0,0	アウトレットごとの動作を実行した回数 (ReadOnly)			
hbStat	0	ハートビート状態(ReadOnly)	0:待機中 1:パケットを受信 2:タイムアウト発生中		
hbCallingIpAddr		最後にパケットを受信したIPアドレス (ReadOnly)			
hbHeartbeatChar	HB	ハートビートパケット文字列	アルファベット2文字。 大文字小文字区別あり。		
hbHeartbeatSource	0	HB監視:電源供給アウトレット	0:指定なし 1~8:Outlet1~8		
httpScreen	1,1,1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1,1,1,1	ブラウザーに表示される画面/項目の表示 設定	0:非表示 1:表示		
httpPageType	0	PC,スマートフォン等端末の種類にあわせ て画面を切り替えるための設定			
scEnabled	0	サーバー制御有効化	1: 有効, 0: 無効		
httpAuthMode	2	HTTP認証モード	0:None 1:Basic認証 2:Digest認証		
realmName	RSC-MT8FS	認証領域(realm)名	半角英数字20文字以内		
nonceTime	180	nonceの有効時間(秒)	30~30000		
searchEnabled	1	RPCサーチ探索有効/無効設定	0:無効 1:有効		
dcEnabled	0	デイジーチェーン接続機能有効/無効設定	0:無効 1:有効		
dcId	0	デイジーチェーン接続親機子機設定	0:親機 1:子機1		
dcOlNum	接続時 8,8	親機・子機の持つアウトレット数	【Read Only】		
dcStatus	0	デイジーチェーン接続状態(Read Only)	0:未確定 1:正常 2:リトライ中 3:通信エラー発生中		
versionupEnabled	3	バージョンアップの有効化	0:無効 1:ローカル更新のみ 2:オンライン更新のみ 3:有効		
revision	01	ファームウェアリビジョン番号(Read Only)			

*1: Meikyo Remote Power Controller, RSC-MT8FS Ver. 4.30A(または4.20A)

*2: Meikyo 100BASE-TX Driver

■ ログ一覧表

内容	情報	TelnetなどのLOG
コールドスタート		Cold Start
ウォームスタート		Warm Start
データログスタート		Datalog Start
Ping送信	outlet no. Ipaddr no.	〔アウトレット番号〕〔監視先番号〕 ping
Ping無応答	outlet no. Ipaddr no.	〔アウトレット番号〕 〔監視先番号〕 No Echo
死活判定(無動作)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 No Action by 〔判定内容〕
死活判定(REBOOT)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Reboot by 〔判定内 容〕
死活判定(アウトレットON)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet On by 〔判定内容〕
死活判定(アウトレットOFF)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by 〔判定内容〕
正常/回復中	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet by 〔判定内容〕 Recovered
スケジュール(アウトレットON)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet On by Schedule
スケジュール(アウトレットOFF)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by Schedule
全アウトレットON	アウトレットALL ID(IDは接続者)	MPON (ID)
全アウトレットOFF	アウトレットALL ID(IDは接続者)	MPOF (ID)
全アウトレットREBOOT	アウトレットALL ID(IDは接続者)	MPOR (ID)
アウトレットON	アウトレットno.ID(IDは接続者)	〔アウトレット番号〕 PON〔ID〕
アウトレットOFF	アウトレットno.ID(IDは接続者)	〔アウトレット番号〕 POF〔ID〕
アウトレットREBOOT	アウトレットno.ID(IDは接続者)	〔アウトレット番号〕 POR〔ID〕
UTY接続	IPaddr	>Uty
UTYログインせず切断	IPaddr	<uty< td=""></uty<>
UTYログイン	Ipaddr ID (IDは接続者)	==>Uty
UTYログアウト	Ipaddr ID (IDは接続者)	<==Uty
メールログイン要求	Ipaddr no.(no.は設定番号)	>Mail
●「メールログイン要求 0」と表示されてい (「メールログイン要求」の場合、メール制	いる場合,[通知先アドレス]に登録されていない 御コマンドは実行されなかったことになります	いメールアドレスから送信があったことを意味します。 ト。)
メールログイン	Ipaddr no.(no.は設定番号)	==>Mail
メールログアウト	Ipaddr no.(no.は設定番号)	<==Mail
メールエラー		Mail Error
TELNET接続	IPaddr	>Telnet IPaddr
TELNET切断	IPaddr	<telnet ipaddr<="" td=""></telnet>
TELNETログイン	IPaddr	==>Telnet IPaddr (ID)
TELNETログアウト	IPaddr	<==Telnet IPaddr (ID)
COMログイン	IPaddr (ID)	==> Com Port IPaddr (ID)
COMログアウト	IPaddr (ID)	<== Com Port IPaddr (ID)
Web接続		>Web IPaddr
Webログイン		==>Web IPaddr (ID)
Webログアウト		<==Web IPaddr
設定変更	〔変数名〕〔ID〕	variable set ([変数名])
設定書込(WRITE)		write to FROM
ハートビート監視(無動作)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 No Action by HeartBeat
ハートビート監視(REBOOT)	アウトレットno	〔アウトレット番号〕 Outlet Reboot by HeartBeat
ハートビート監視(ON)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet On by HeartBeat
ハートビート監視(OFF)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by HeartBeat
ハートビート監視(正常/回復中)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Heartbeat Recieved

温度状態変化	正常,℃	Temperature Normal
温度状態変化	上限注意,℃	Temperature High Warning
温度状態変化	上限警報,℃	Temperature High Alarm
温度状態変化	下限注意,℃	Temperature Low Warning
温度状態変化	下限警報,℃	Temperature Low Alarm
	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet On by Temperature
温度監視(OFF)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by Temperature
NTPサーバー接続	hour minute second	NTP hh:mm:ss
NTPサーバー名前エラー		NTP Server Name Error
NTPサーバー接続エラー		NTP Server Access Error
SSHサーバー接続	IPaddr	SSH Server Connected
スクリプト実行	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Shutdown Script Done
スクリプト失敗	アウトレットno. コード(エラーコード)	〔アウトレット番号〕 Shutdown Script Failed, code=〔エラーコード〕
接点出力状態変化	#n 短絡(〔a〕) (nは接点入力番号,aは原因となる動作)	NV out #n shorten 〔a〕 (nは接点入力番号,aは原因となる動作)
接点出力状態変化	#n 開放(〔a〕) (nは接点入力番号,aは原因となる動作)	NV out #n opened 〔a〕 (nは接点入力番号,aは原因となる動作)
接点入力状態変化	#n 短絡 (nは接点出力番号)	NV in #n shorten
接点入力状態変化	#n 開放 (nは接点出力番号)	NV in #n opened
サーバー接続開始	サーバー接続開始 IPaddr	SC Start IPaddr
サーバー接続終了	サーバー接続終了 IPaddr	SC Stop IPaddr
サーバー接続異常	サーバー接続異常	SC Connection Failure
サーバー接続再開	サーバー接続再開	SC Reconnect

【SYSLOG のログメッセージは「Telnet などの LOG」に準じます。「-->」部分は「Enter」,「<--」部 分は「Exit」,「==>」部分は「Login」,「<==」部分は「Logout」と文字表記になります。「>>x Telnet」は「Telnet NG」となります。】

・〔〕で括った内容は、実際の数字や文字等が入ります。

・〔ID〕は操作を行ったユーザーのIDを示します。

・コマンド実行者とログ閲覧者が同じユーザーの場合は、コマンドによってはIDが表示されない場合があります

■ 制御コマンド一覧表

シリアル、Telnet → A:Admin権限 S:Supervisor権限ログイン時使用可能 メール → メール制御コマンドで使用可能なもの

WEB → ダイレクトWEBコマンド A:Admin S:Supervisor C:Control I:Ident ●「匠」=デイジーチェーン接続時にも使用可能。

制御コマンド	内 容	シリアル	Telnet	メール	MPMP	WEB
MPON	全アウトレットの電源出力開始	АÐ	A₽	OĦ	OĦ	AC₽
MPOF	全アウトレットの電源出力停止	АÐ	ΑĒ	OF	OĦ	AC₽Ĩ
MPOR	全アウトレットの電源リブート	АÐ	ΑĒ	OF	CH H	AC₽
PONn	指定されたアウトレットの電源出力開始 n=1~8団16	AE	AE	OF	OĦ	AC₽
POFn	指定されたアウトレットの電源出力停止 n=1~8団16	AE	АÐ	OF	OĦ	AC₽
PORn	指定されたアウトレットの電源リブート n=1~8년16	AE	АÐ	OĦ	OĦ	AC₽
PSRn	指定されたアウトレットの電源状態反転 n=1~8団16	АÐ	АÐ	OĦ	OĦ	AC₽
BPONx	ー斉電源制御:該当グループ全アウトレットの電源出力開 始(x=1~8,xはグループ番号)	AE	AE	×	×	AC₽
BPOFx	一斉電源制御:該当グループ全アウトレットの電源出力停止 (x=1~8,xはグループ番号)	АÐ	АÐ	×	×	AC₽
BPORx	ー斉電源制御:該当グループ全アウトレットのリブート(電 源リブート)(x=1~8,xはグループ番号)	ΑĦ	АÐ	×	×	ACE
MPONV	全仮想アウトレットにマジックパケットを送信する。	AS	AS	0	\bigcirc	AC
PONVn	(nは1~8) debWakeupInterval後にマジックパケッ トを送信する。	AS	AS	0	0	AC
OLSn OLS	nを省略すると全てのアウトレットを表示します。 コンマ区切りで表示。 Outlet No. アウトレット番号[1~8] Power 電源状態[0:Off 1: On] Judge 判定[1:正常 2:異常 3:回復中] Action Count Action実行回数 Last Ping1 アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常] NoEchoCount1 アドレス1の未応答回数 NoEchoTime1 アドレス1の応答時間(ms) [0:未設定 1:応答時間 9999:未応答] Last Ping2 アドレス2の未応答回数 NoEchoCount2 アドレス2の未応答回数 NoEchoTime2 アドレス2の未応答回数 NoEchoTime2 アドレス2の応答時間(ms) [0:未設定 1:応答時間 9999:未応答] Last Ping3 アドレス3の最後の応答[1:正常 2:異常] NoEchoCount3 アドレス3の未応答回数 NoEchoCount3 アドレス3の未応答回数	AS	AS	0	0	ASCI

	Last Ping4 アドレス4の最後の応答[1:正常 2:異常]					
	NoEchoCount4 アドレス4の未応答回数					
	NoEchoTime4 アドレス4の応答時間(ms)					
						1.0.07
VER	バージョンの表示	AS	AS	0	0	ASCI
	全アウトレットの電源状態取得					
POS	応答:mmmmmmmm	AS₽Ĩ	ASĒŤ	OF	OF	ASCI
	左側からアウトレット1~8日16					5
	m=0:OFF 1:ON					
	全アウトレットの電源状態詳細の取得					
	応答:ABXXXX, ABXXXX, A					
VDOC	HDAAAA, ADAAAA, ADAAAA, ADAAAA					ASCI
APUS		ASI	ASIZ			Ħ
	R=0.0FF遅延中 1.0N遅延中					
	NXXX=Bのタイマ残り時間					
	新いいたな力にます					
ID	※入力を失敗すると変更されません。	×	AS	×	×	×
	パスワードの変更 新しいパスワードを2回入力します。					
PASS	※入力を失敗すると変更されません。	×	AS	×	×	×
	変数IpAdTelnetTのアドレス,変数remoteTelnetPortTの					
	ポートにTelnetクライアントとして接続します。					
TELNET	【中継を停止するには、通常と同じくexitやqで切断できま					
	」す。」一度に受信するナータは、 概ね40Kハイト以下でこ利 田ノださい					
	(用いたこと)。					
DATE	中方口設定 例DATE var/mm/dd var·在 mm·目 dd·日	AS	AS	\bigcirc	\bigcirc	×
	現在時刻設定(私は省略可)					
TIME	例)TIME hh:mm:ss hh:時 mm:分 ss:秒	AS	AS	\bigcirc	0	×
	ICMPを4回送信します。					
PING	例)PING [IPアドレス]	AS	AS	×	×	×
	LANの通信設定を表示します。(例)					
	IpAddress 192.168.10.1					
IPCONFIG	SubnetMask 255.255.255.0	AS	AS	\bigcirc	\bigcirc	×
	DefaultGateay 192.168.10.254					
	EhternetSpeed 100.0Mbps					
	CPUをリセットします。	٨C	٨C	~	~	~
CFURESEI	コマンドを実行しても電源状態は変化しません。	AS	AS	~	^	^
	0:(プロンプト表示無し) 1:(「 > 」のプロンプト表示)					
PROMPT=n	2:(「 機器名 > 」のプロンプト表示)	×	AS	×	×	×
	*変数「promptMode」により接続直後のモードが決					
EXIT	回線切断 最初の文字がE, e, Q, qの場合はEXITと認	AS	AS	\bigcirc	0	×
	諏しより。					

SONn	指定された接点出力を短絡 n=1	AS	AS	0	0	ASCI
SOFn	指定された接点出力を開放 n=1	AS	AS	0	0	ASCI
MSON	全接点出力を短絡	AS	AS	0	0	ASCI
MSOF	全接点出力を開放	AS	AS	0	0	ASCI
SSOn SSO	接点出力の状態を取得 nを省略すると全てのアウトレットを表示 短絡接点出力時:SHORTEN 開放接点出力時:OPENED 例)SSO1 NV_OUT #1: OPENED	AS	AS	0	×	0
SSIn SSI	接点入力の状態を取得 nを省略すると全てのアウトレットを表示 短絡接点入力時:SHORTEN 開放接点入力時:OPENED 例)SSI1 NV_IN #1: OPENED	AS	AS	0	×	0
TEMP	現在の温度を表示します。 (温度センサー「有効」のとき)	AS	AS	0	0	ASCI
TOSn TOS	温度監視の状態 5つの数字(①, ②, ③, ④, ⑤)表示 nを省略すると全てのアウトレットを表示 ①[アウトレット番号] ②[アウトレット状態(0:OFF, 1:ON)] ③[温度監視動作設定(0:無動作, 1:上限警報ON, 2:下 限警報ON, 3:上限警報OFF, 4:下限警報OFF)] ④[温度監視状態(0:正常, 1:上限注意超過, 2:上限警報 超過, 3:下限注意超過, 4:下限警報超過)] ⑤[温度監視動作状態(0:無動作, 1:上限動作, 2:下限動 作)]	AS	AS	0	0	ASCI
TSP	以下の変数の内容を一括で表示します。 tempEnabled tempTestMode tempSimMode tempLowerA tempLowerW tempLowerH tempLowerOff tempUpperA tempUpperW tempUpperH tempUpperOff	AS	AS	0	0	ASCI

■ 仕様一覧表

			ARP, TCP/IP, UDP/IP, ICMP, POP3, IMAP, SSH,		
	LAN通信仕様		BOOTP, DHCP, Telnet, SMTP, APOP,		
诵信什様			NTP, HTTP, SNMP		
			SNMPマネージャー, Telnet, SSH		
	LA	N制御方法	WEB		
			E-mail		
			電源ON		
			電源OFF		
	電源	原制御/管理	電源リブート		
			電源状態取得		
			グループ制御		
			年間スケジュール機能		
	フカ	- いょう	RTC(Real Time Clock)による時刻保持		
機能	~)	シュール成形	NTPによる時刻同期機能		
			スケジュールON/OFF機能		
			ICMP送信		
			通報機能:SNMPトラップ,UDPパケット		
	状愈	影監視	Mail通知		
			温度監視(要オプション)		
			ハートビート		
	Wo	L対応機能	あり:マジックパケット送信		
			10Base-T/100Base-TX (RJ45)		
			(IEEE802.3に準拠)		
			RS-232C (D-sub 9 ピンオス)×2		
	イン	ターフェース	温度センサー(RJ11)[オプション]		
			無電圧接点入力 ×1		
			無電圧接点出力 ×1 DC24V 1.0A		
ハード仕様			(抵抗負荷)		
	÷	最大制御出力	AC100V 15A (1500W)		
	龙格	消費電力	最大 5.8 W		
	ТЦ	入力電源電圧	AC100V ±10% (50/60Hz)		
	届日	日告	温度 0~40℃		
	ЮЛ	了「水之	湿度 20~85%(ただし結露なきこと)		
	外刑	杉寸法[脚ゴム除く]	438(W) x43.4(H) x238(D) mm		
	重量		4.0 kg		
環境保証	特定電気用品認証品(電気用品安全法),RoHS2指令準拠				

注記 シリアルNo.3U-0393以降の本製品は,内部でSG(信号グランド)とFG (フレームグランド)が接続されています。

問い合せ先

明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14 東京フェライトビル4F TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス <u>https://www.meikyo.co.jp</u>



- (1)本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2)本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本装置を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本装置がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社お よび弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつ きましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には,責任を負いかねますのでご了 承ください。

TIME BOOT RSC-MT8FS

取扱説明書 2025年 3月 第4.3a版

※「TIME BOOT」は明京電機㈱の商標です。 登録番号5396317号(平成23年3月4日登録)